

令和3年度 学生意識総合調査

調 査 結 果 報 告 書

昭 和 大 学

目次

令和 3 年度（第 5 回）学生意識総合調査について	1
令和 3 年度「学生意識総合調査」学部別回答率	3
学部・学年・男女別回答率一覧	4
集計結果	5
A. 基本的構成（No. 1～No. 4）	
B. 大学について（No. 5～No. 8）	
C. 全寮制教育（No. 9～No. 20）	
D. 学生生活（No. 21～No. 38）	
E. 日常生活全般（No. 39～No. 62）	
F. 課外活動（No. 63～No. 69）	
G. 経済状況及び奨学金（No. 70～No. 76）	
I. キャリア支援（No. 77～No. 80）	
J. 教育施設に関する事項（No. 81～No. 90）	

【 令和 3 年度（第 5 回）学生意識総合調査について 】

1. 目 的

昭和大学は、昭和 3 年の創立以来、建学の精神である「至誠一貫」に基づき、“まごころ”を尽くす質の高い医療人の育成を理念とする教育を行ってきた。平成 30 年度に創立 90 周年を迎え、医系総合大学として社会の要請に応える人材を輩出し、大学の活性化とさらなる飛躍を期するためには、教育と学生支援の質の向上が必要不可欠である。

令和 3 年度（第 5 回）学生意識総合調査は、大学評価向上の一環として、本学学生の意識・生活実態を定点観測し、これ把握し分析することを通じて、学生の満足度を高める教育・学生生活・環境を創出していく基礎とすることを目的に全学的規模で実施した。

今後も、この調査は定期的（3 年毎）に実施し、学生を取り巻く社会環境や意見の変化を的確に把握し、学生サービスの向上政策に生かしていくものである。

2. 方 法

本学に在籍する学部学生 1 ～ 6 年次を対象として全数調査とし Googlefoam を利用し調査を実施した。

実施は、回収率 100%を目指すため、最初の回答期間を令和 3 年 9 月 1 日～9 月 30 日とし、未回答の学生に対しては回答の督促を行った。調査項目は、①基本的構成、②大学について、③全寮制教育、④学生生活、⑤日常生活全般、⑥課外活動、⑦経済状況および奨学金、⑧キャリア支援、⑨教育施設に関する事項の計 9 項目に分類され、設問数は 90 問である。

アンケートの集計結果は、分析・検証を行い、学生の意見を基にした現状における本学の教育および学生支援等の問題点を明らかにし、今後の改善と方策について考察した。

3. データ集計について

以下の基準を定めて集計を行った。

- (1) 設問 1 学部、設問 2 学科、設問 3 学年、設問 4 性別に関する誤記について、学生の属性が明確なものは正しい選択に変更した。
- (2) 回答率（％）の数値は小数点 2 桁で四捨五入した。
- (3) 回答率（％）の分母は、アンケート回収枚数（無効回答・無回答を含めた数）とした。
- (4) ろ過的設問（回答項目を限定しさらに別の設問を行う設問）では、親設問への回答が不適切な場合は付随する子設問を無効とした。
- (5) 単一回答方式にもかかわらず誤って複数回答された場合もその実数を採用し、アンケート回収枚数を分母とした数を超えた場合は、各設問の選択者数比率を維持したまま超過数を切り捨てた。
- (6) 複数回答方式の設問項目では、検算が困難であるため、無効回答・無回答を計算していない。
一部、実数で表記している。

※ 無効回答：選択肢以外を選択した回答
無回答：回答無し

令和3年度「学生意識総合調査」学部別回答率

【全 体】

調査対象学生数(1年～6年):3,102人 回答者数:3,084人 回答率(全体平均):99.4%

【学部別内訳】

● 医学部

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	116	116	100.0%
2年	124	121	97.6%
3年	113	113	100.0%
4年	126	123	97.6%
5年	122	121	99.2%
6年	109	109	100.0%
合 計	710	703	99.0%

● 歯学部

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	97	97	100.0%
2年	103	103	100.0%
3年	96	96	100.0%
4年	95	95	100.0%
5年	100	100	100.0%
6年	104	104	100.0%
合 計	595	595	100.0%

● 薬学部

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	209	209	100.0%
2年	216	210	97.2%
3年	206	204	99.0%
4年	173	172	99.4%
5年	172	172	100.0%
6年	190	188	98.9%
合 計	1166	1155	99.1%

● 保健医療学部

看護学科

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	106	106	100.0%
2年	94	94	100.0%
3年	106	106	100.0%
4年	97	97	100.0%
合 計	403	403	100.0%

理学療法学科

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	35	35	100.0%
2年	40	40	100.0%
3年	35	35	100.0%
4年	40	40	100.0%
合 計	150	150	100.0%

作業療法学科

学年	対象者数	回答者数	回答率
1年	17	17	100.0%
2年	22	22	100.0%
3年	15	15	100.0%
4年	24	24	100.0%
合 計	78	78	100.0%

学部・学年・男女別 回答率一覧

1. 学部別

学部	対象者数	回答者数	回答率
医学部	710	703	99.0%
歯学部	595	595	100.0%
薬学部	1,166	1,155	99.1%
保健医療学部	631	631	100.0%
全体	3,102	3,084	99.4%

2. 学年別

学部	対象者数	回答者数	回答率
1年	580	580	100.0%
2年	599	590	98.5%
3年	571	569	99.6%
4年	555	551	99.3%
5年	394	393	99.7%
6年	403	401	99.5%
全体	3,102	3,084	99.4%

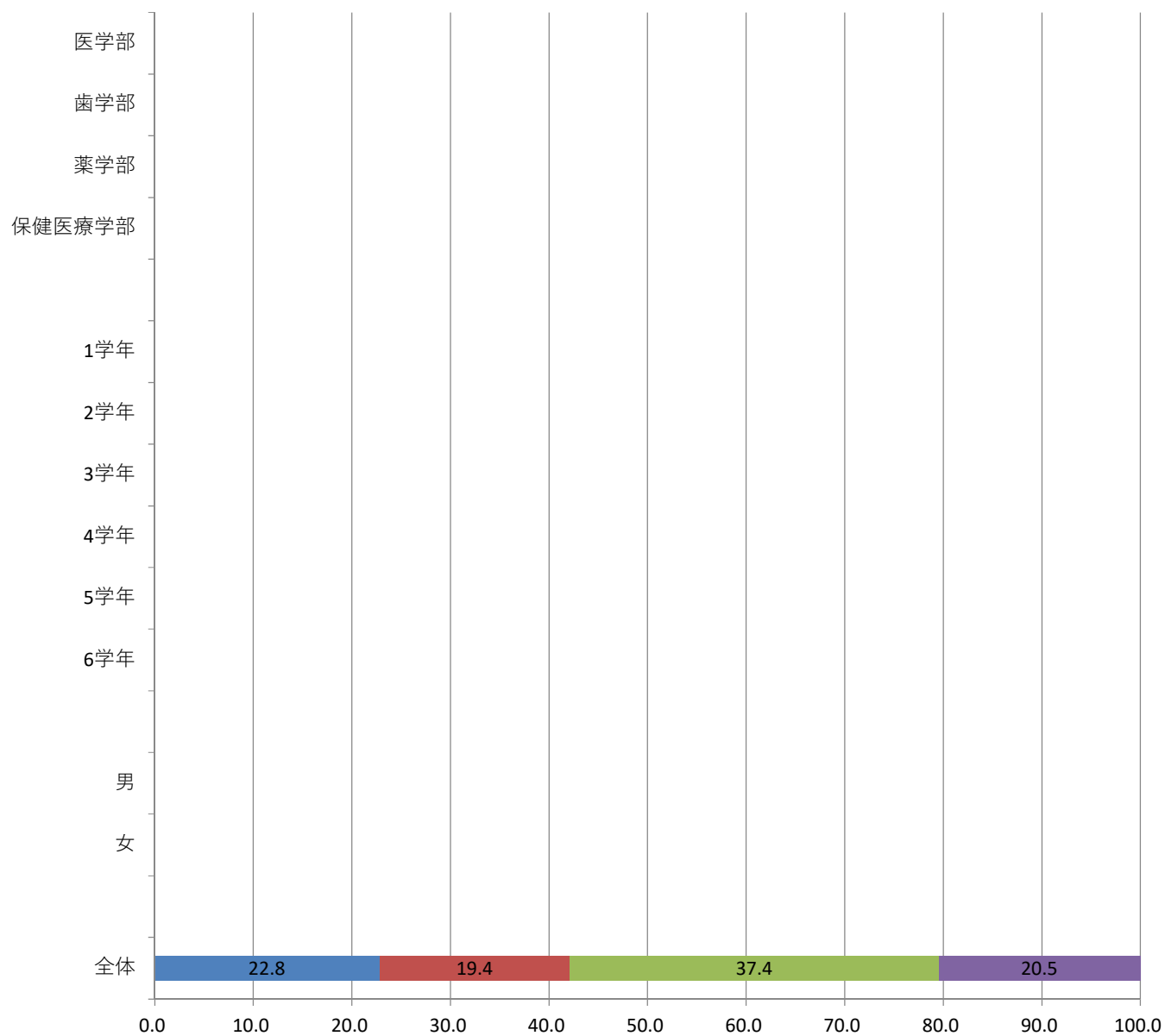
3. 男女別

性別	対象者数	回答者数	回答率
男	1,059	1,048	99.0%
女	2,043	2,036	99.7%
全体	3,102	3,084	99.4%

集計結果

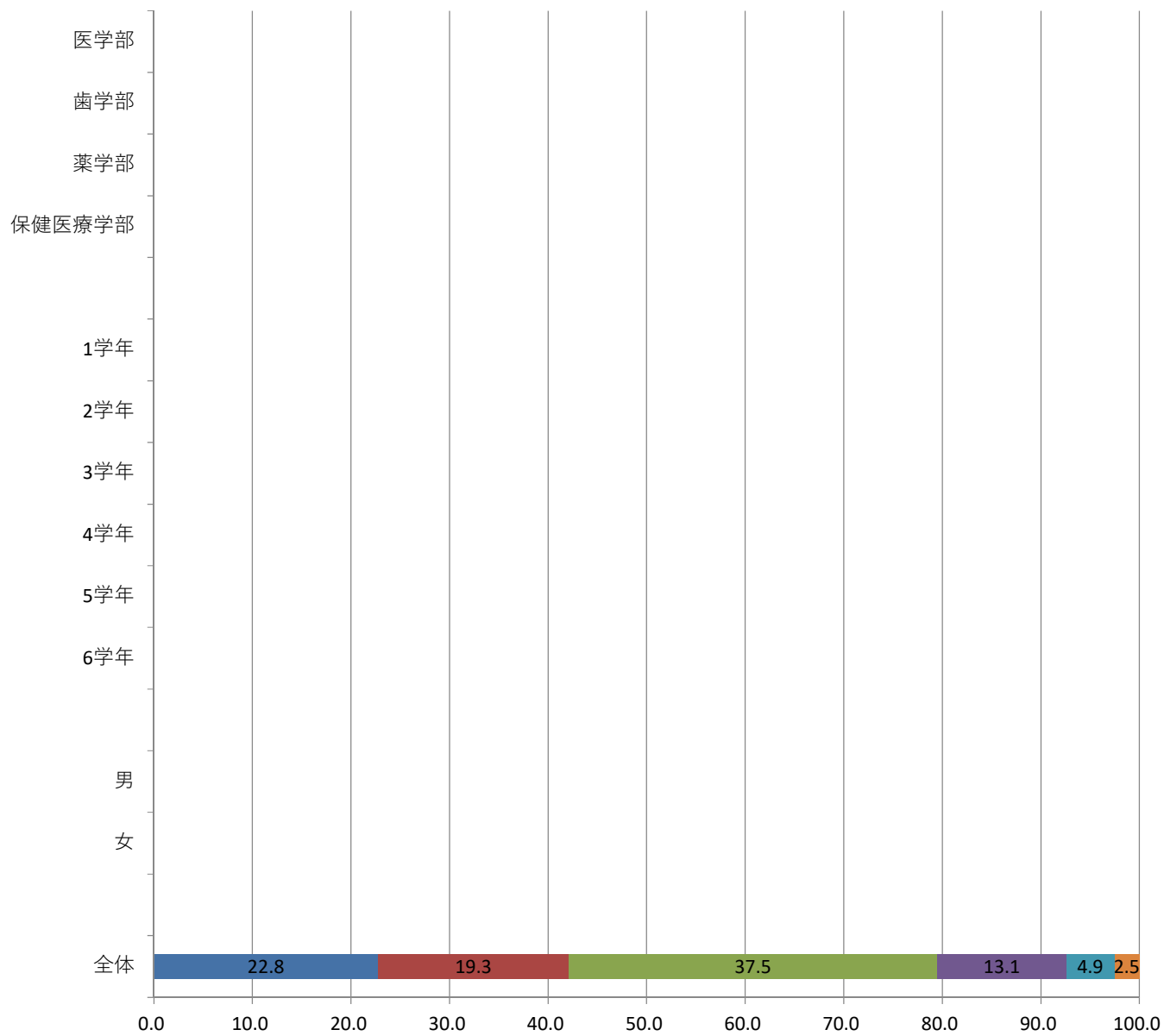
1.学部

■ 医学部 ■ 歯学部 ■ 薬学部 ■ 保健医療学部



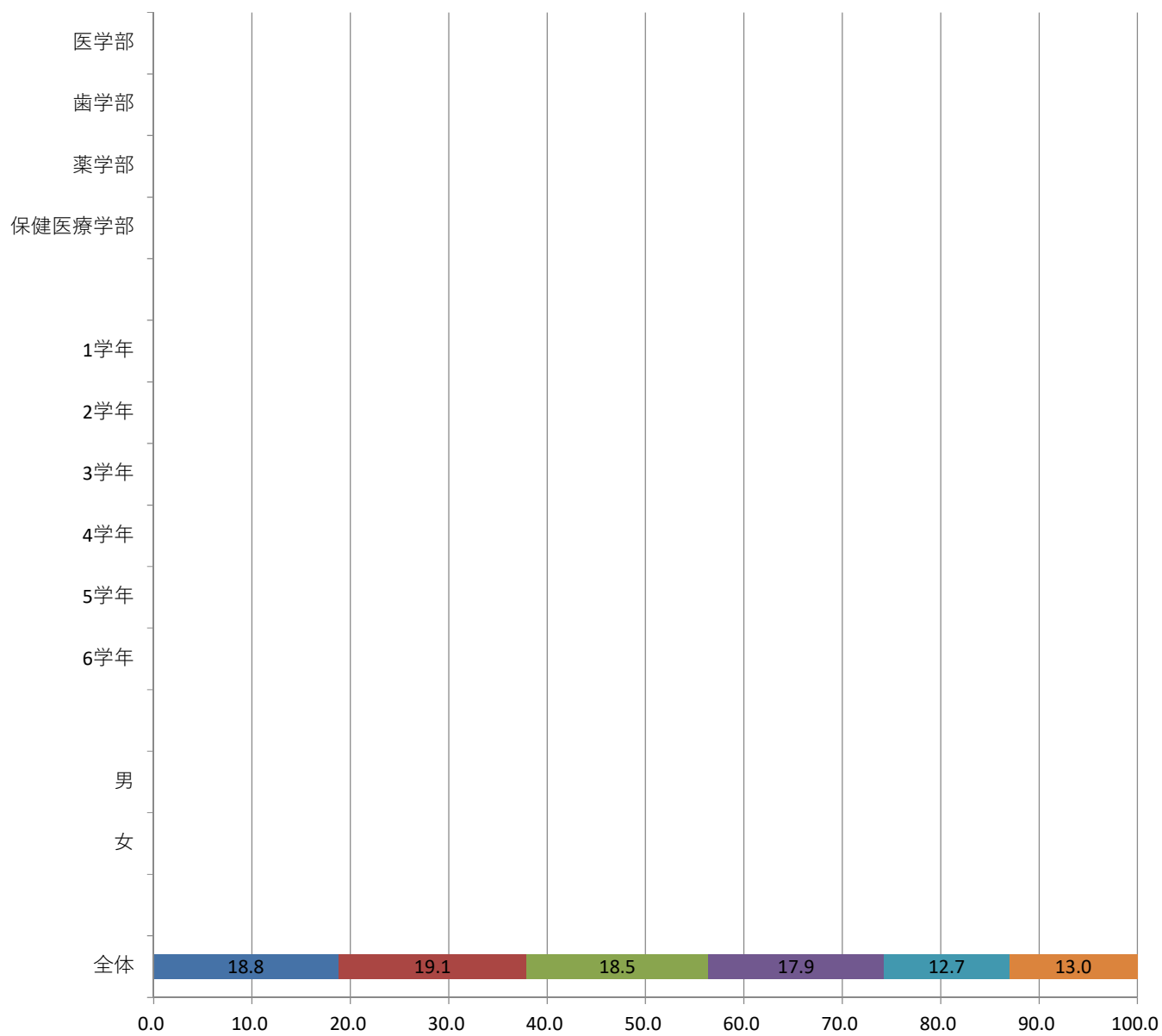
2.学科

■医学科 ■歯学科 ■薬学科 ■看護学科 ■理学療法学科 ■作業療法学科



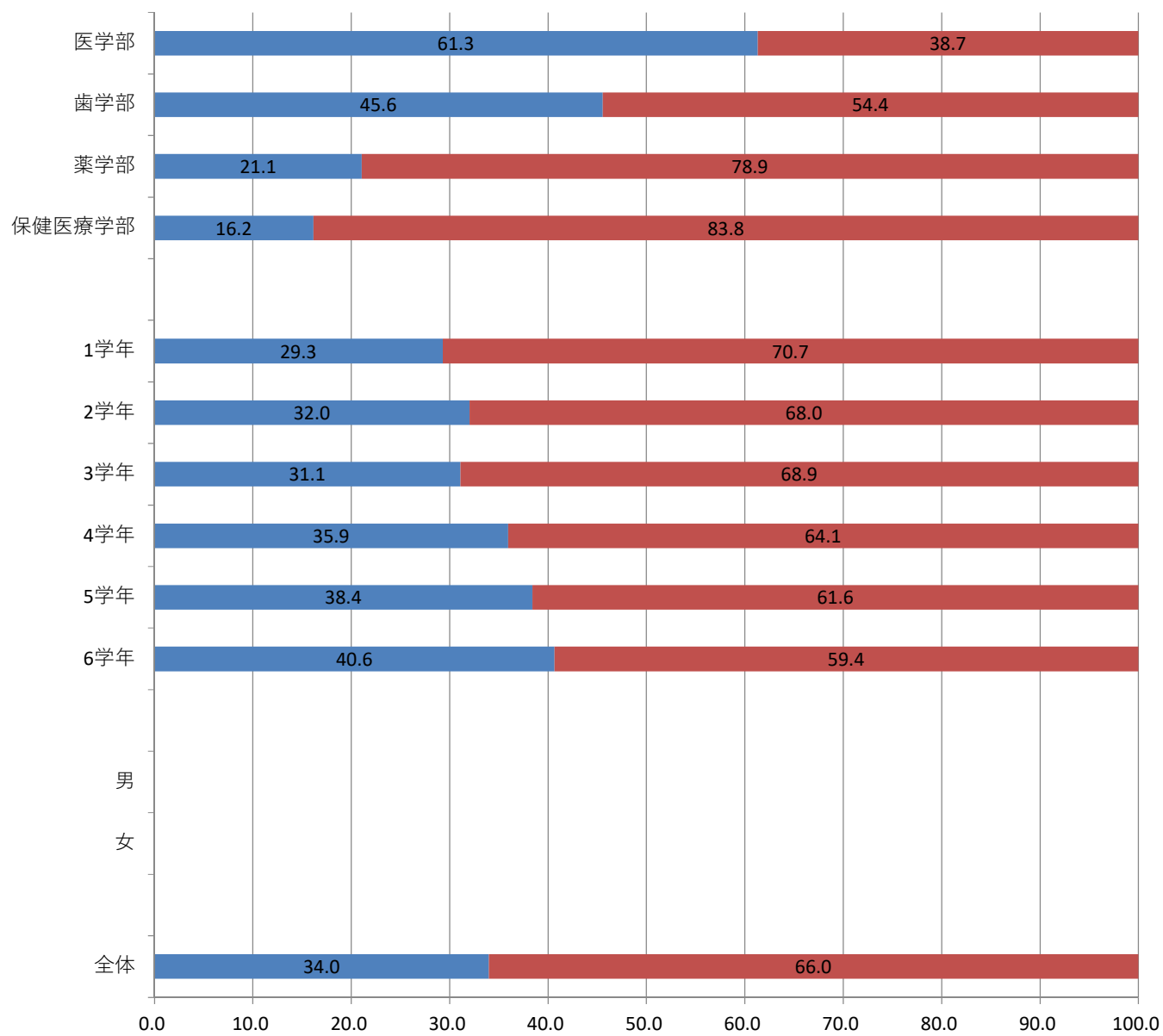
3.学年

■1年 ■2年 ■3年 ■4年 ■5年 ■6年

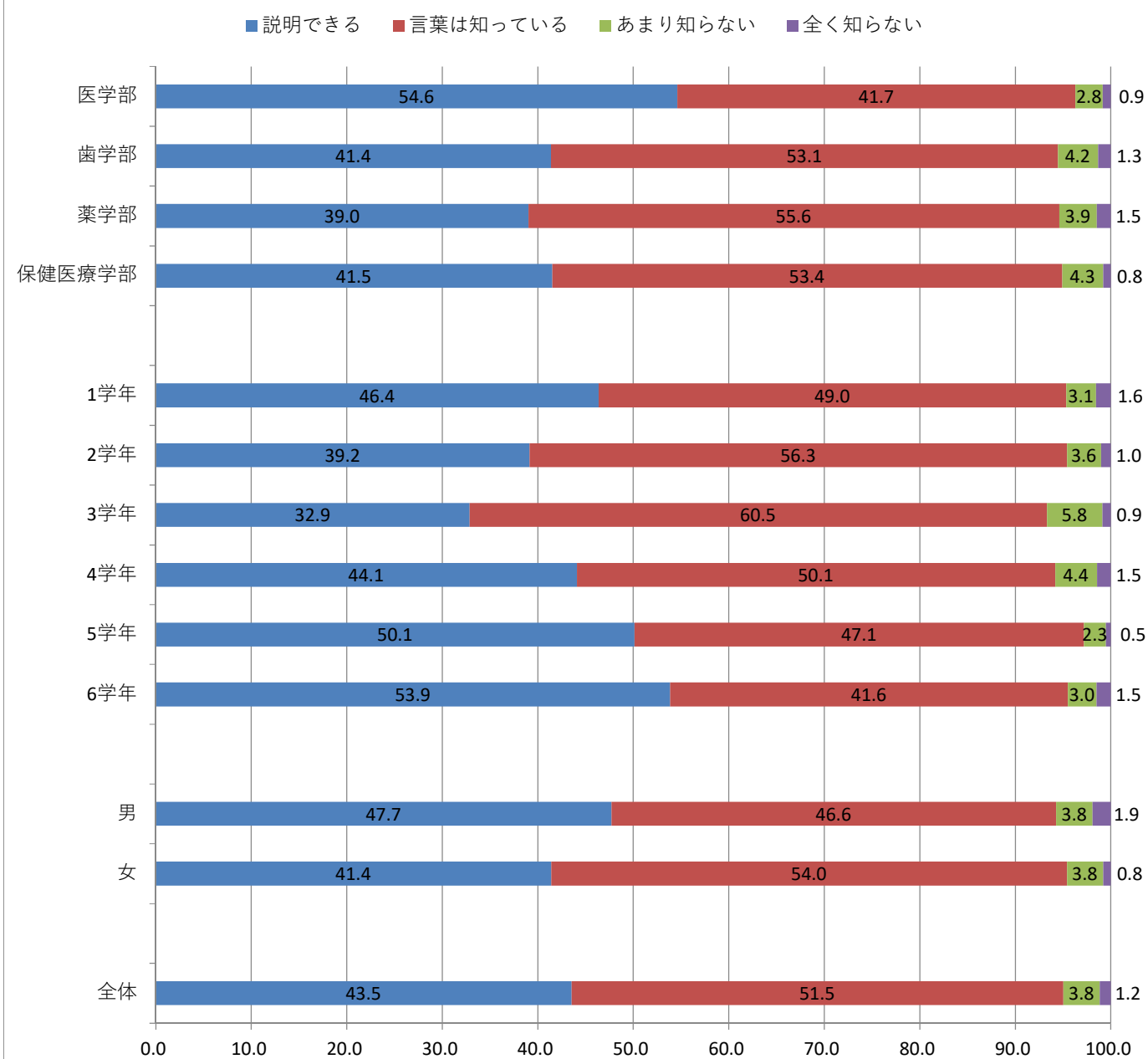


4.性別

■ 男 ■ 女



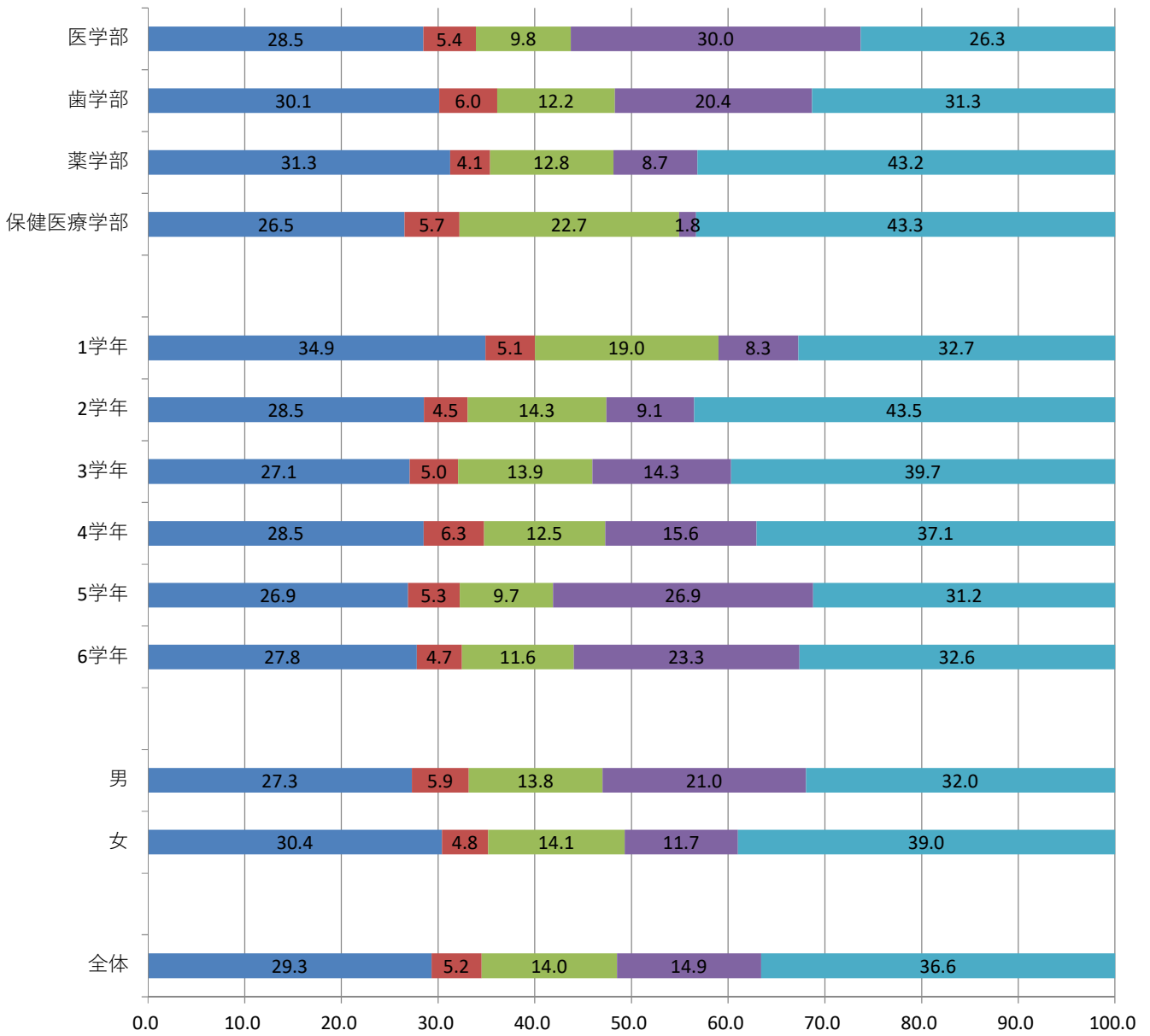
5.昭和大学の理念「至誠一貫」について



入学時は説明を受けたこともあり、「至誠一貫」について記憶している学生が多いが、2-4学年では記憶が薄れてきているような傾向がある。5,6学年になると、病院実習などが開始され、改めて「至誠一貫」について再認識しているのかもしれない。2-4学年でも臨床に則した実習やPBLなどが実施されているので、その都度学生に伝えることが望ましい。

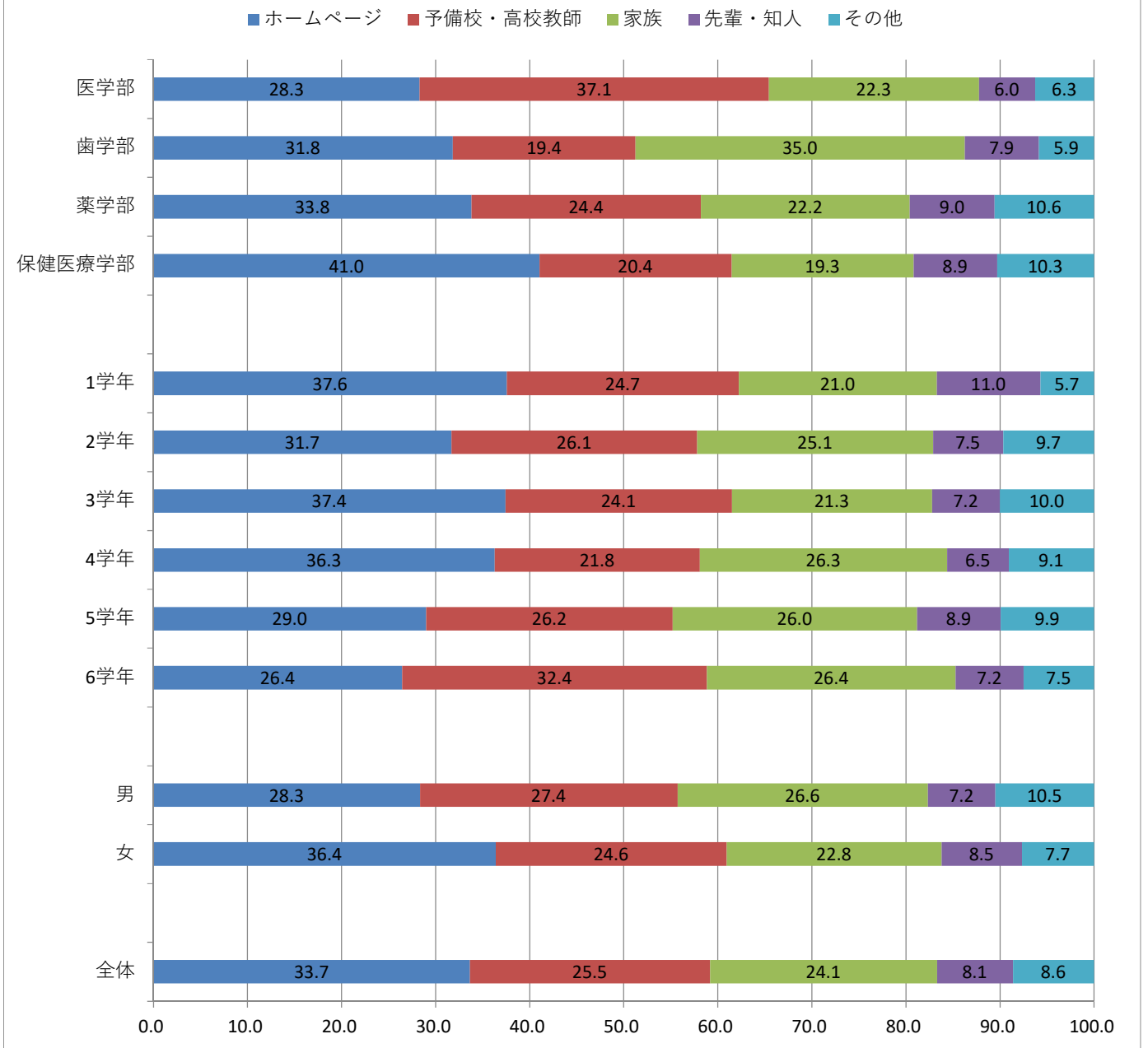
6.昭和大学を志望した理由 *複数回答可

■ 建学の精神・大学の特色・校風がよい ■ 教員がよい ■ 施設・設備技術等が優れている ■ 学納金が安い ■ 1年次全寮制



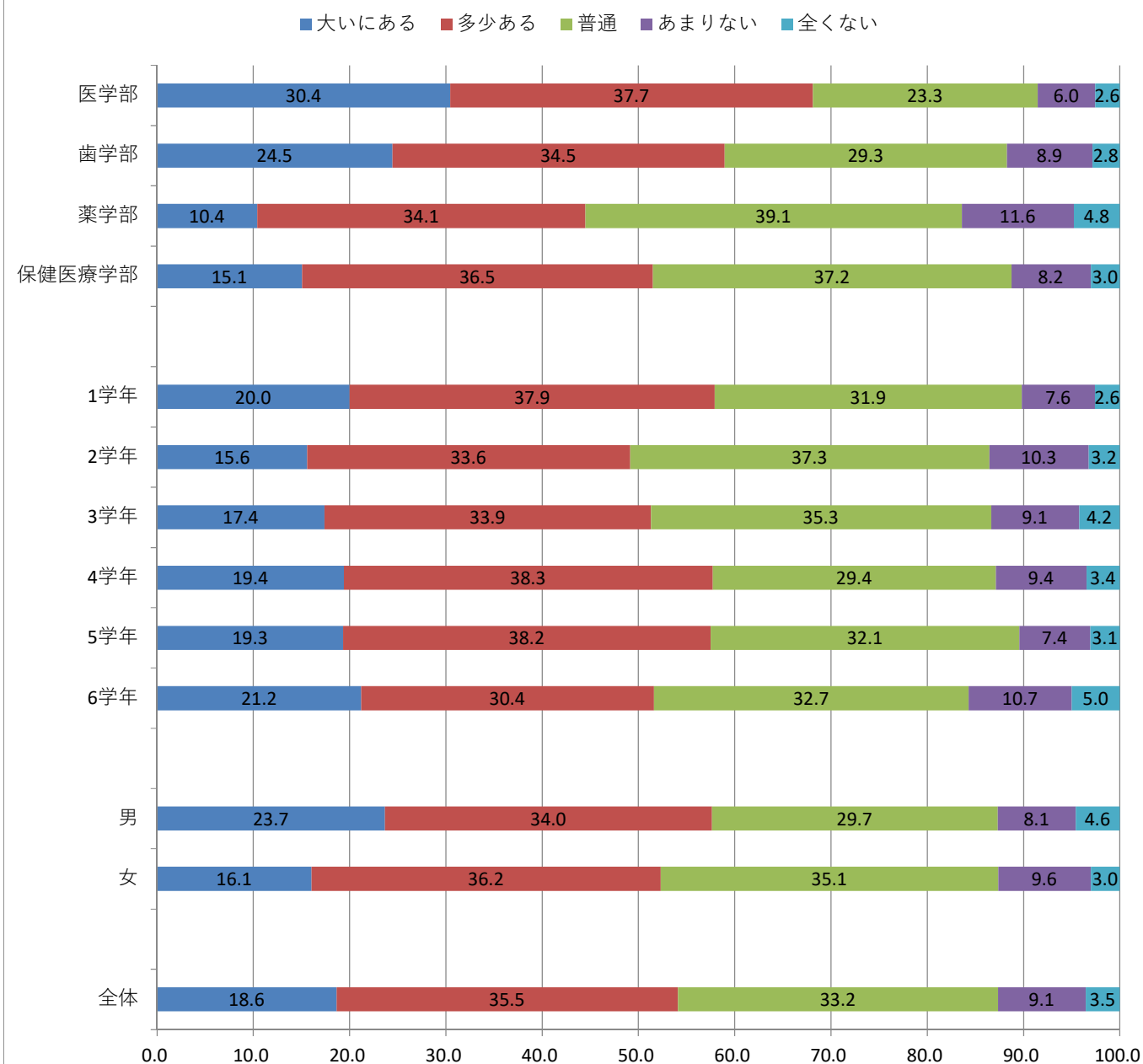
建学の精神・大学の特色・校風が良い、という意見は各学年を通じて高い推移を示している。学納金が安いと感じるのは5,6学年で、高学年になると、学外の学生との交流を通じたり、あるいは親御さんと学納金についてより詳しく話が出るのか、学生自身が理解し始める様子が伺える。また、1学年全寮制は6学年一貫して高い推移(特に2学年が40%超)なのは、寮生活が楽しかったことが伺える。

7.昭和大学の情報はどこから入手しましたか



ホームページや予備校・高校教師から昭和大学の情報を得ている学生が約60%で、これまでの広報活動が功を奏し得ていることが考えられる。また、30%近くの学生はご家族からも情報を得ているのは、ご家族が昭和大学出身であったり、ご家族が一丸となって受験に臨んでいることが伺える。ホームページから情報を得ている学生が多いので、今後は学生から意見をもらったりして、さらにわかりやすく工夫することが望ましい。

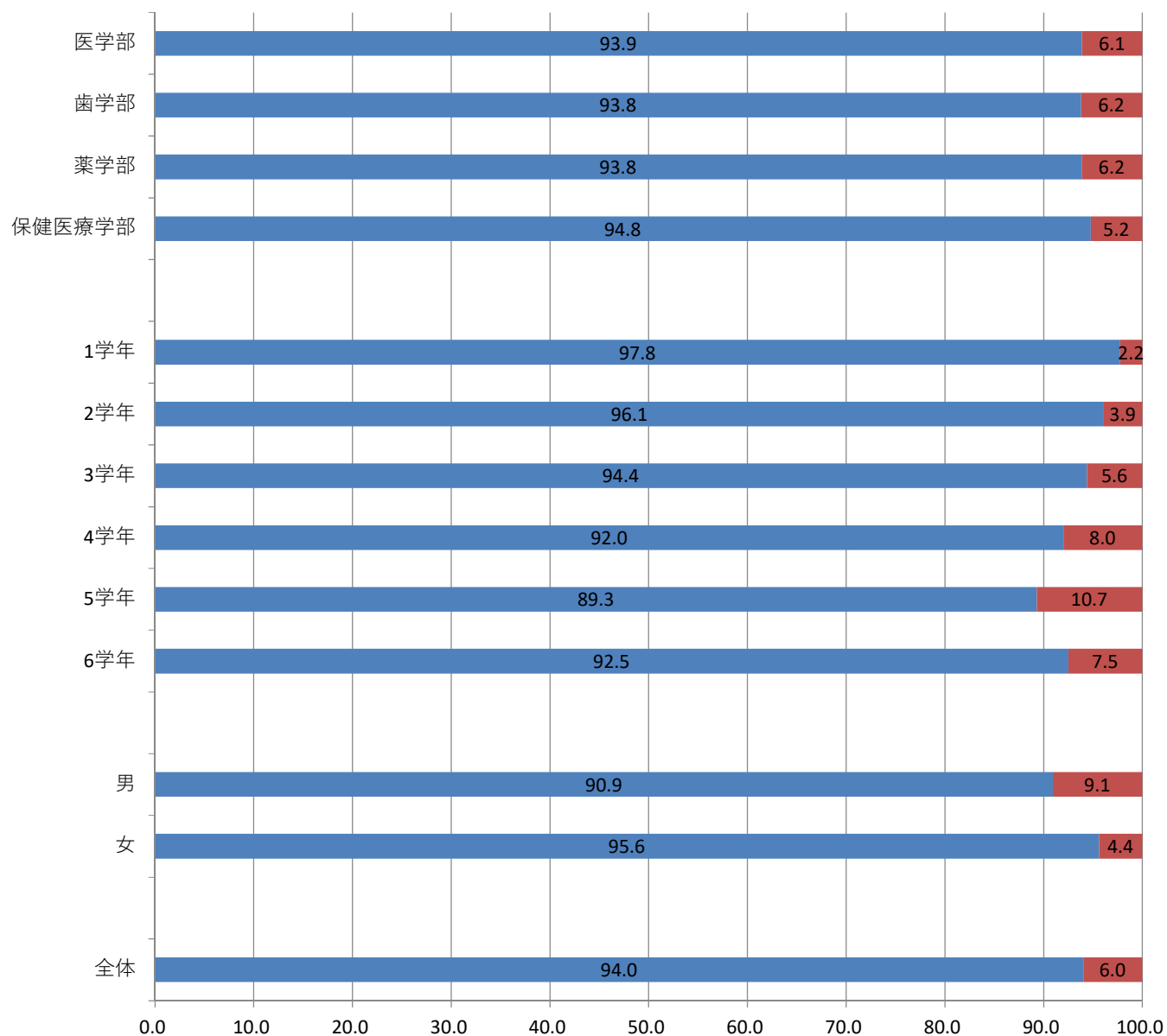
8.昭和大学に対する愛着度について



昭和大学に愛着が、「大いにある、多少ある、普通」である学生は90%近くあるものの、最高学年の6学年で「全くない」が5.0%で最も高いのが気になるが、
 国試の勉強が辛かったり、自分の将来像などが見えなかったりと、6学年になると不安な気持ちの学生が増加し、結果として昭和大学自体に不満が生じているのかもしれない。6学年のチューターなどをより活用する必要がある。

9.1 年次に全寮制教育を実施している意義を知っていますか

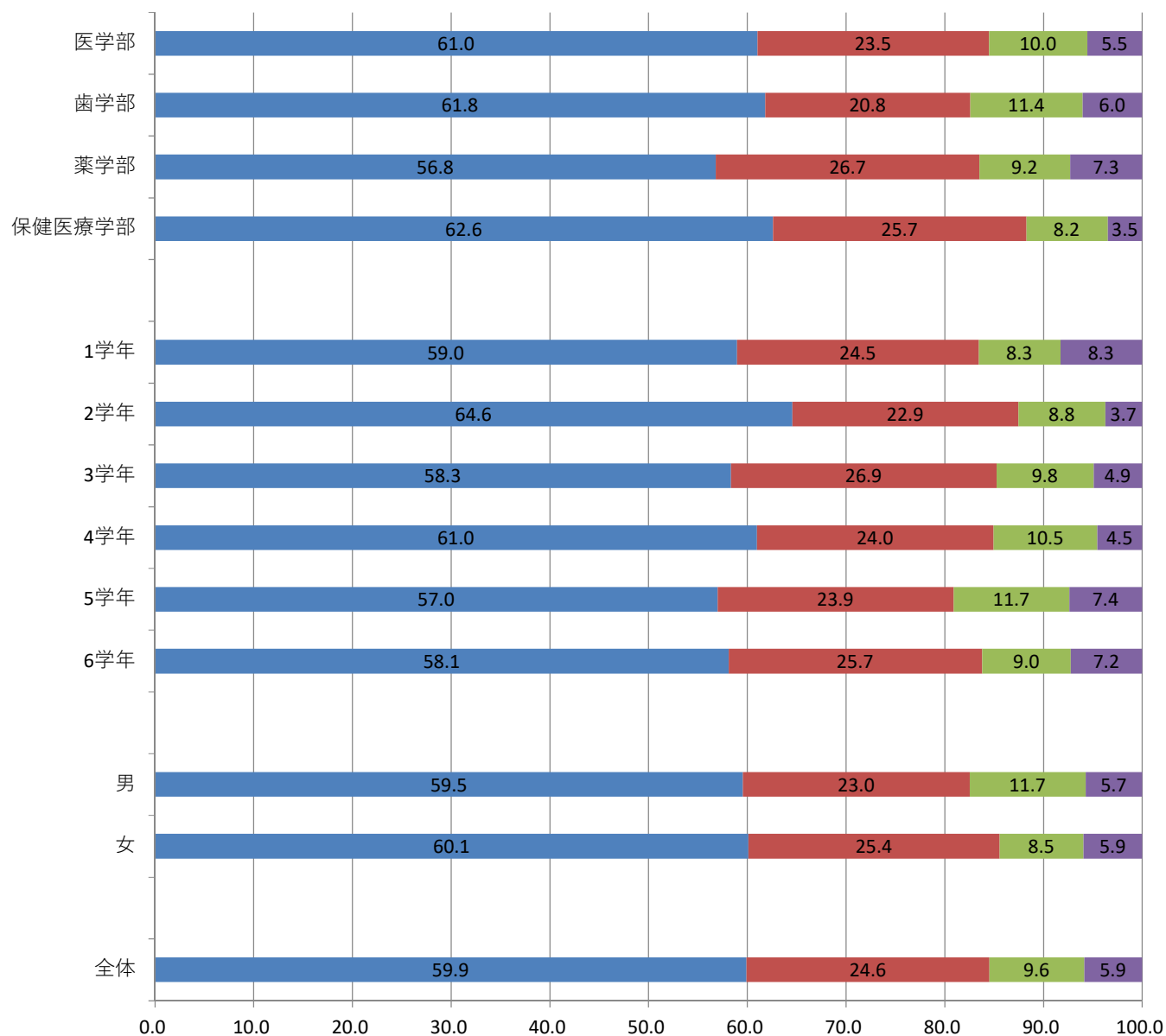
■ はい ■ いいえ



前回調査(平成30年度)では、「はい」が全体で84.2%であったが、今回94.0%の学生が全寮制教育の意義を知っていると答えている。オリエンテーションでのアイデンティティ教育や各種式典での校歌斉唱や昭和大学宣言宣誓などの指導が現れていると思われる。

10.入学するにあたり、1年間の寮生活をどのように考えていましたか

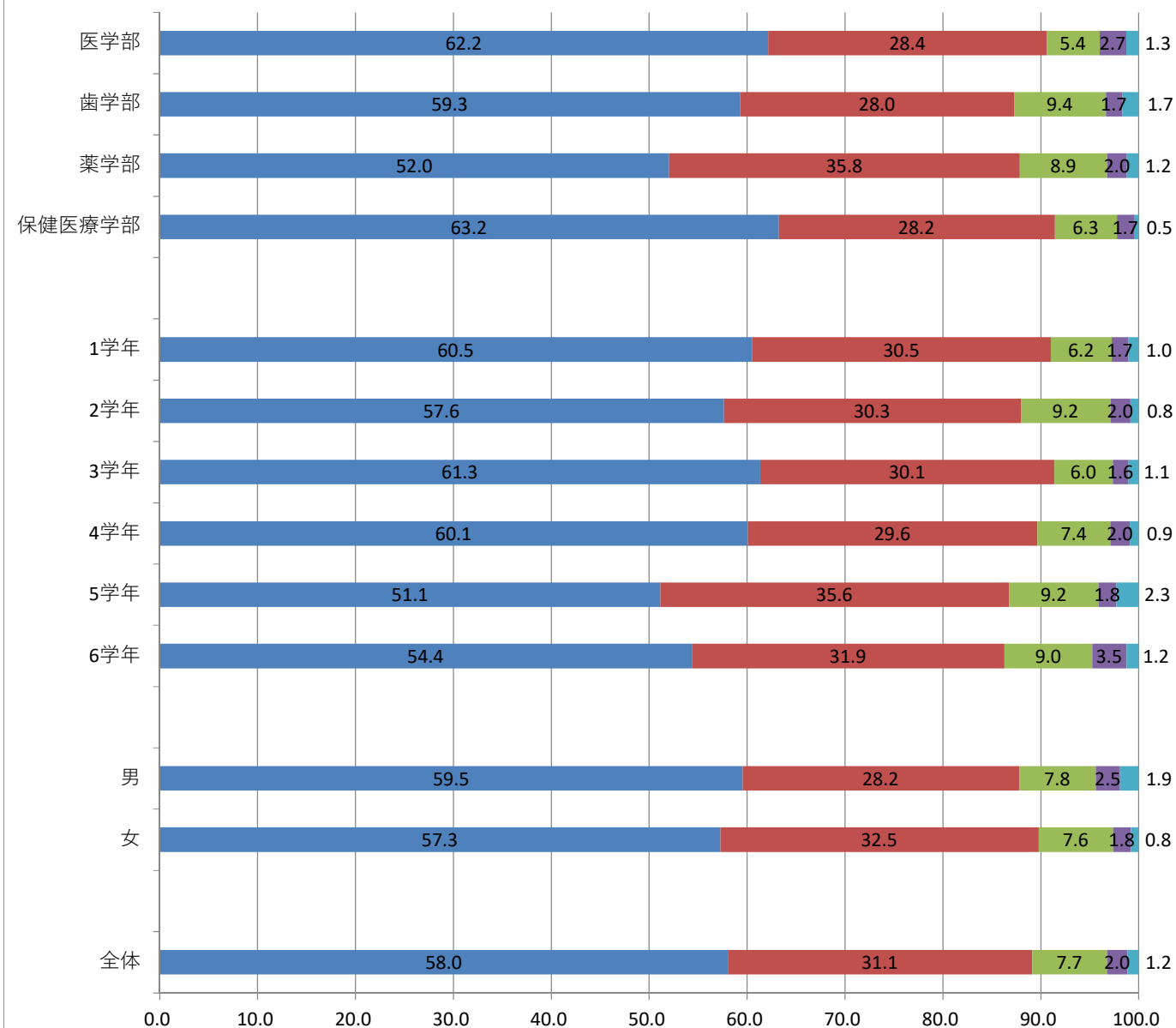
■ 楽しみだった ■ 不安だった ■ 特に何も感じなかった ■ 仕方ないと思った



「楽しみだった」が前回調査(平成30年度)の53.2%から6%アップして59.9%となっている。2020年度の1年生を対象とした寮生活に関するアンケートでも、本学受験の際に全寮制が志望動機の一つとなったかとの問に対して、はいと答えた学生は73.2%となっており、受験時から本学の特徴である全寮制教育については注目されていることがうかがえる。

11.寮生活は医療人としての人間性を養う上で有用だったと思いますか（有用だと思いますか）

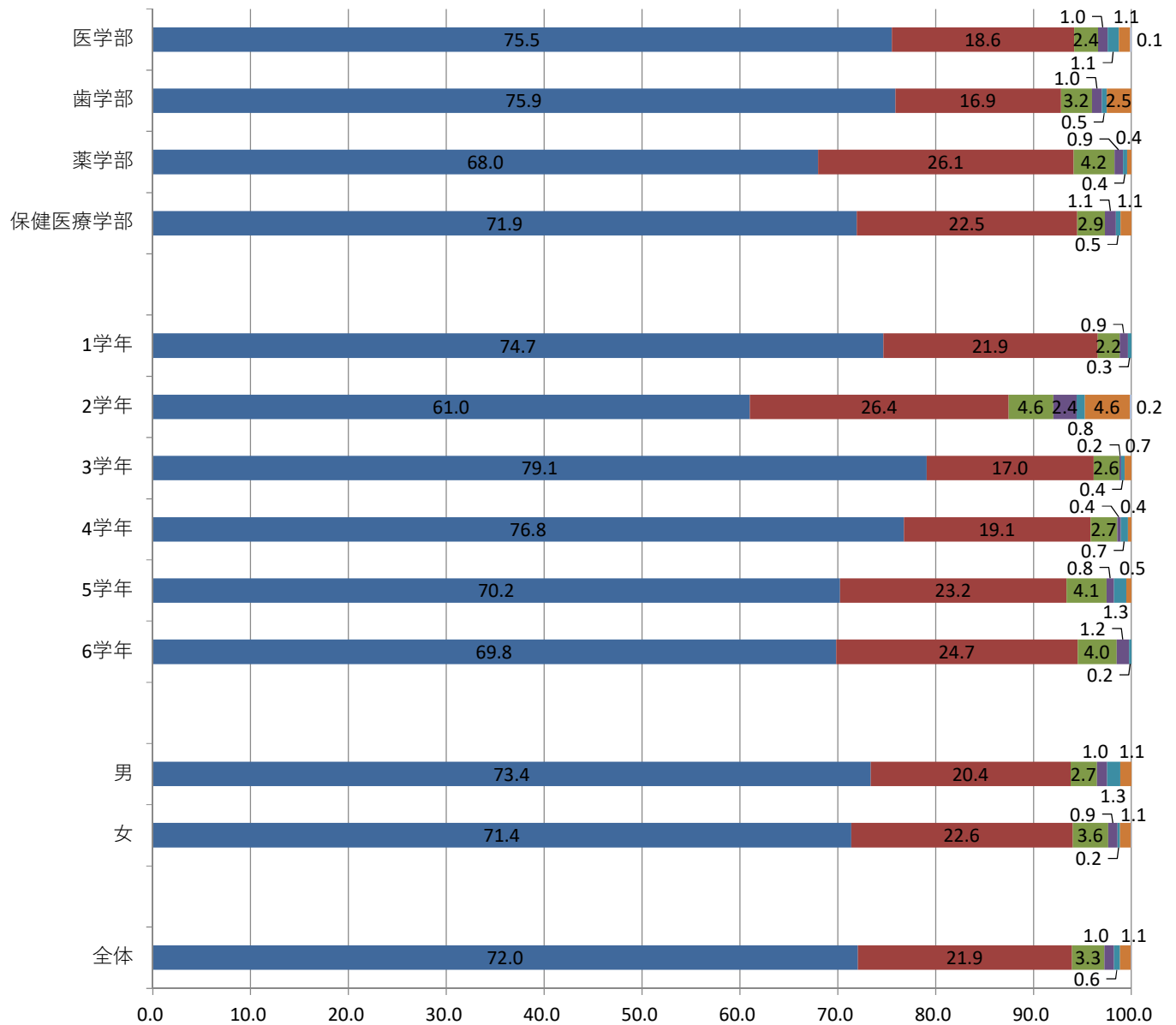
■とても思う ■少し思う ■どちらともいえない ■思わない ■全く思わない



前回調査（平成30年度）では「とても思う」と「少し思う」で85.4%であったが、今回は89.1%と4%ほど寮生活の有用性を感じている学生が増加している。特に1年生は寮生活の継続中の調査であるが、91%の学生が有用だと思っている。

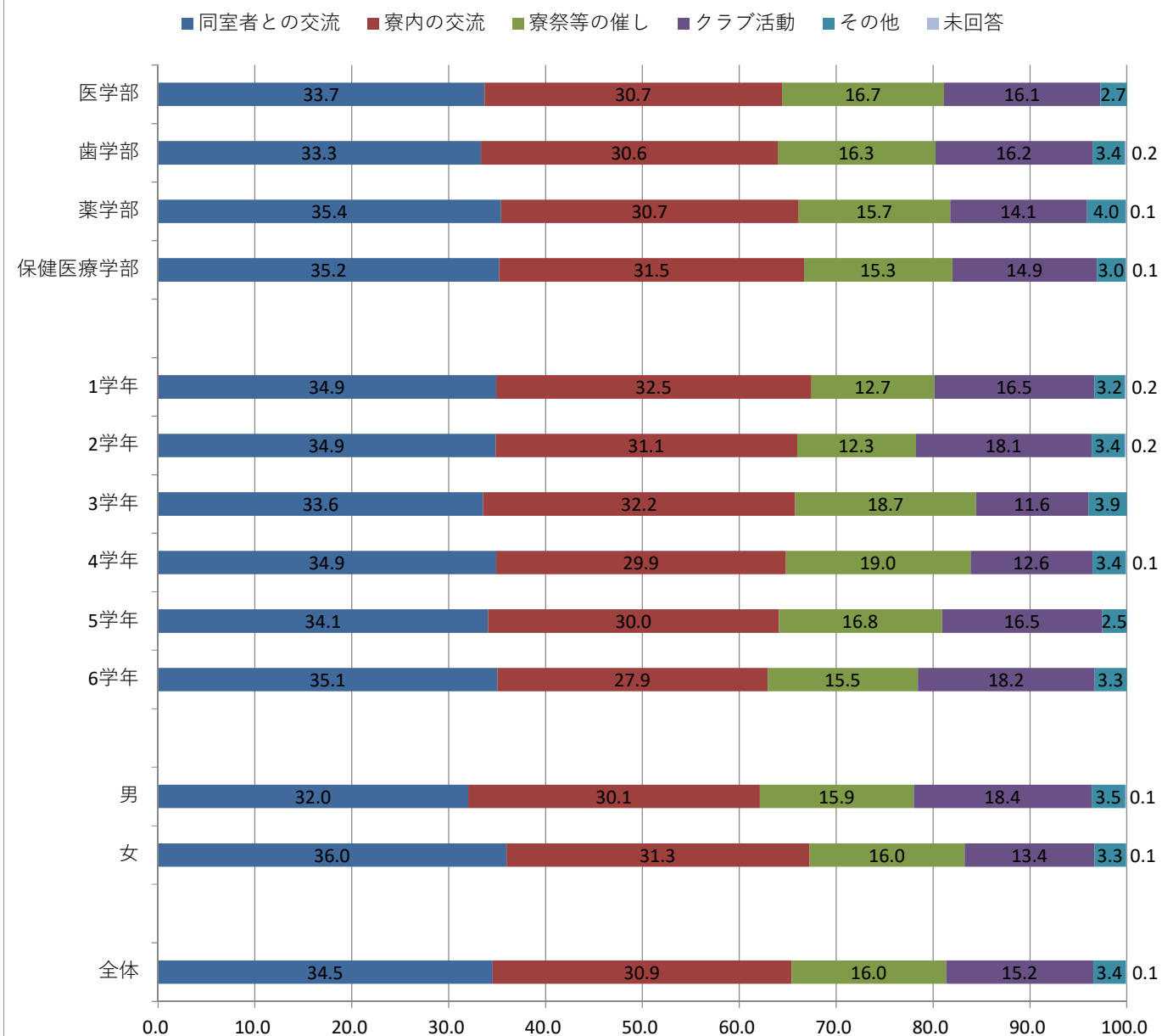
12.寮生活で、他学部の人との交流をはかれたと思いますか

■とても思う ■少し思う ■どちらともいえない ■思わない ■全く思わない ■入寮しなかった ■未回答



2年生で「とても思う」と回答した学生が3年生より上級学年と比較して低い値を示しているが、これはコロナ禍の影響で入寮期間が約2ヶ月と例年と比べて短かったことが影響していると思われる。逆に1年生は前期後期ともに例年より1ヶ月程度は寮生活が短かったものの、寮祭など交流するための行事が行えたことから例年通りの数値を示していると思われる。

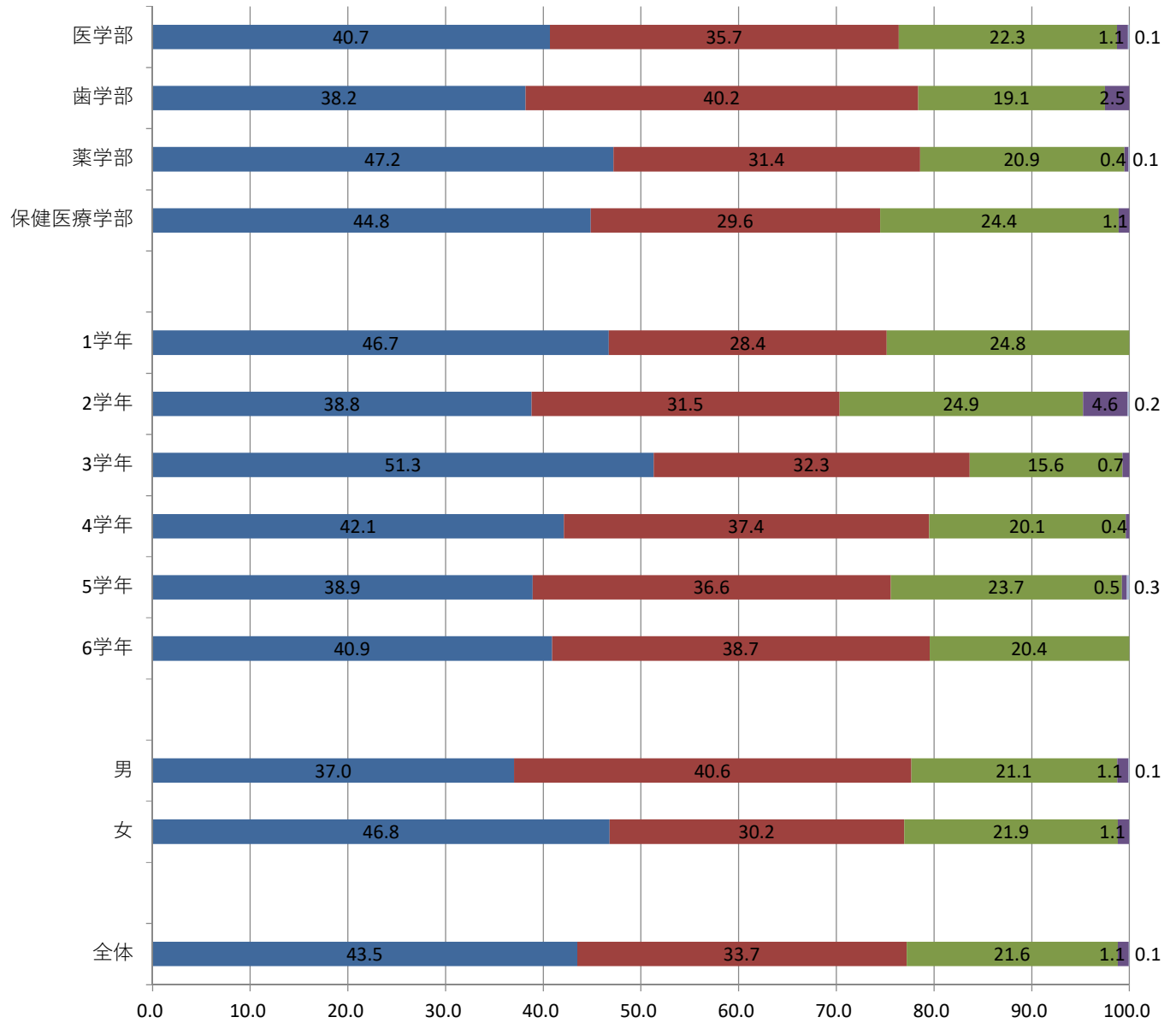
13.「12」で「とても思う」と答えた方に質問します。それはどのようなものを通して思いましたか *
複数回答可



「同室者との交流」と「寮内の交流」と答えた学生が多く、生活の基盤である寮が交流の中心でもあることが明らかである。また12の結果を裏付けるように寮祭等の催しが学部、寮を超えた交流の場となっていることがわかる。

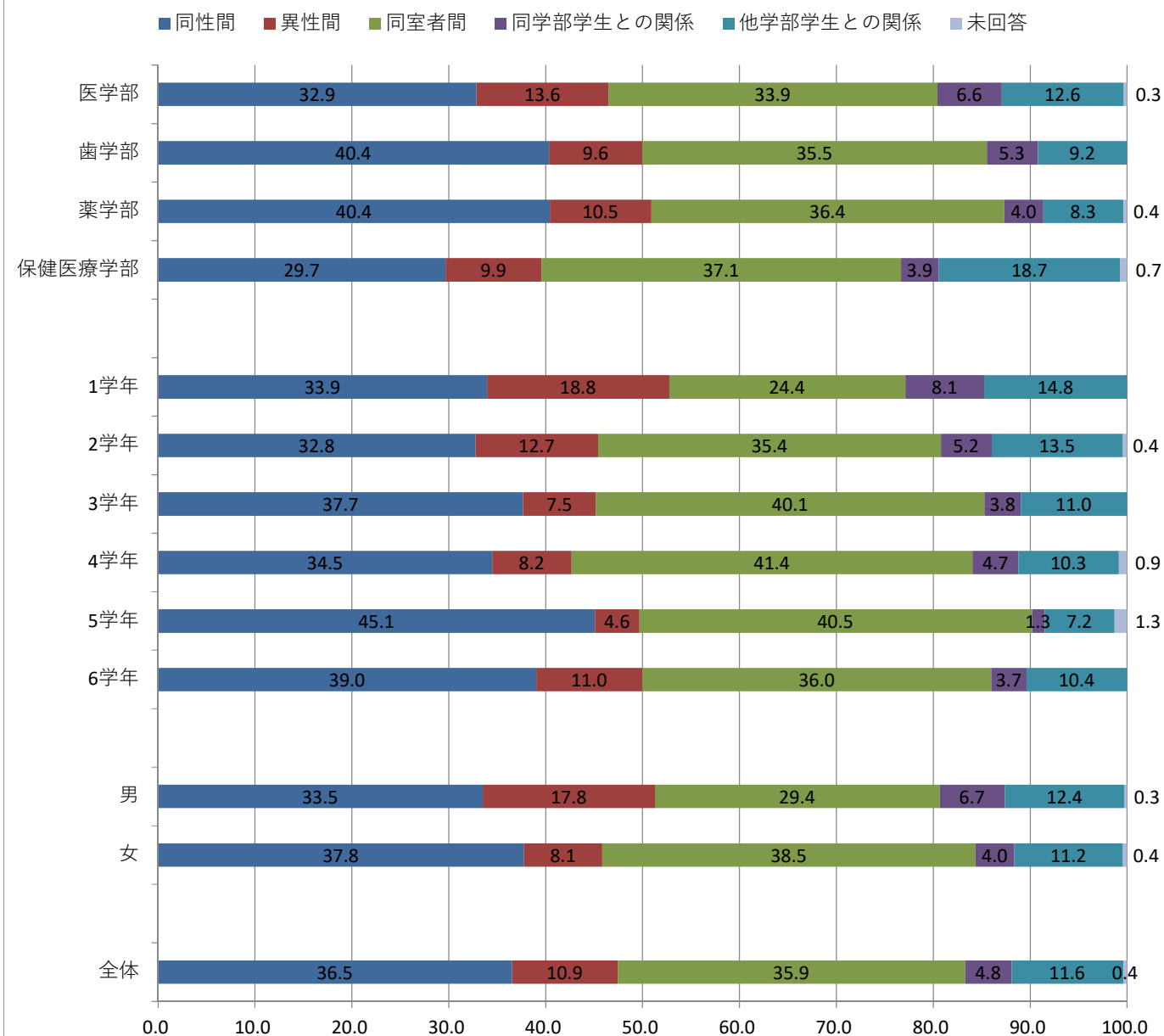
14.寮生活で他の人との交流が難しいと感じたことがありましたか（感じるがありますか）

■ はい ■ いいえ ■ どちらともいえない ■ 入寮しなかった ■ 未回答

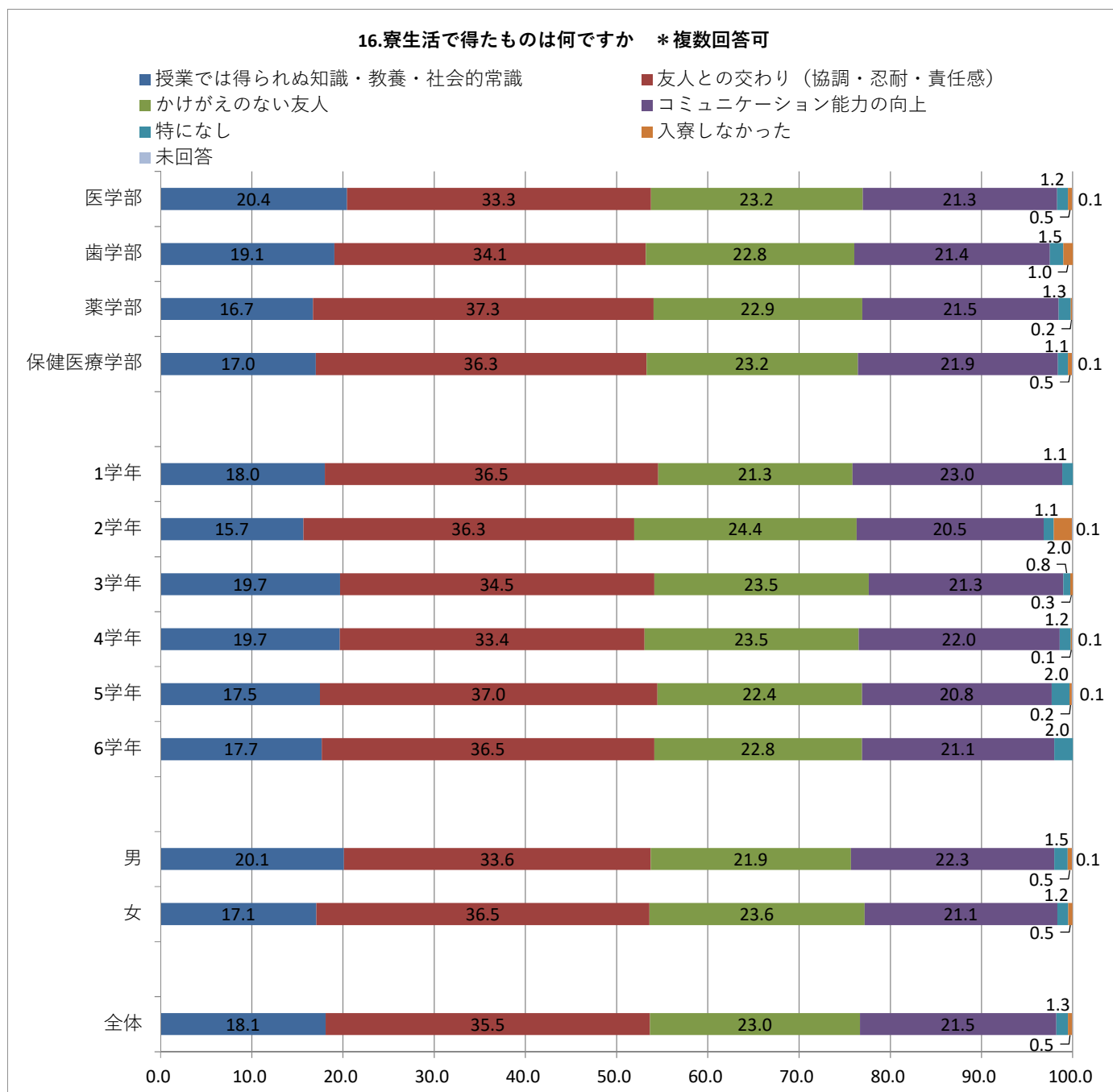


「交流が難しい」と感じたことがある男子学生は37%にとどまったのに対して女子では46.8%とほぼ10%高い数値を示しており、女子学生において、男子とは異なる人間関係の難しさが存在するようだ。

15.「14」で「はい」と答えた方に質問します。具体的にはどのような関係が最も難しいと実感しましたか

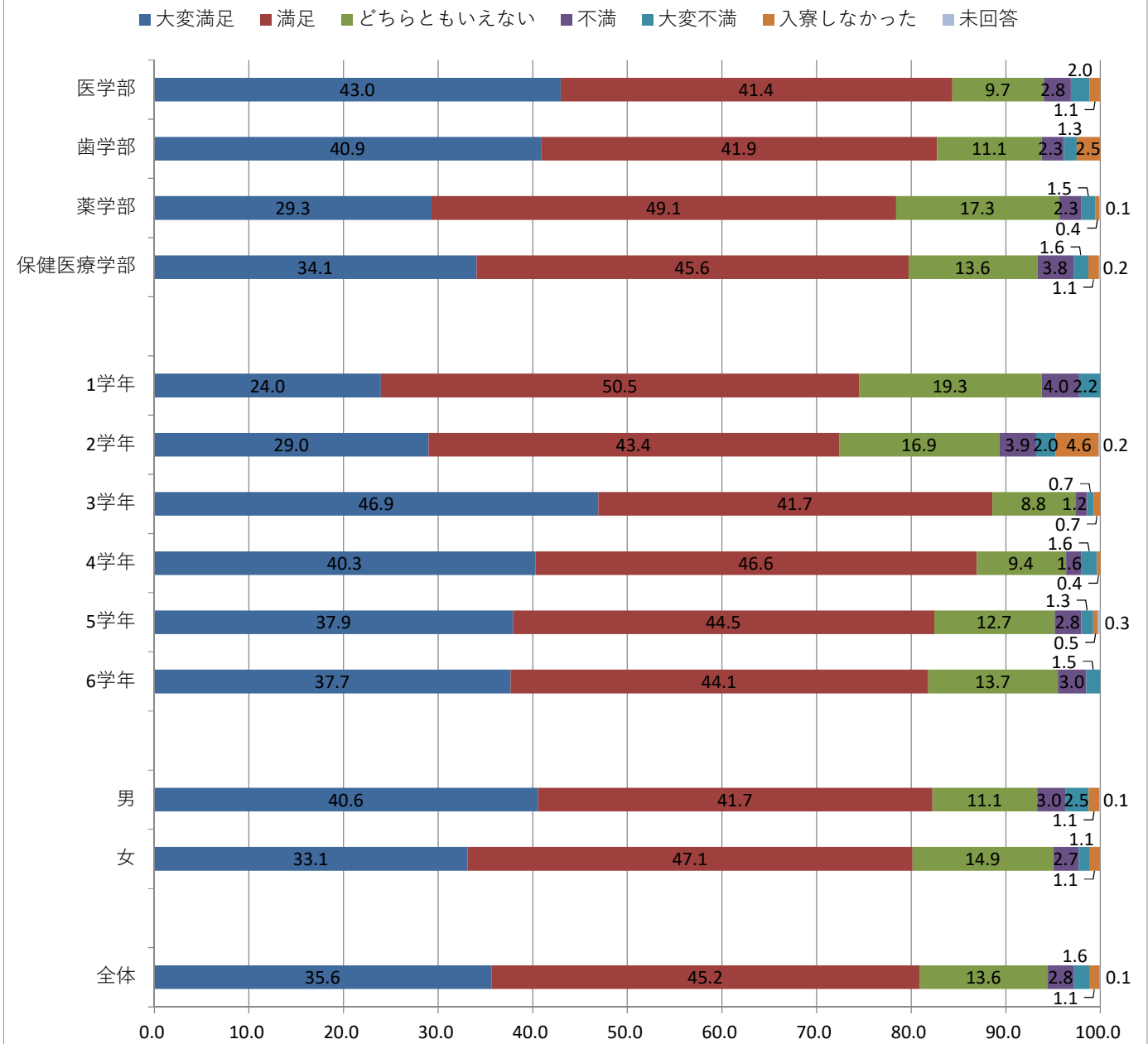


14の回答の詳細として女子学生では「同室者」と同室者以外の「同姓者間」の人間関係の難しさをあげている学生が76.3%であった。また2020年度の全寮制に関するアンケート結果では同室者との関係が難しいとの理由として性格が合わない、生活パターンの違いなどがあがっていた。



女子学生では15の難しい人間関係を構築する中で協調性や忍耐などを身につけかけがえのない友人をえたとの回答が男子学生より多く見られた。

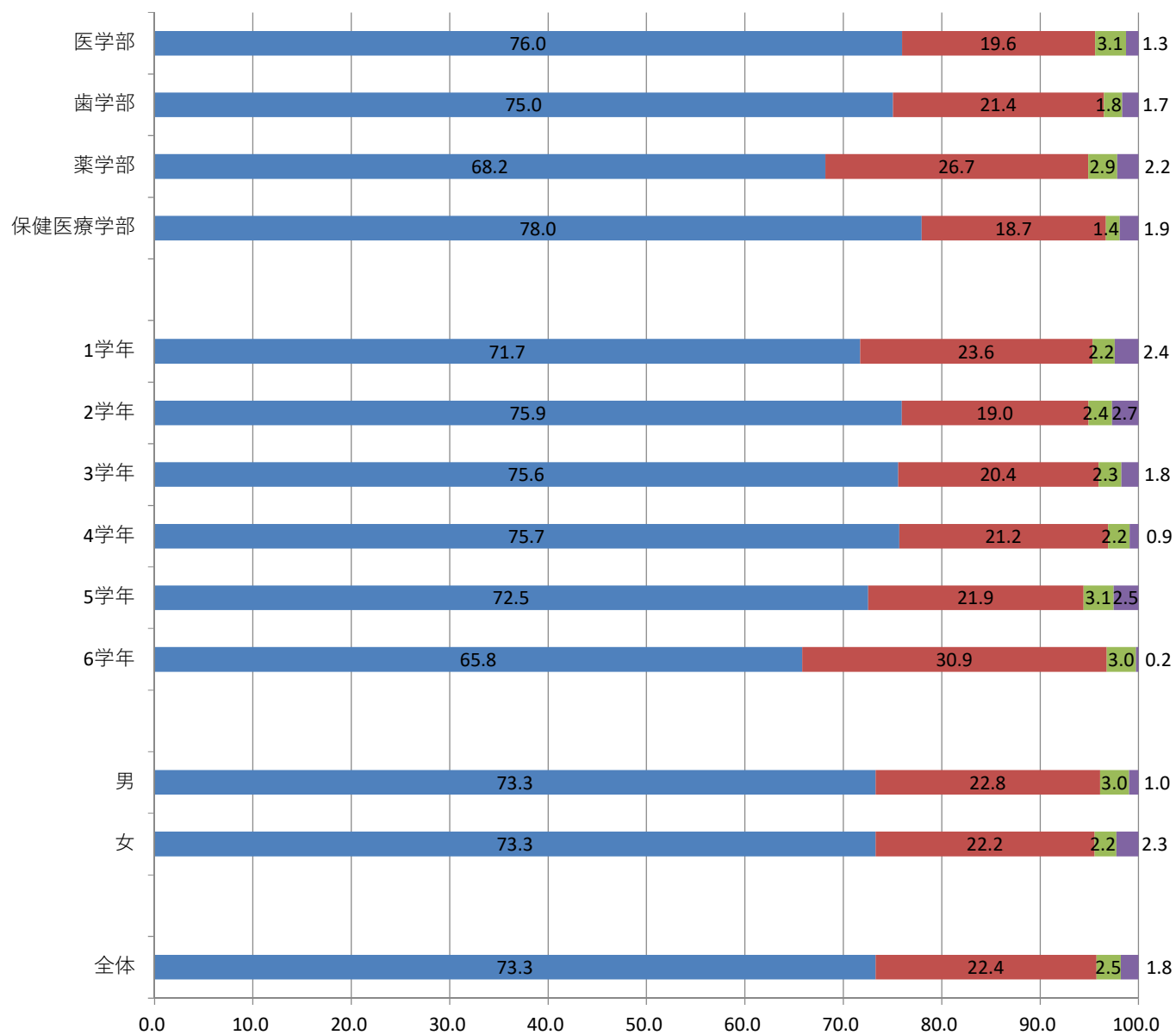
17.全寮制教育の満足度はどうでしたか（どうですか）



毎回大変満足と満足をあわせると80%以上だったが、1・2年生ではそれぞれ74.5%・72.4%と低い回答となっており、コロナ禍の影響で例年とは異なる制限が寮生活にかかったことなどが影響している可能性があると思われる。特に薬学部で大変満足していると回答した学生は29.3%と他学部と比較して低く、検討する必要がある。

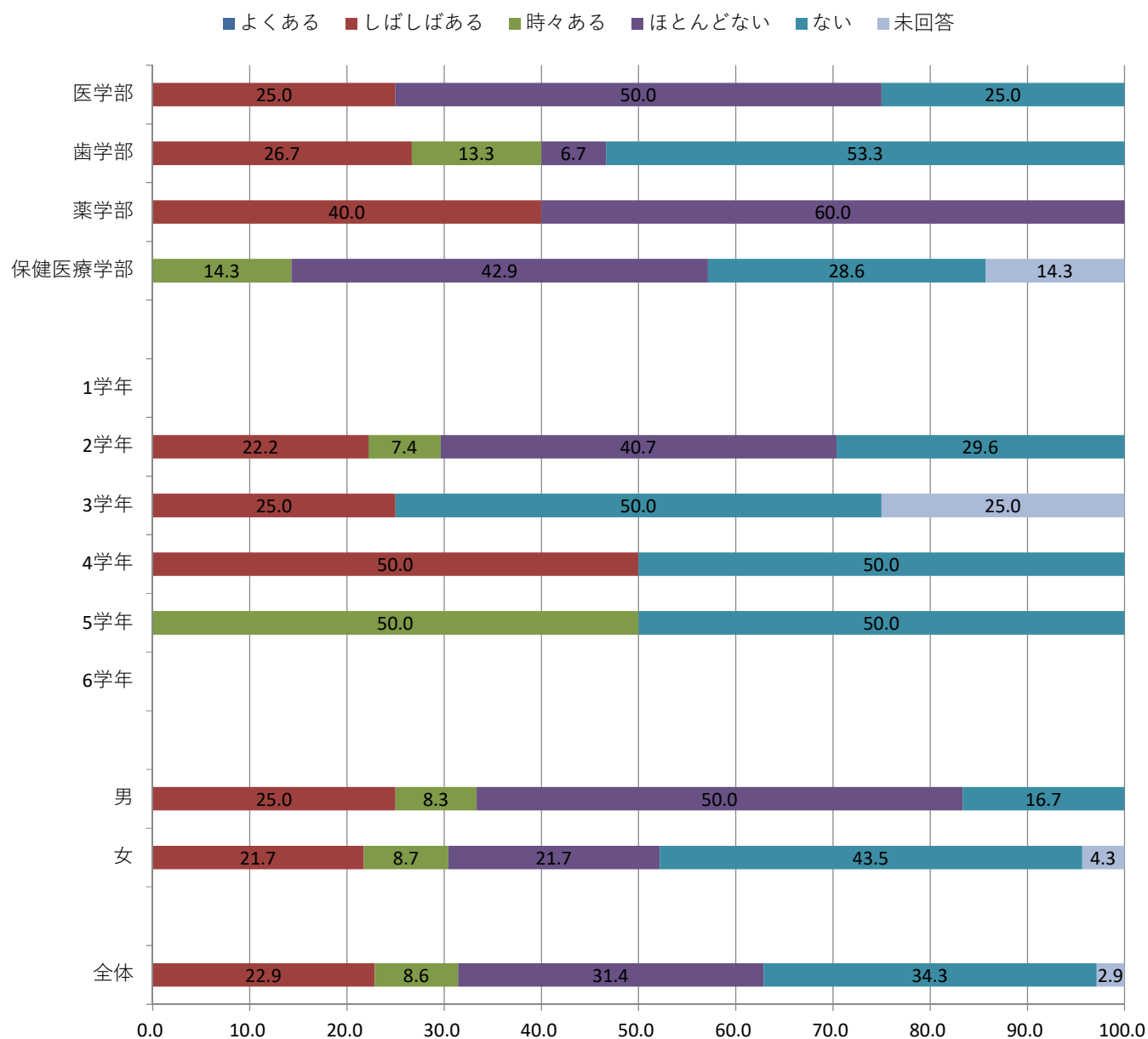
18.本学は今後も「全寮制度」を存続させた方が良いと思いますか

■ 続けて欲しい ■ どちらでもよい ■ 続ける必要はない ■ よくわからない



これまでの調査では続けて欲しいが毎回60%台中頃の数値を示していたが、今回は全体で73.3%と高い数値を示した。

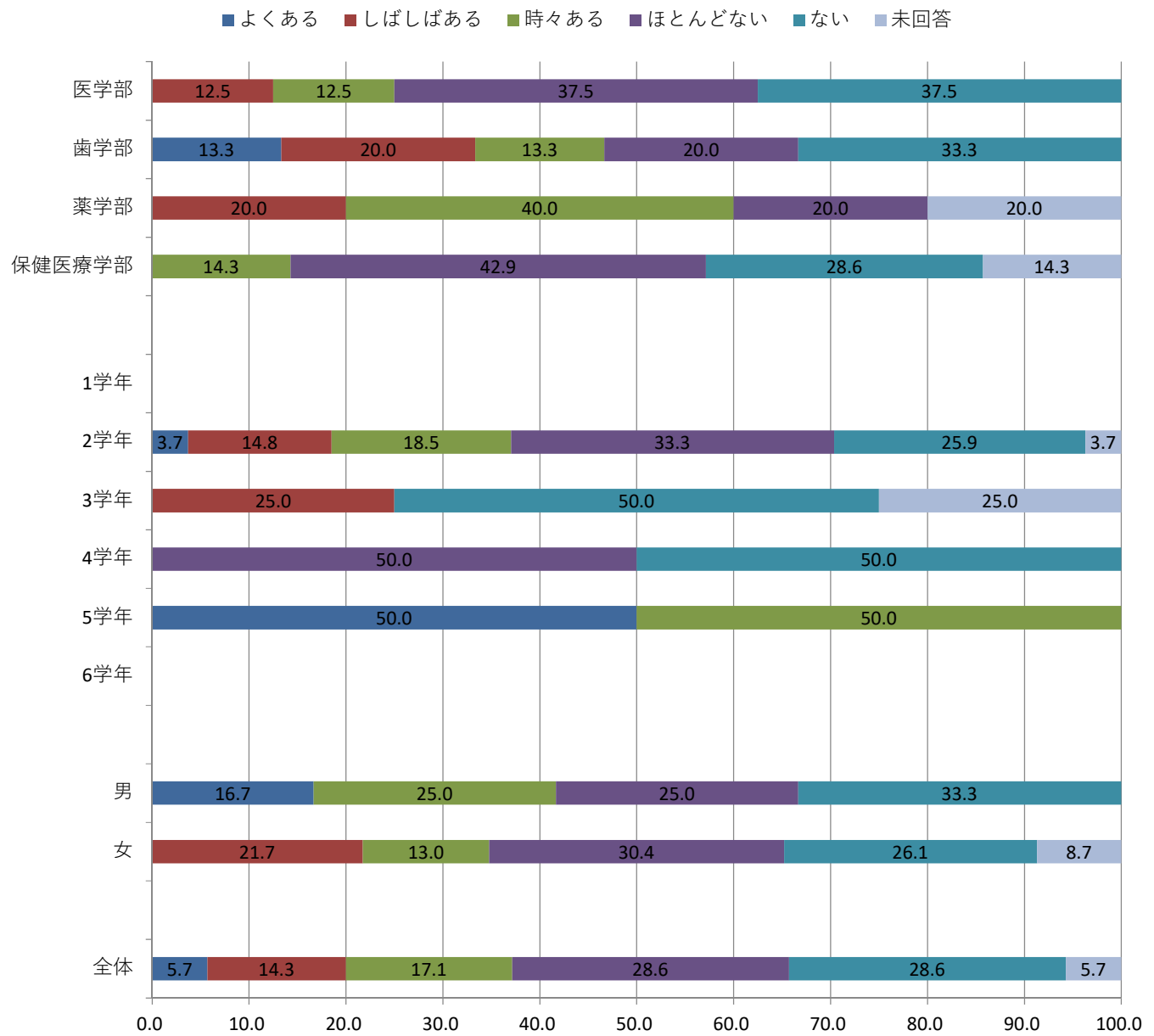
19.「1年で入寮しなかった学生」に質問します。入寮しなかったことで2年生になって学修上の不利益
がありますか



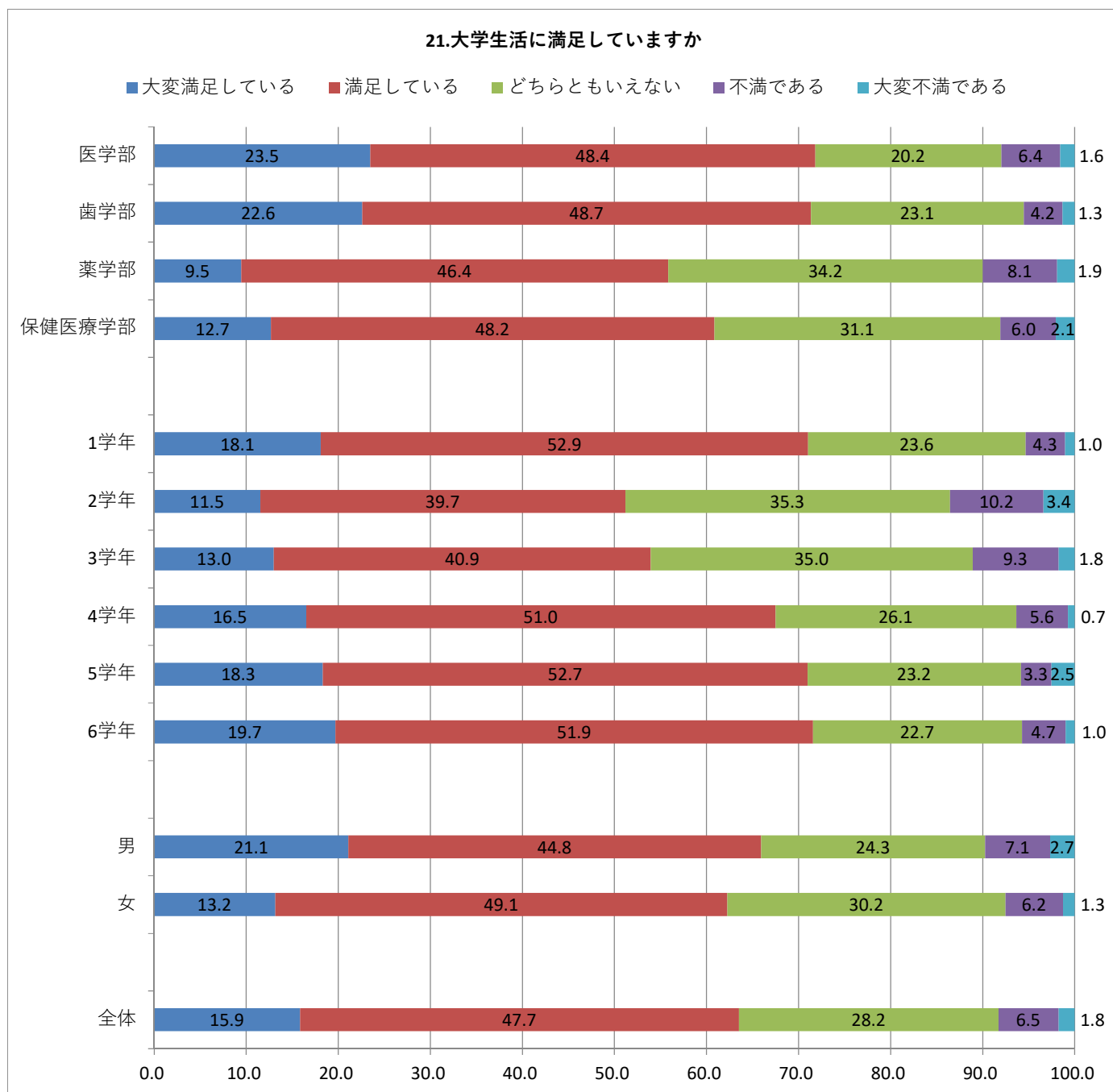
昨年度(現2年生)は4.6%が入寮しておらず、そのうち「しばしばある」「時々ある」と学修上の不利益を被っていると感じている学生が29.6%であった。

今後はこのように感じている学生に対し、指導担任や学生部長がサポートしていくことも必要と思われる。

20.「1年で入寮しなかった学生」に質問します。入寮しなかったことで2年生になって学修面以外の学生生活で不利益がありますか

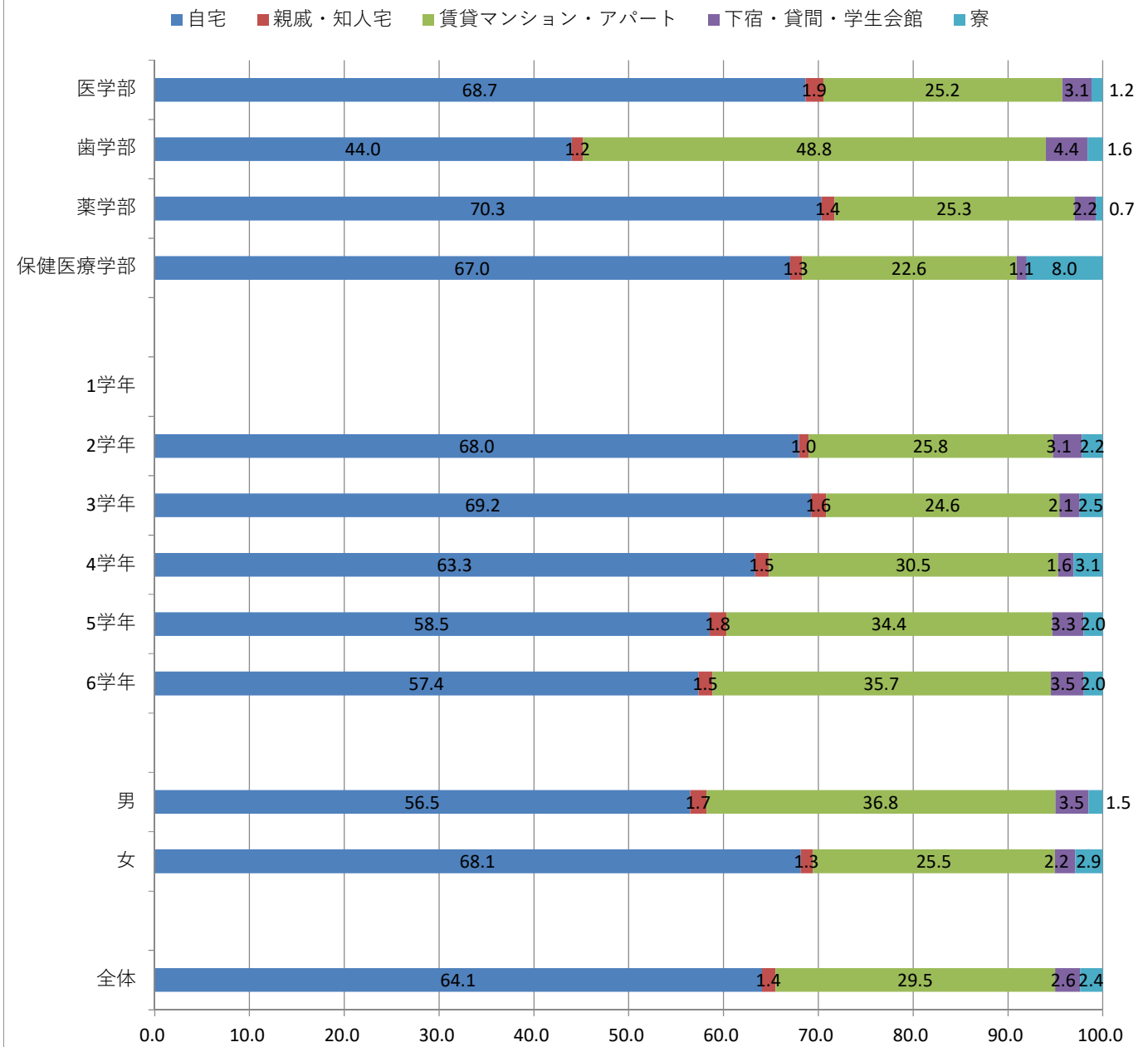


設問19と同様で入寮しなかった37.1%が学修面以外で何らかの不利益を被ったと感じている。こちらについても今後サポートが必要と思われる。



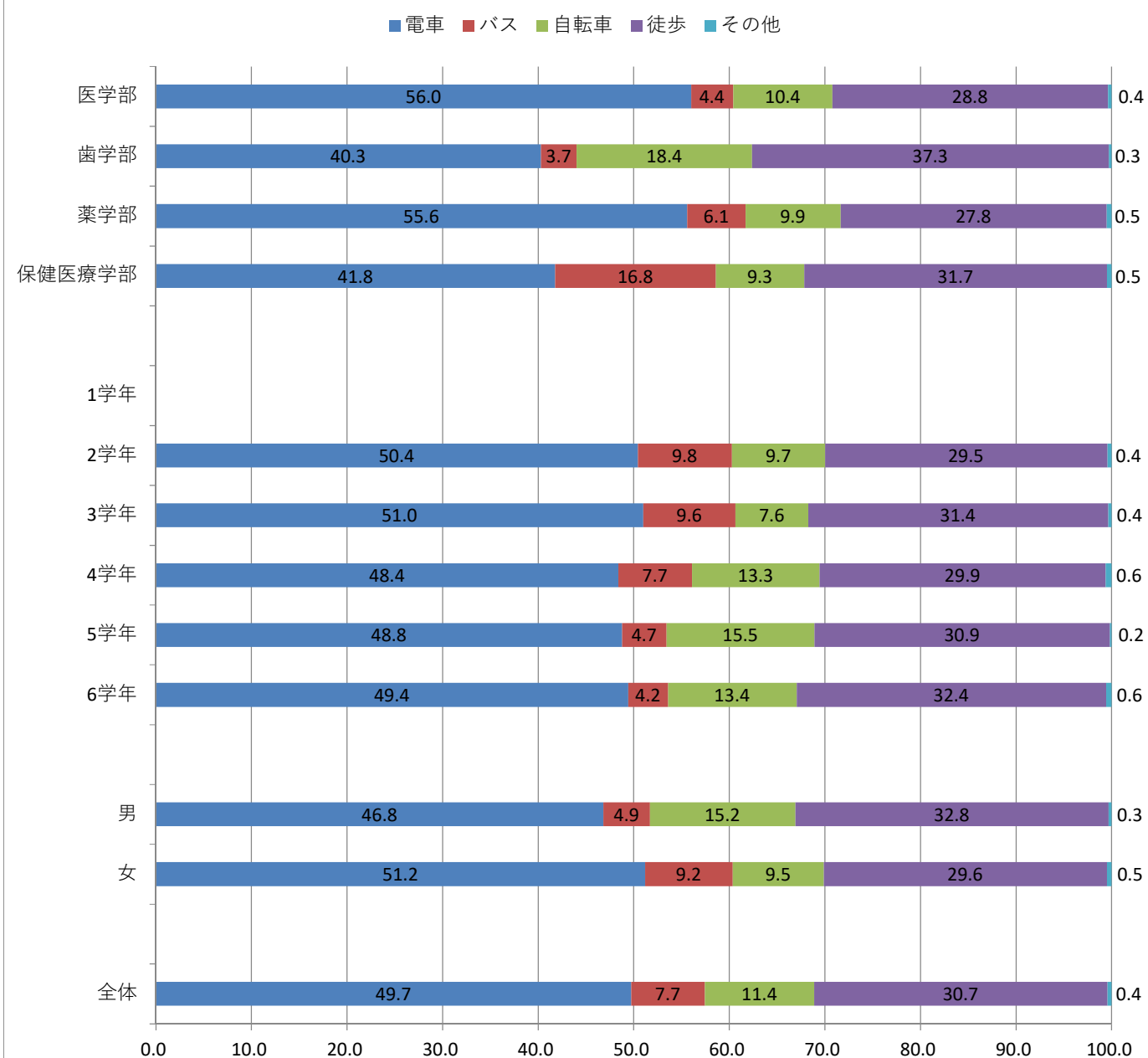
大学生活に大変満足している薬学部の学生が他学部と比較して著しく少ない。その反動が「不満である」にも影響している可能性がある。全体としては60%以上の学生が満足はしている。
今後、「どちらともいえない」「不満である」という学生から実情を調査していきたい。

22.住まいの形態について（第1学年回答不要）



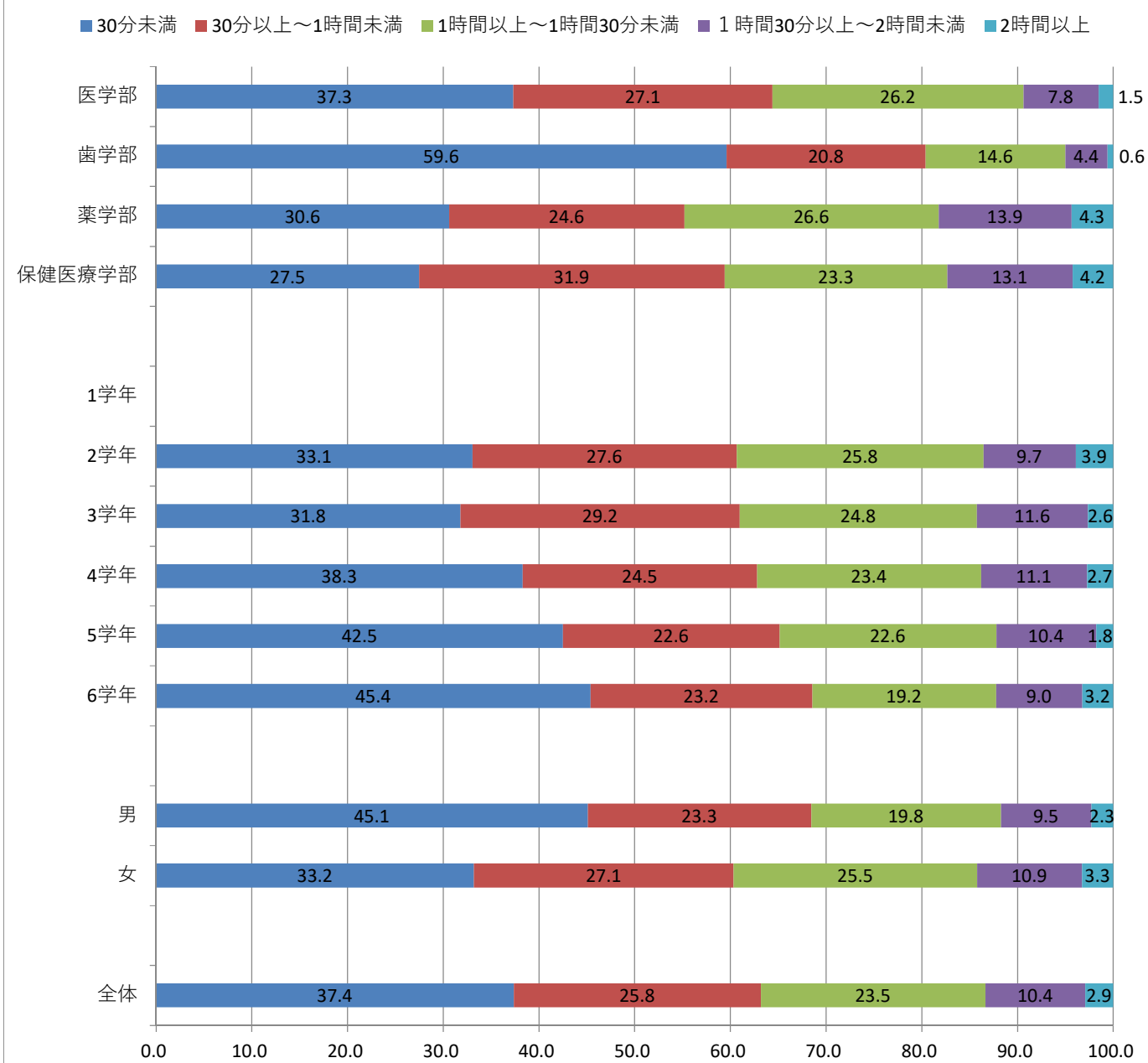
学年が上がるに従い(特に5,6学年)自宅から通う学生数が減少し、賃貸住居や学生会館等の学生が増加する。病院実習や国家試験の勉強が影響しているのかもしれない。
 学費以外に住居費が生じると、経済的に困窮する家庭も出てくる場合もあると思われるので、学費負担が厳しい場合は奨学金などを上手に利用する手段を周知する必要がある。

23.通学的手段は何ですか（第1学年回答不要） * 複数回答可



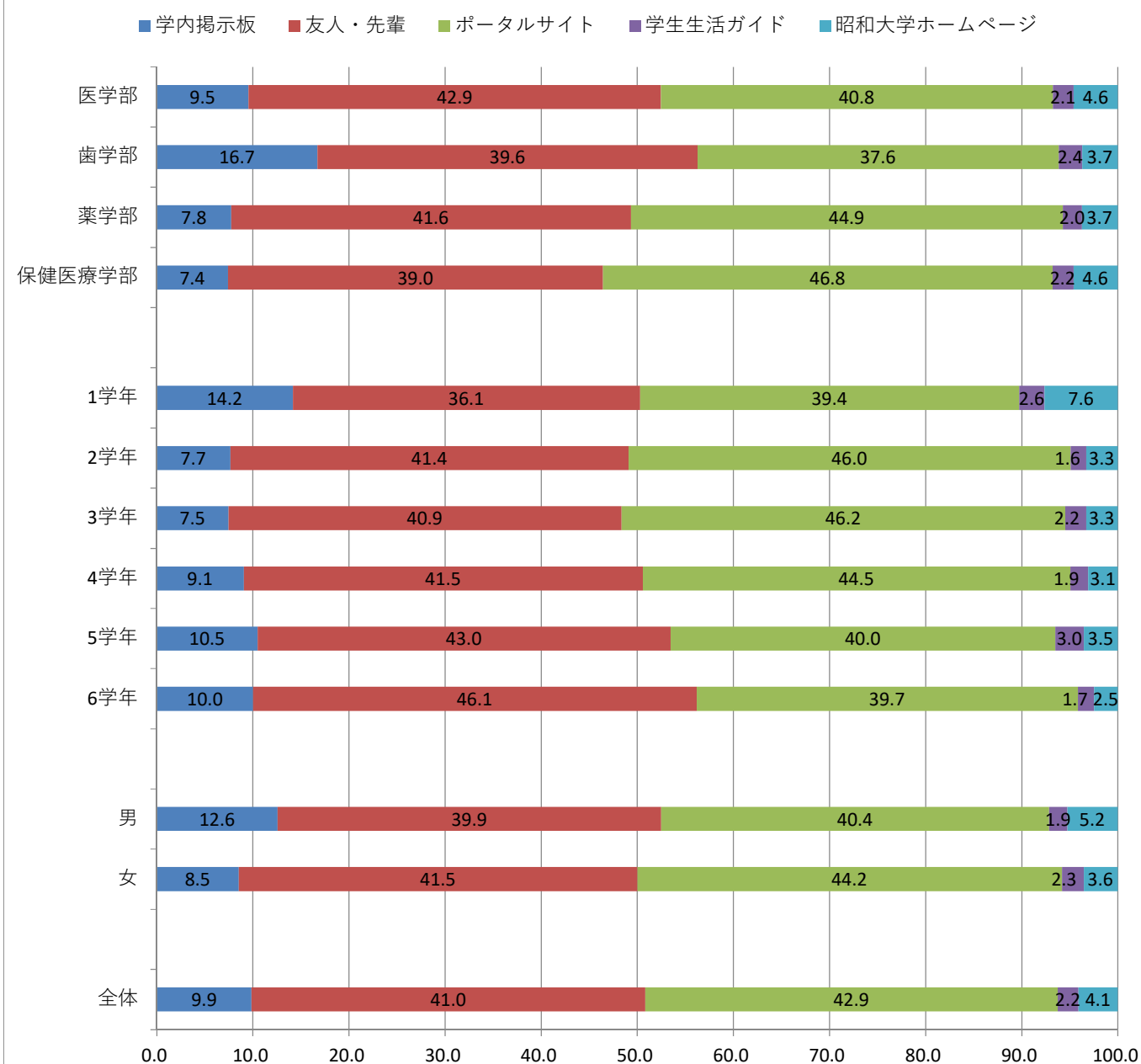
項目22の通り、30%程度の学生が賃貸住居で生活し、徒歩の学生もほぼ同数なので、賃貸住居に住んでいる学生は大学近辺に居住していることが想像できる。学生の約半数が公共交通機関を利用している。

24.通学の片道の所要時間はどの位ですか（第1学年回答不要）



項目22の通り、学年が上がるに従い賃貸住居に居住する学生が増える傾向があるため、通学の所要時間も学年が上がるに従い30分未満の学生の割合が増える傾向にある。また、2時間以上かかる学生の割合は5学年までは減少傾向を示すが、6学年になると2学年と同等にまで増加する。国試勉強のため、生活環境（特に食事や家事等）を家族に頼る学生が増加するためと考えられる。

25.学生生活上の情報はどこから得ますか *複数回答可

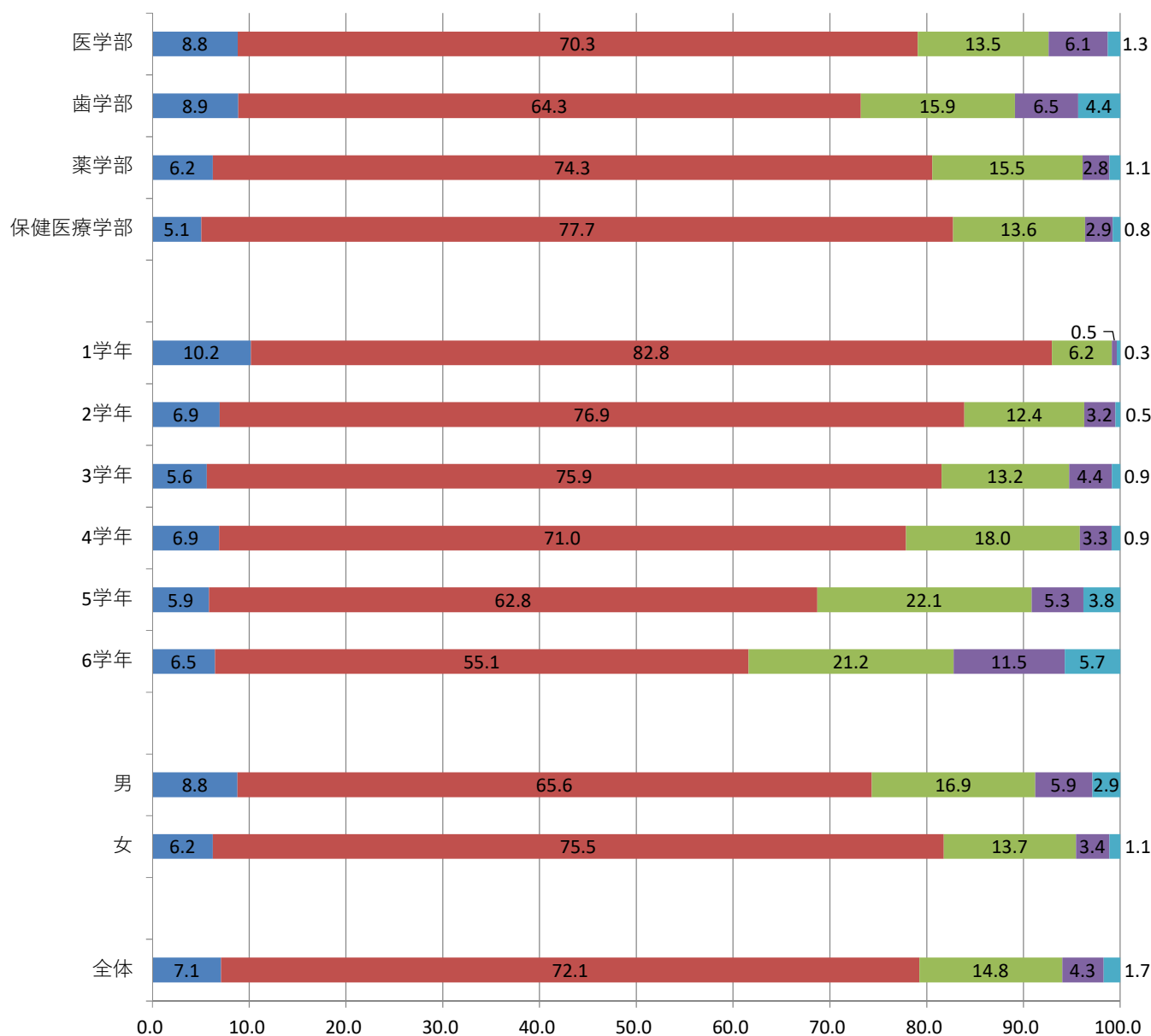


約80%の学生が友人・先輩からの伝言や、ポータルサイトより学生生活上の情報を得ており、掲示板等あまり見ていない可能性がある。

掲示板のみで通知する情報は学生がきちんとその情報を得ない可能性が高いため、検討する必要がある。

26.シラバスについて

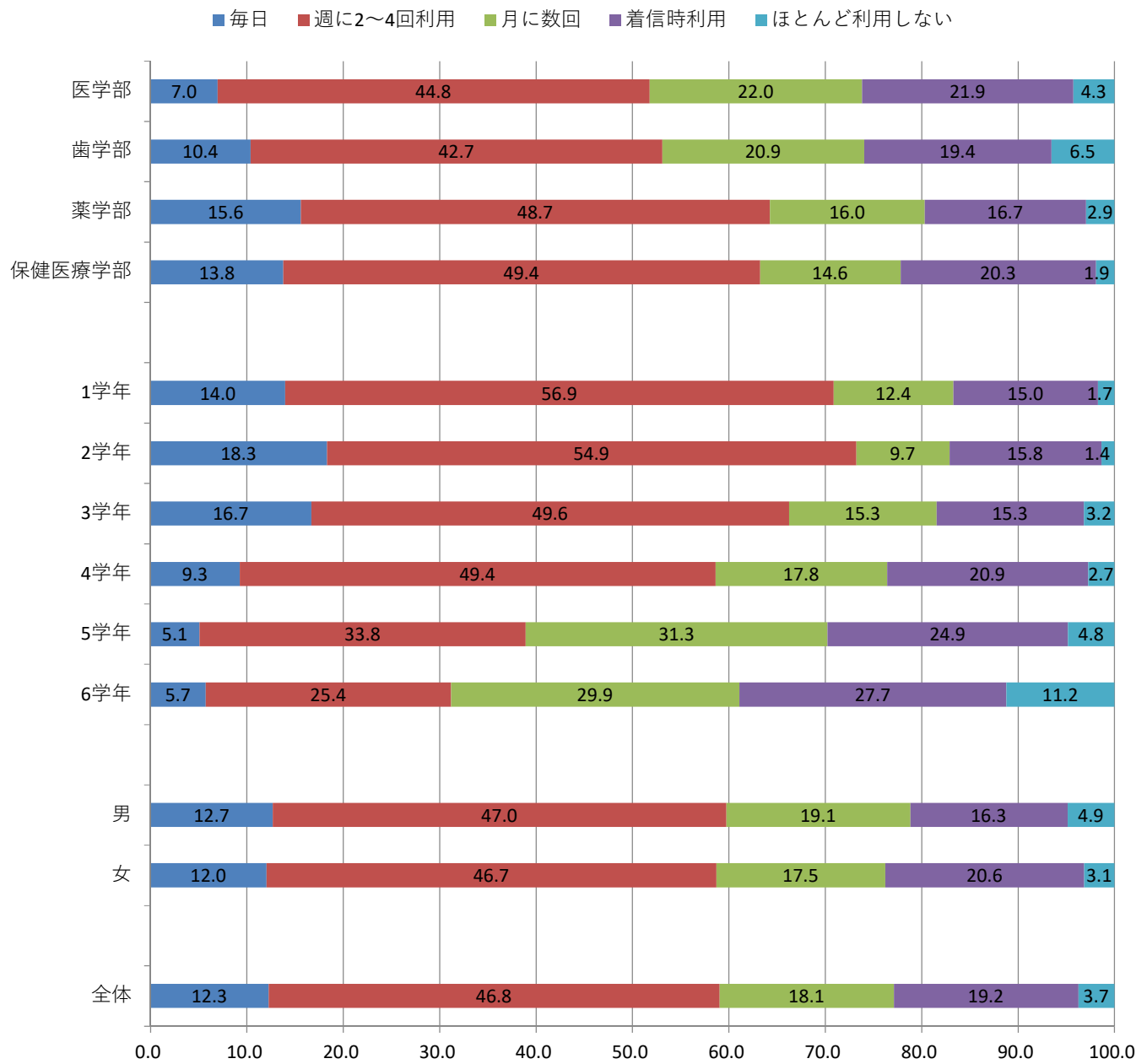
■ よく読んで内容を把握している ■ 必要に応じて見る ■ 時々見ることもある ■ あまり見たことがない ■ 全く見ない



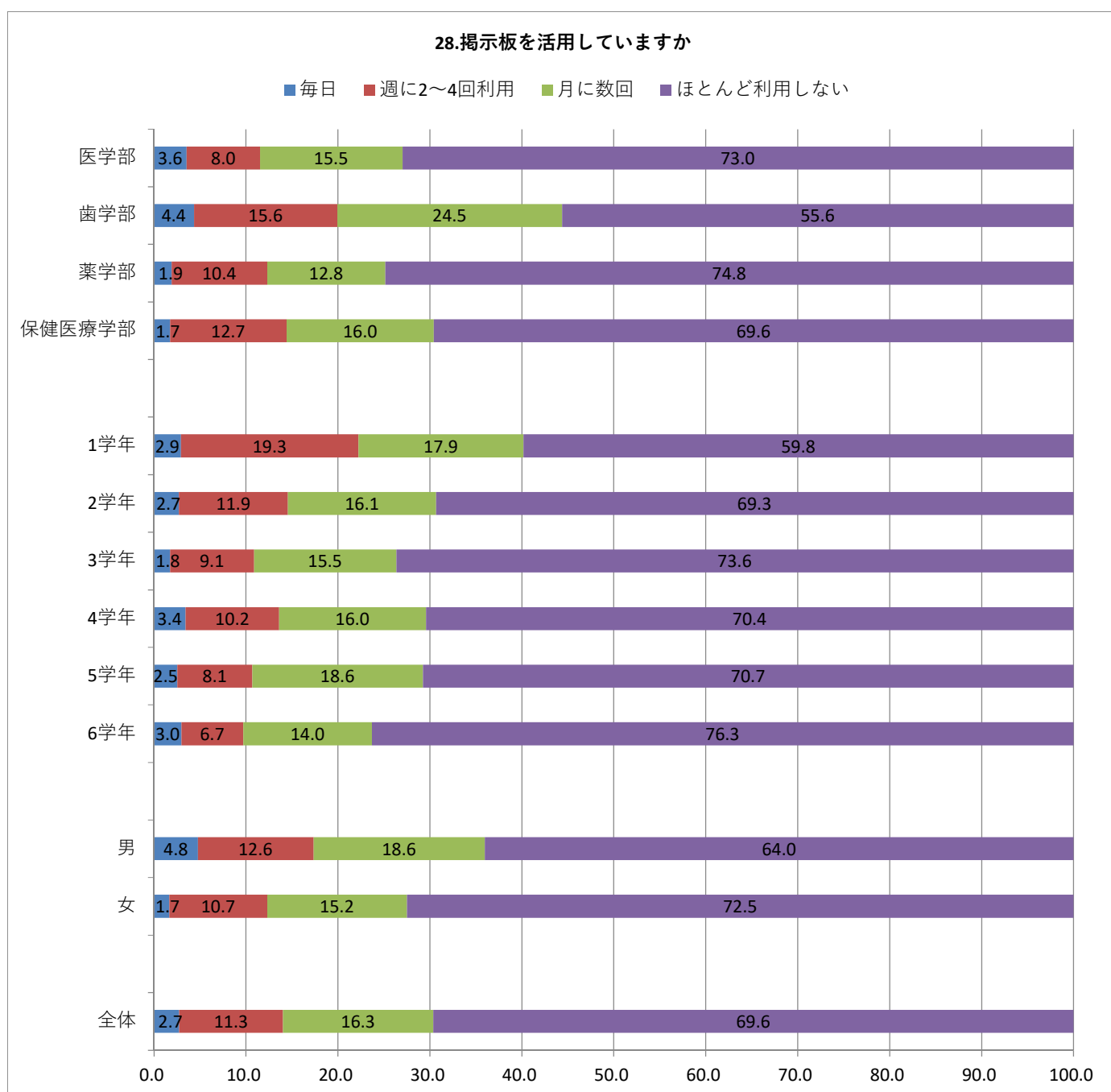
「よく読んで内容を把握している」「必要に応じて見る」「時々見ることもある」という学生が全体では90%を超えるが、6学年になると「あまり見たことがない」「全く見ない」が増加している。

国家試験対策の講義などが中心で、あまりシラバスからの情報を得ようとしないのかもしれない。

27.ポータルサイトを活用していますか



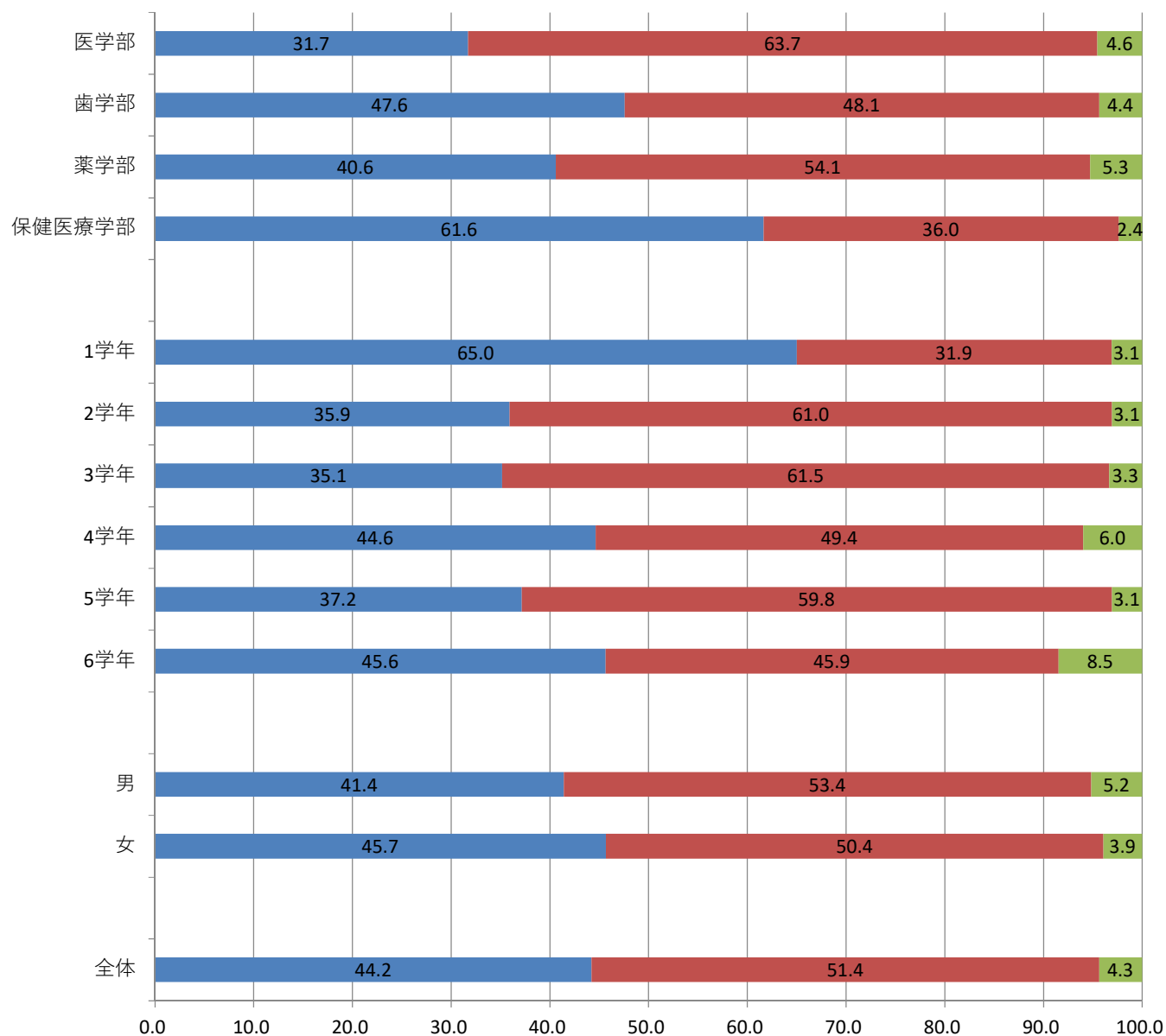
項目26のシラバスと同様、学年が上がるに従い、ポータルサイトを活用する学生が減少している。また、やはり6学年にほとんど利用しないが急増しているのが気になる。



項目25の通り、約70%の学生はほとんど掲示板を見ていない。
 掲示板のみで通知する情報は学生がきちんとその情報を得ない可能性が高いため、検討する必要がある。

29.指導担任および修学支援（教員）はどのような存在ですか

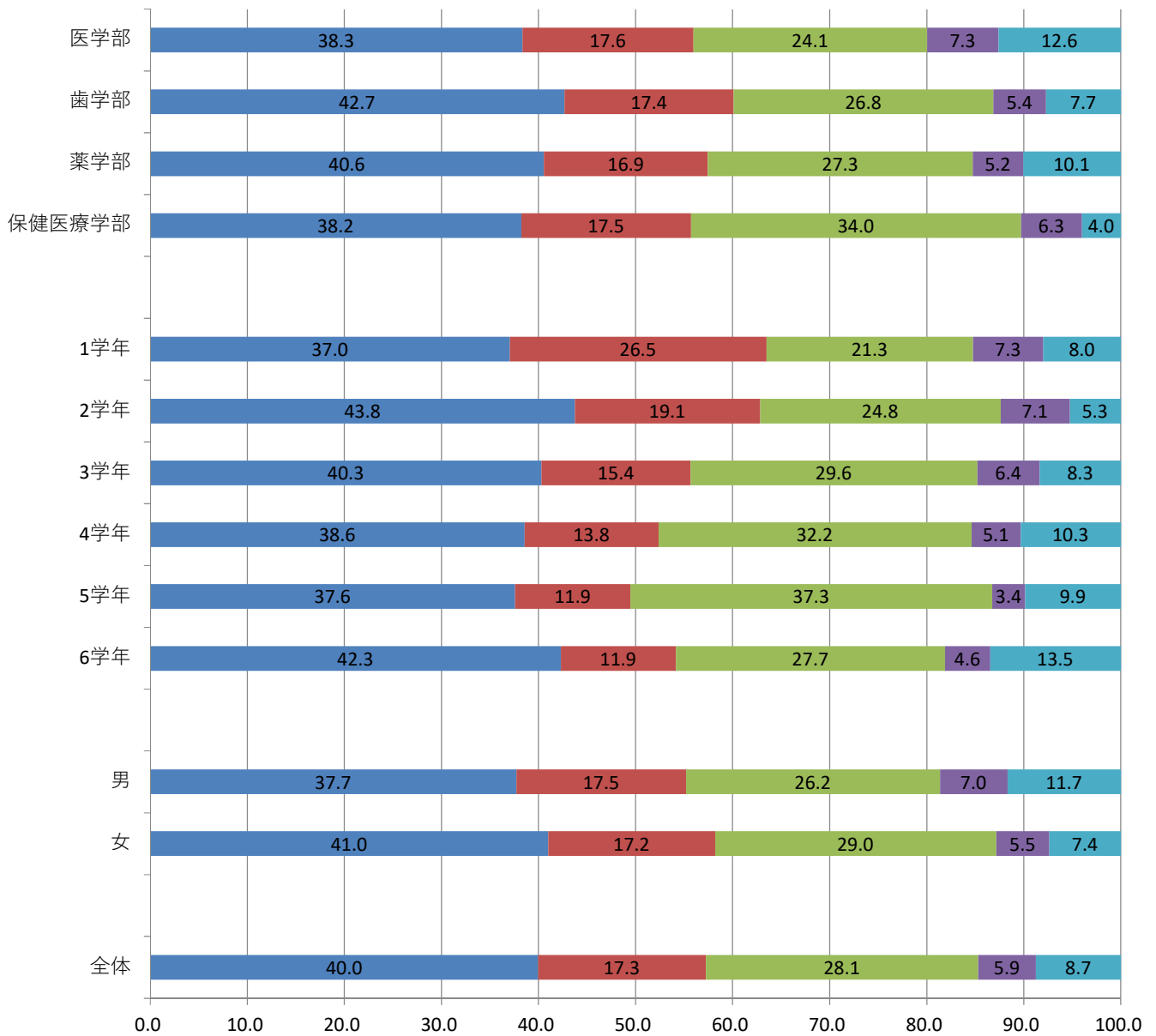
■ 頼れる存在である ■ あまり関わりがない ■ 頼りにならない



指導担任や修学支援教員は、1学年での関わりが非常に高いことがわかる。また、CBTが実施される4学年や、卒試や国試受験の6学年でも関わりが多くなる傾向があると同時に、「頼りにならない」が4,6学年で高くなる傾向である。今後CBTや卒試、国試の勉強、あるいは各学年で実施される定期試験の勉強に行き詰まった際、学生が教員を頼ってきた時に、どのように対応するかが重要となってくる。

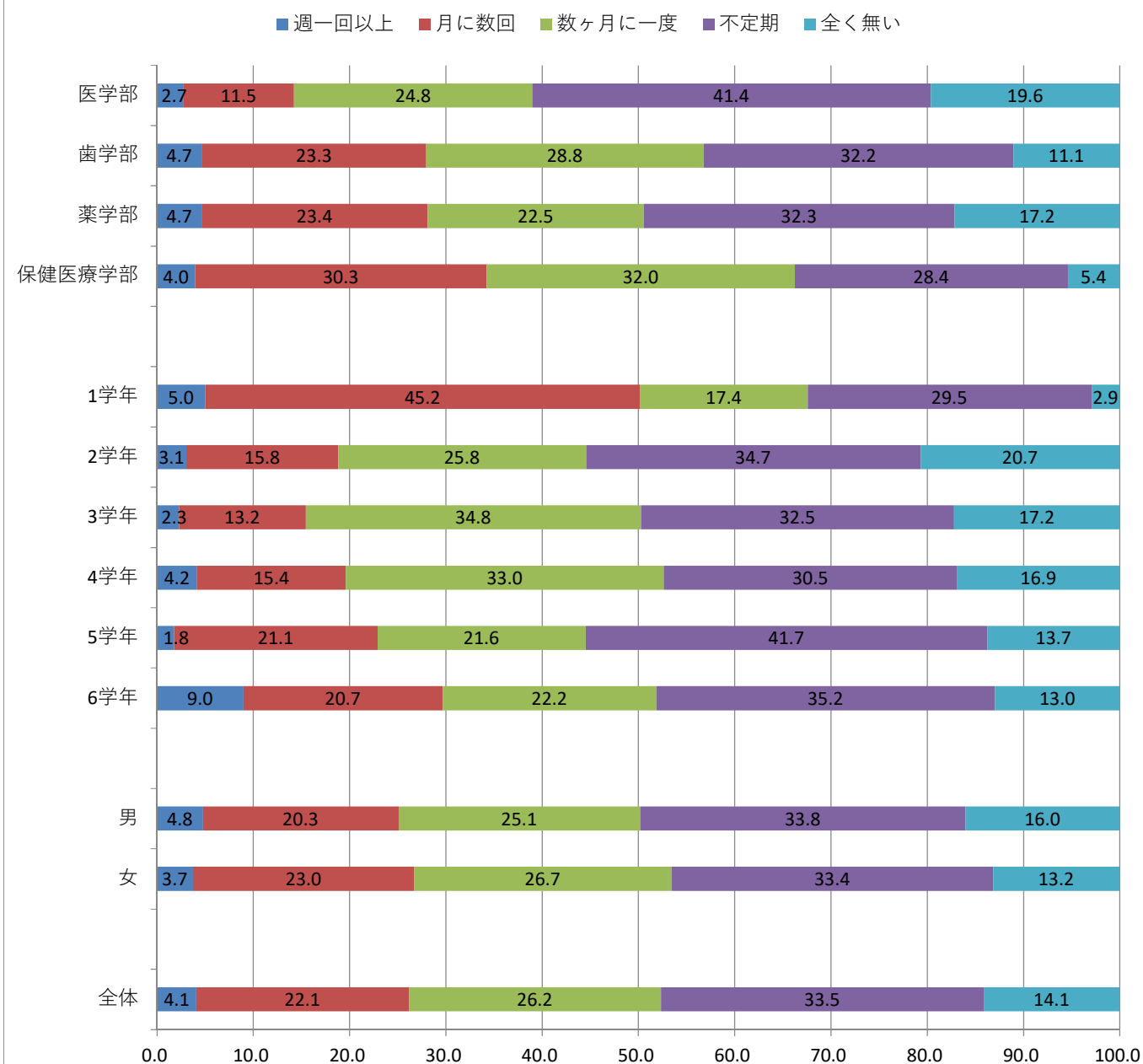
30.指導担任および修学支援（教員）に期待すること *複数回答可

■ 学業上のアドバイス ■ 生活上のアドバイス ■ 進路についての相談 ■ 一身上の問題についての相談 ■ 特に期待しない



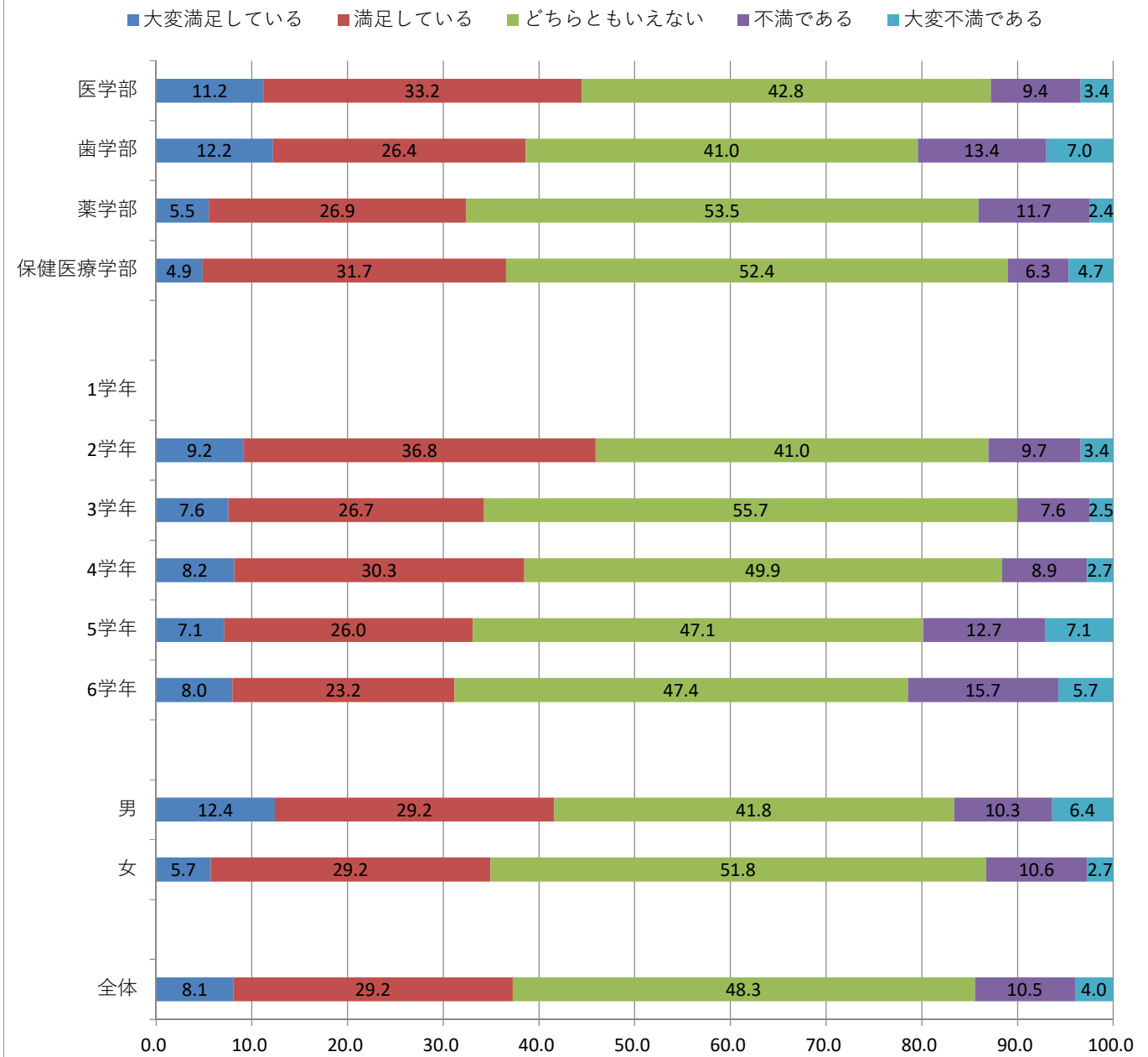
修学支援教員のみならず、指導担任にも学業上のアドバイスを期待している学生が最も多い。特に、2学年と6学年で増加する傾向がある。一方で、6学年では特に期待していない学生が最も多い。
修学支援教員だけでなく、指導担任も多少なりとも修学支援できるように、特に他学部の学生の指導担任はその学部の試験のシステムなどは熟知しておく必要がある。また、1学年から2学年に進級した時に勉強につまずく学生も多いと聞くので、2学年の指導担任や修学支援教員からのサポートは不可欠である。

31.担当の指導担任および修学支援（教員）とどの程度コンタクトを取っていますか



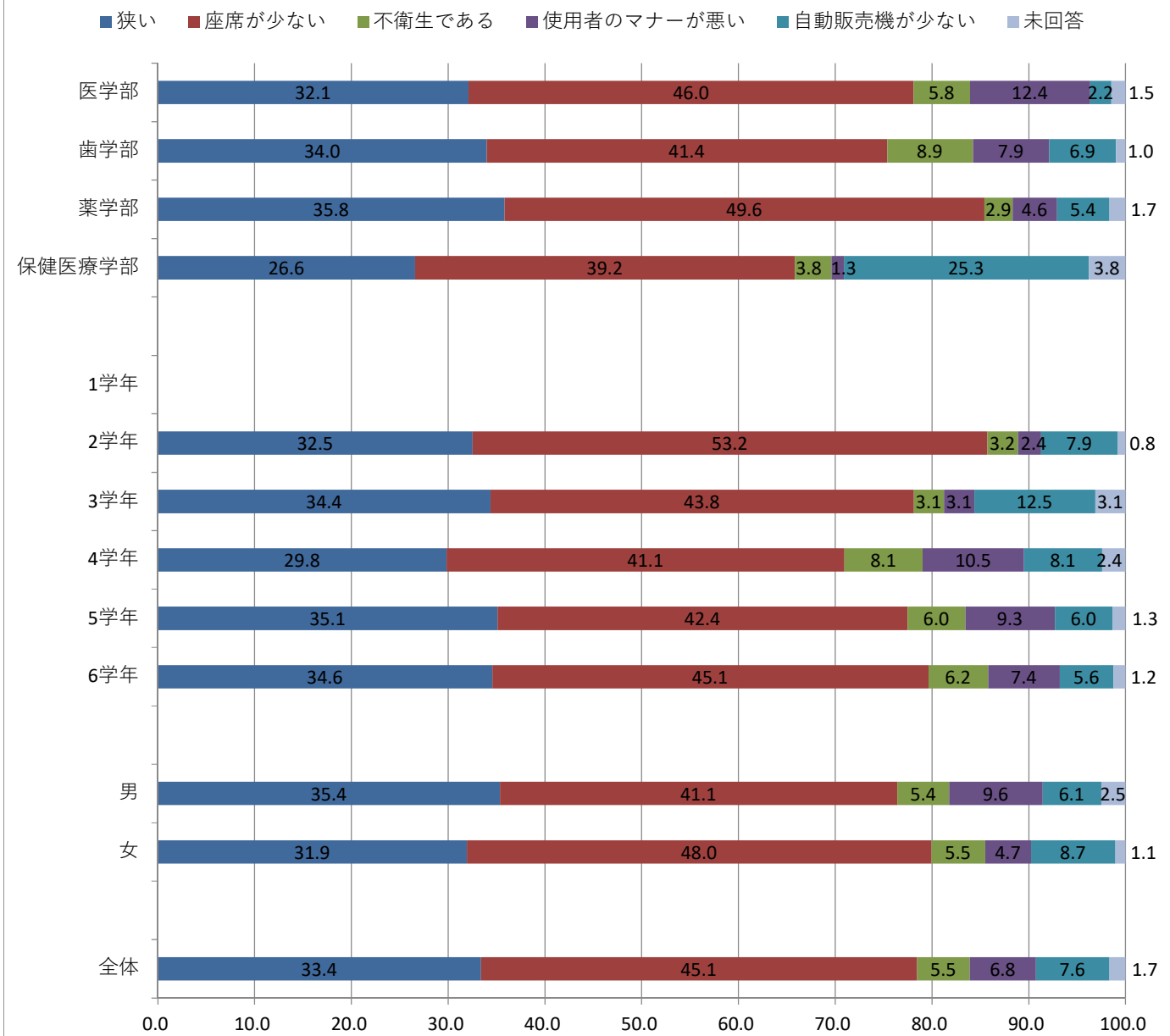
指導担任や修学支援教員と頻繁にコンタクトを取っているのは1学年だが、2学年になると全くコンタクトを取らないという学生の割合が20%になる。また、6学年になると、週に1回以上コンタクトをとる学生が10%近くになる。2学年に進級すると、1学年の勉強とのギャップで勉強につまずく学生も多く見られるので、特に2学年の学生とはより頻度を上げて指導担任からコンタクトを取るよう心がけてもらいたい。

32.学生ホール・食堂の環境に満足していますか（第1学年回答不要）



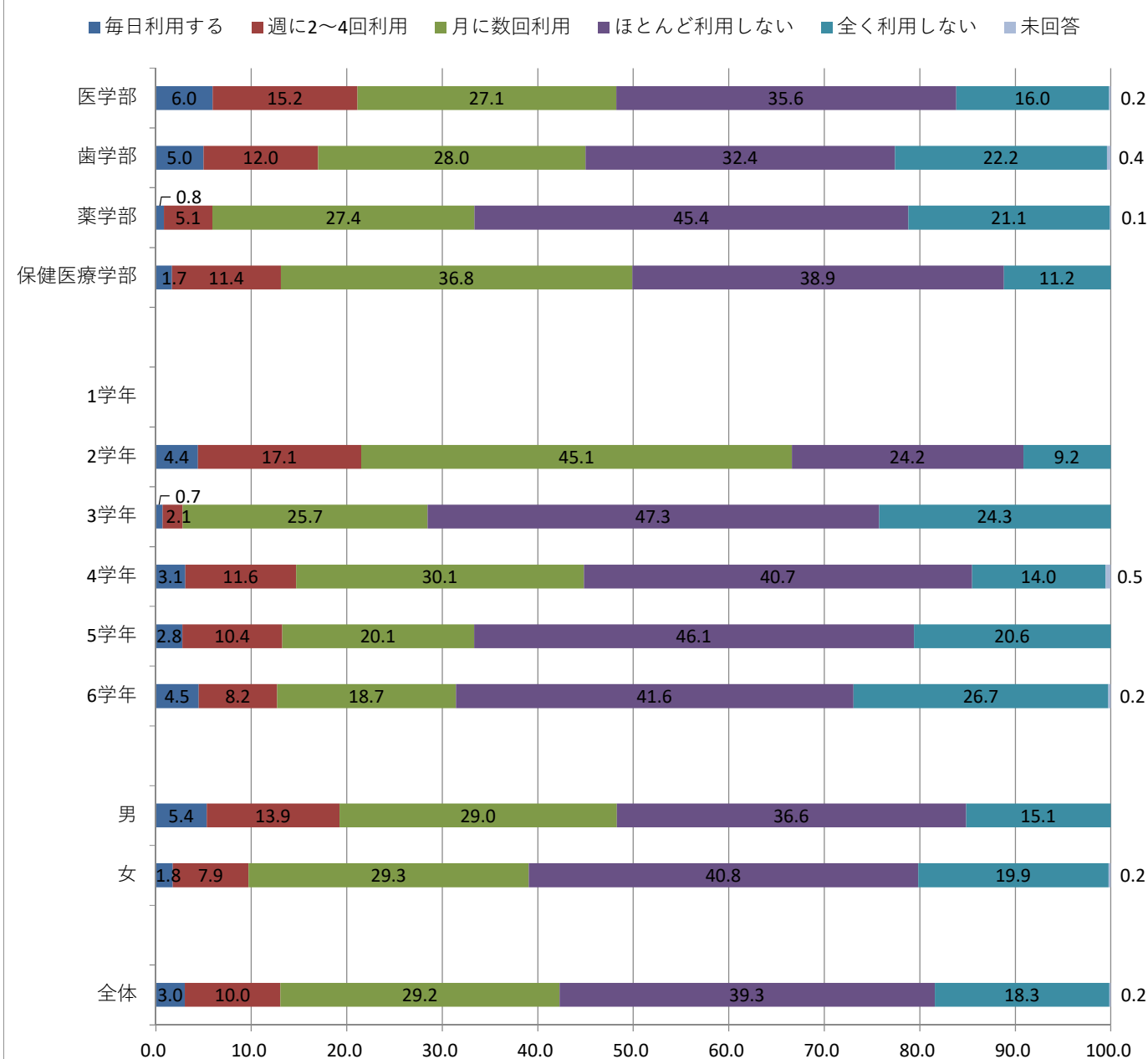
学生ホールに多少なりとも満足している学生は30%たらずで、残りはあまり満足はしていないような傾向がある。
今後、記述式で回答してもらい学生の目線で改善箇所や希望を調査したい。

33. 「32」で「不満」と答えた方に質問します。学生ホール・食堂に不満を持っている理由はなんですか（第1学年回答不要） *複数回答可



不満である理由は、アンケートに記載された回答以外だった可能性があるため、今後、記述式で回答してもらい学生の目線で改善箇所や希望を調査したい。

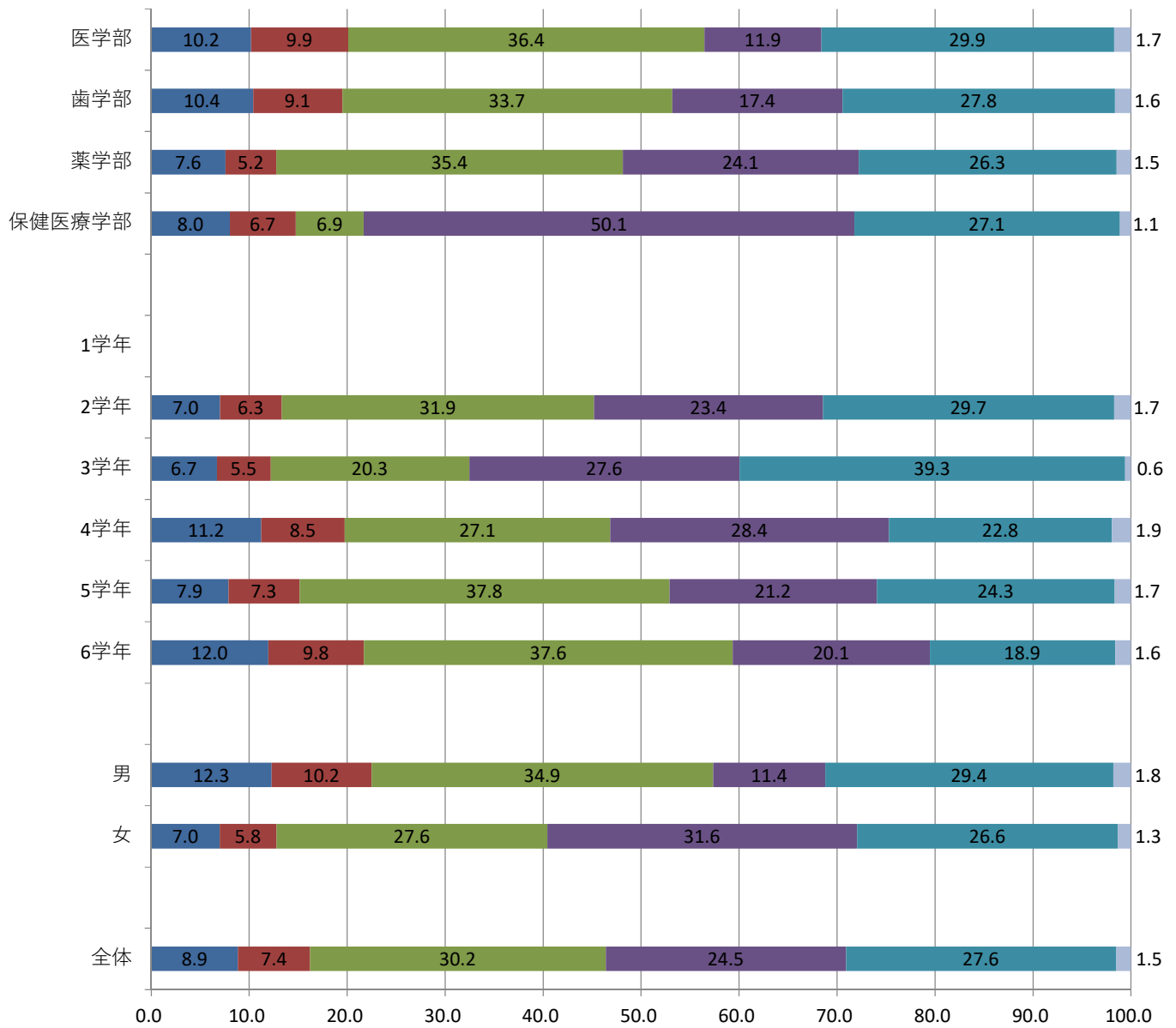
34.学生ホール・食堂の利用状況について（第1学年回答不要）



学生ホール・食堂の利用状況は、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」を合わせると全体で約57%と極めて高く、コロナ禍による登校制限の影響もあると思われる。

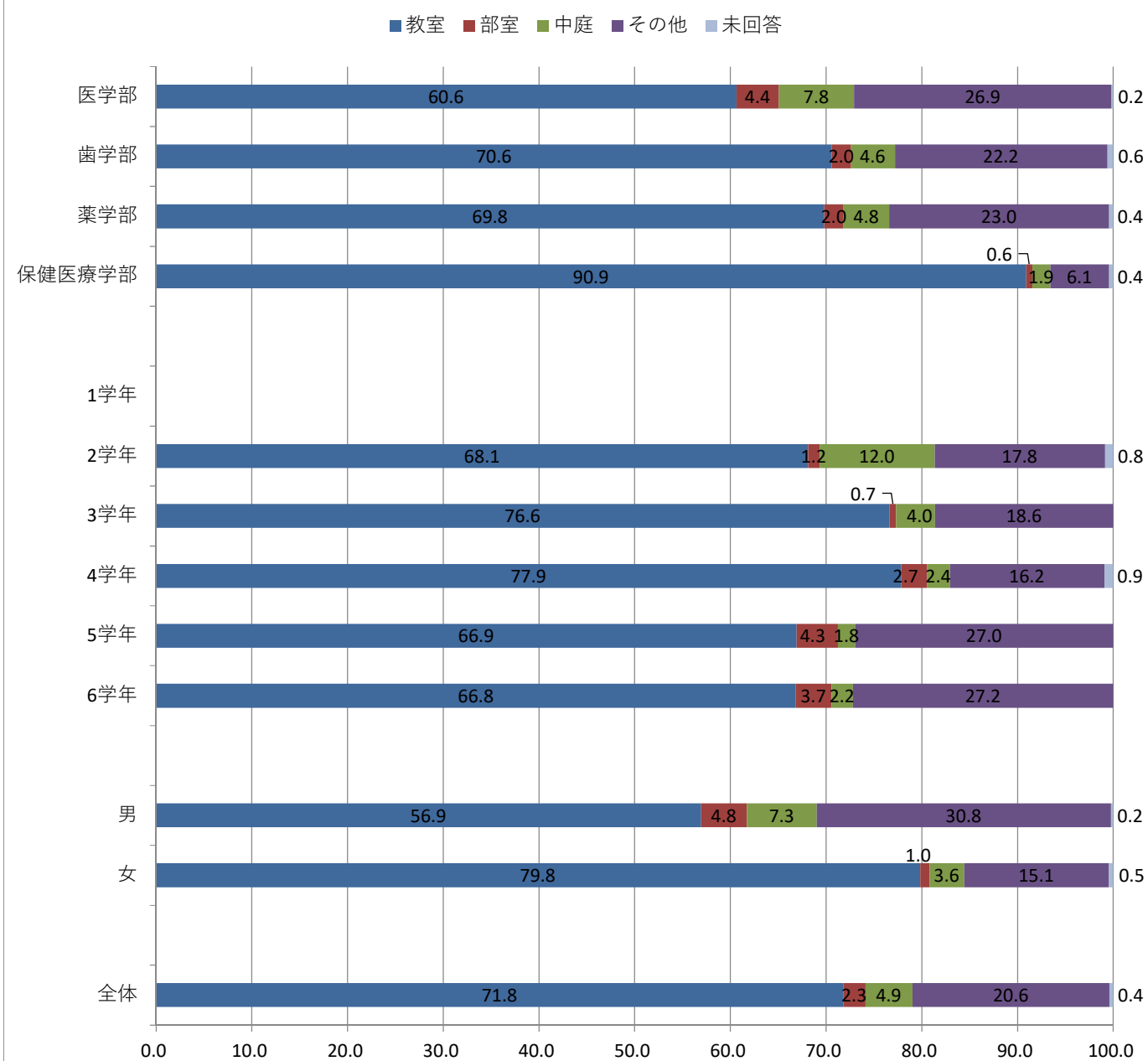
35.学生ホール・食堂を利用しない理由について（第1学年回答不要） *複数回答可

■ 価格に不満 ■ 味・メニューに不満 ■ 混んでいる ■ 弁当を持参している ■ その他 ■ 未回答

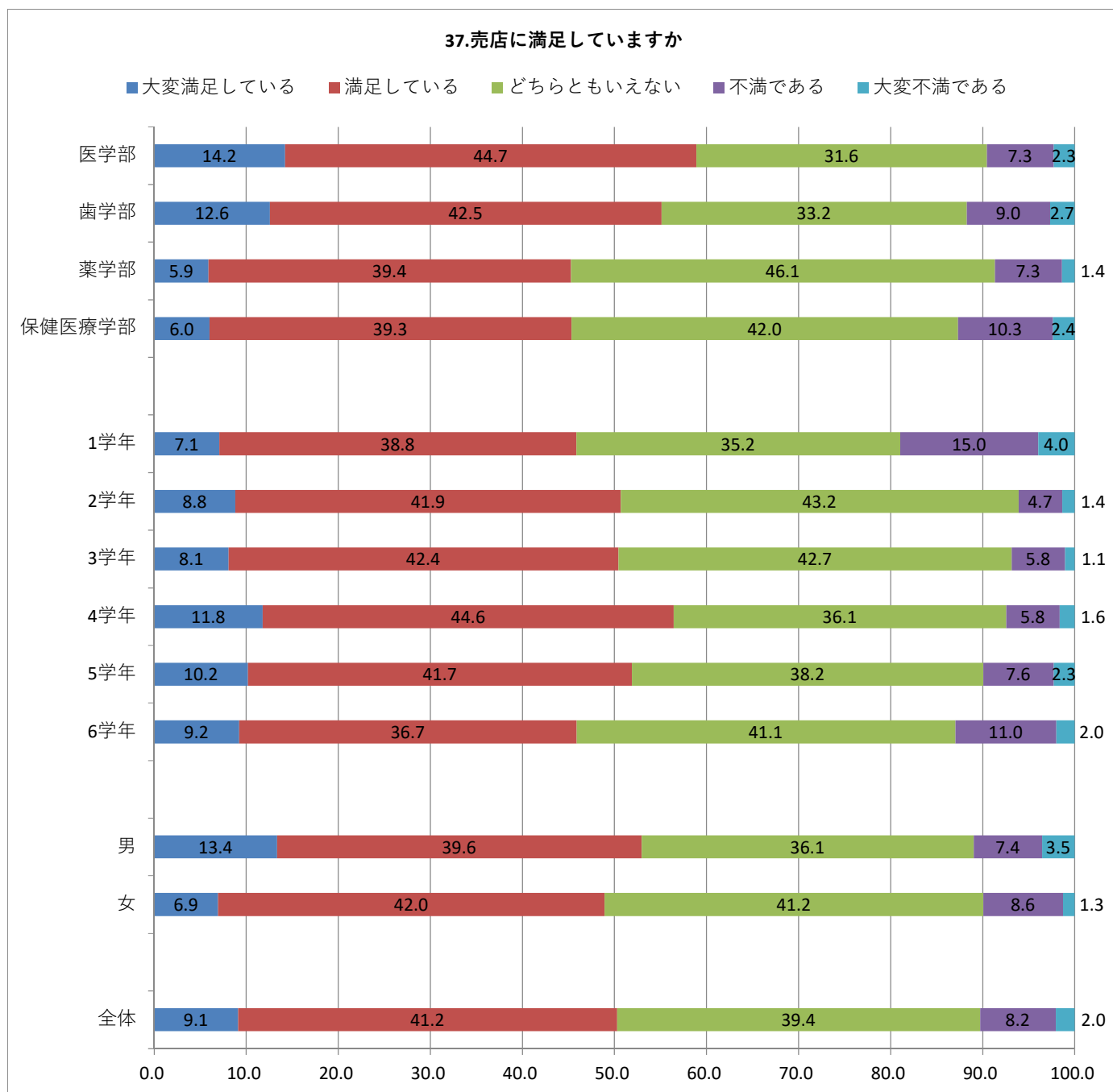


学生ホール・食堂を利用しない理由として、保健医療学部は「弁当を持参している」38.7%、「混んでいる」5.3%に対し、他の三学部は「弁当を持参している」10～20%、「混んでいる」約30%であった。校舎の立地や学生数に対する学生ホール・食堂の広さが影響していると思われる。

36.学生ホール・食堂以外でどこで昼食をとりますか（第1学年回答不要）

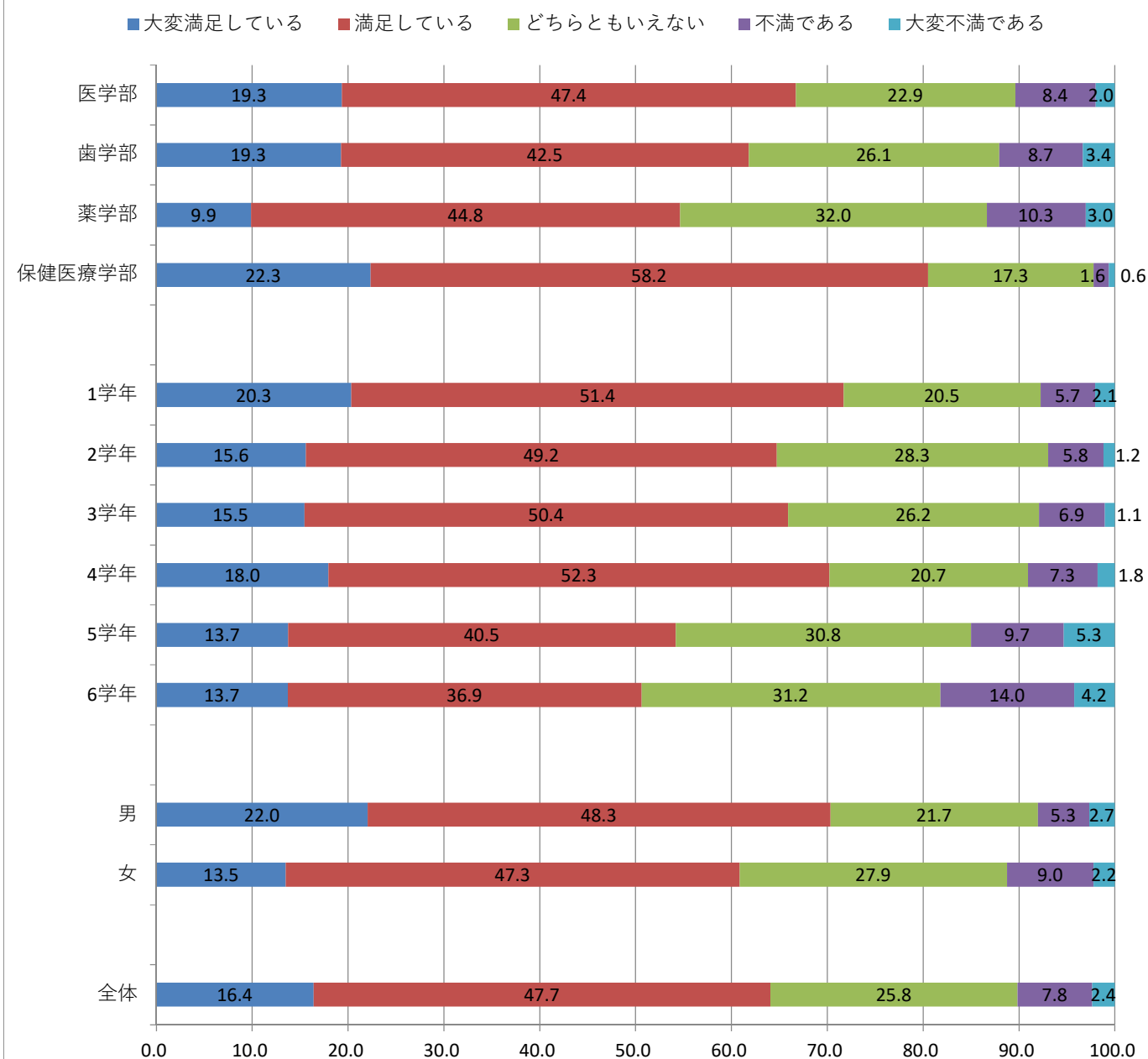


学生ホール・食堂以外で昼食をとる場所は、各学部とも教室が70%以上と圧倒的に多い。新型コロナの感染予防を考慮すると、昼食が教室に分散されているのを良しとするか、マスク会食が徹底できず問題と捉えるか検討が必要と思われる。



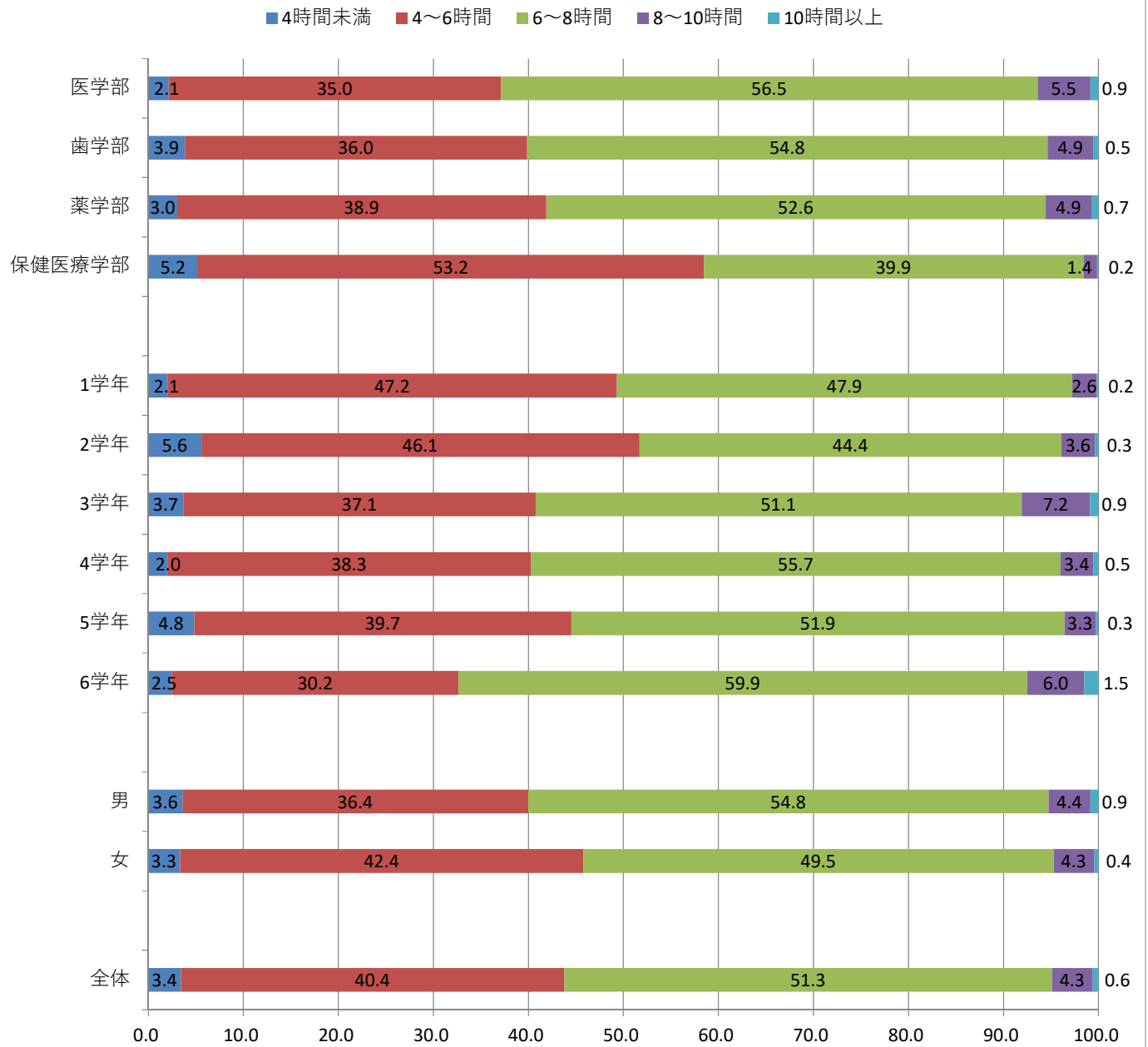
売店に対する満足度は、「大変満足している」「満足している」を合わせると全体で約50%と概ね良好である。「どちらでもない」が約40%ではあるものの、不満に感じている学生は少なかった。

38.トイレの設備に満足していますか



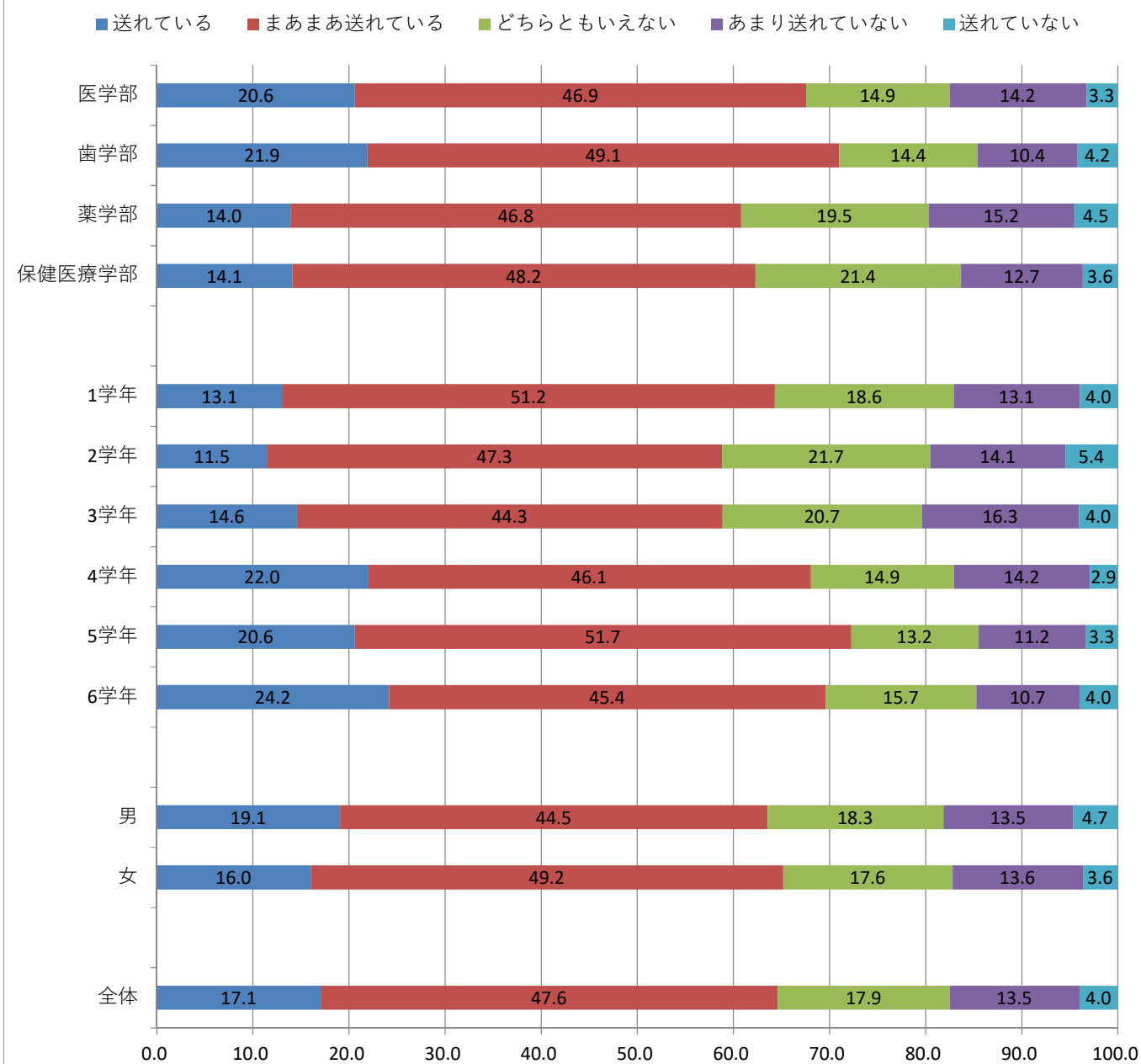
トイレの設備に関しては、保健医療学部が「大変満足している」「満足している」を合わせると約80%、「不満である」「大変不満である」を合わせると約2%であった。一方、他の三学部は各々、約64%と約12%であり、校舎の老朽化等の影響が考えられた。

39. 1日の平均睡眠時間はどの位ですか



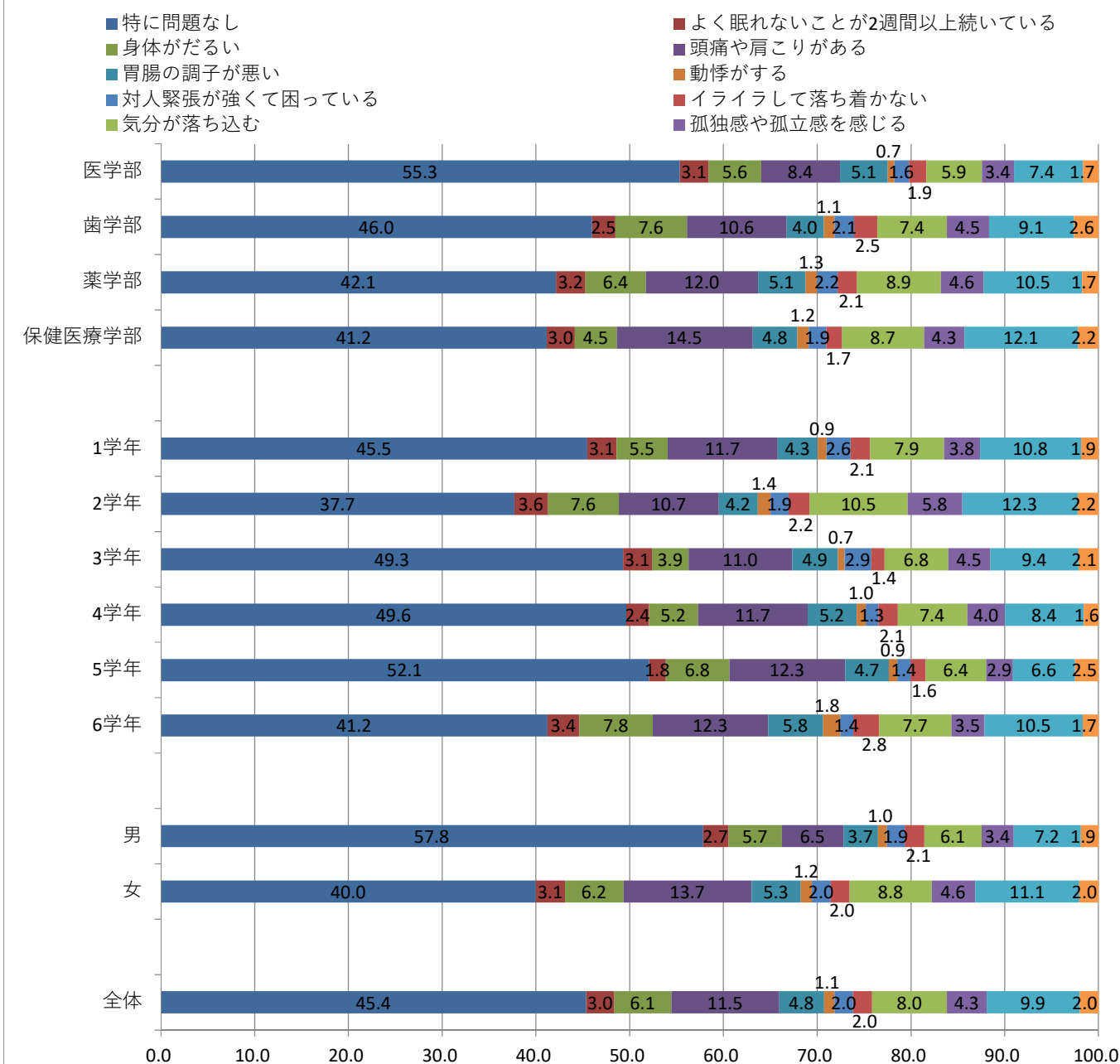
1日の睡眠時間は6～8時間が全体で51.3%であったが、保健医療学部は39.9%であった。また、保健医療学部の6時間未満は58.4%で他学部（約40%）に比べて多い傾向にあった。さらに、6学年の6時間未満は32.7%と他学年に比べて少ない傾向にあった。

40.規則正しい生活が送れていますか



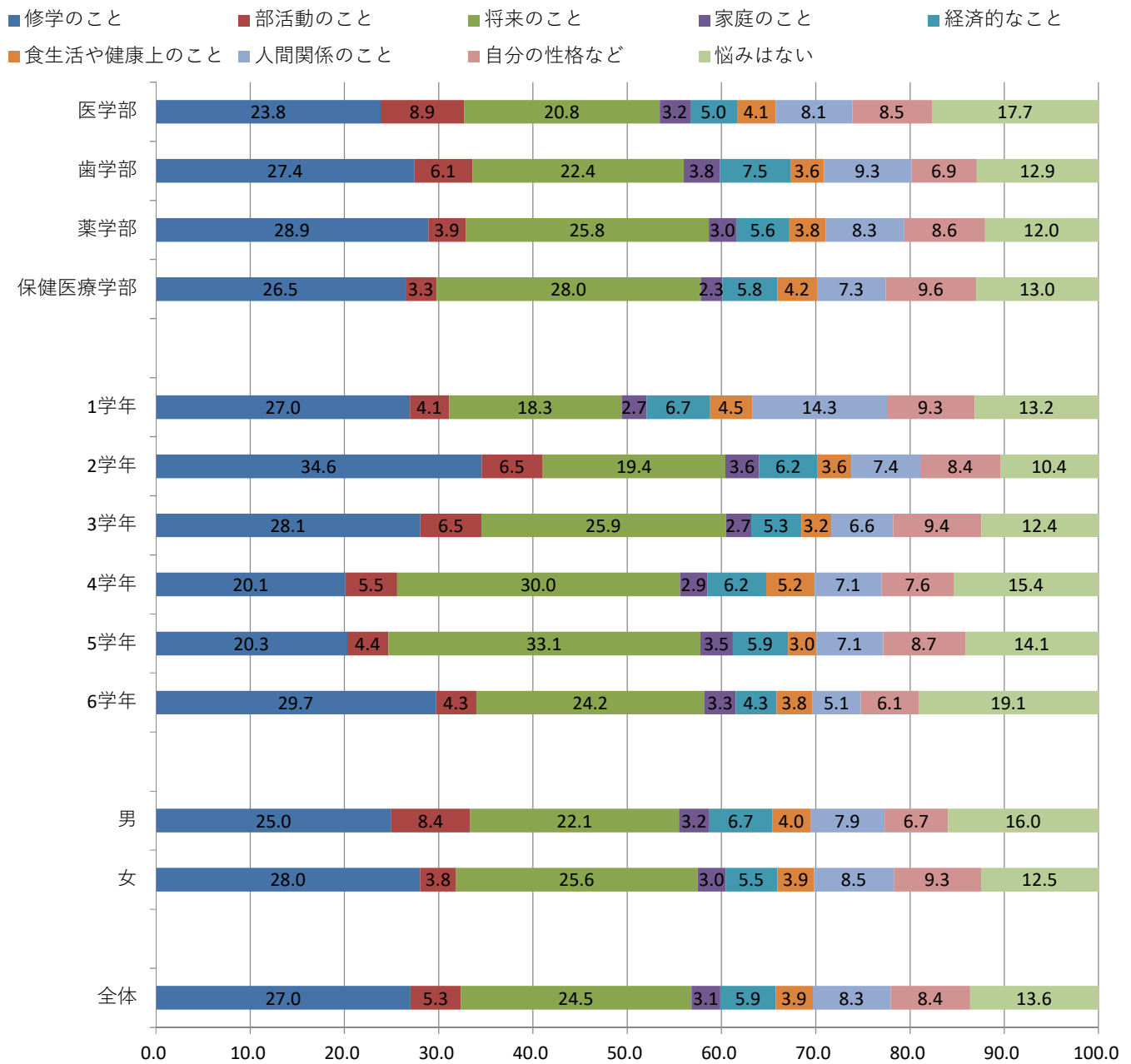
規則正しい生活が送れているかについて、「送れている」「まあまあ送れている」を合わせると全体で約65%であった。一方で、「送れていない」「あまり送れていない」を合わせると全体で17.5%おり、これらの学生に対する指導が必要と思われる。

41.現在の健康状態はどうか *複数回答可



現在の健康状態について「特に問題なし」と回答したのは、女子40.0%、男子57.8%であった。女子は「頭痛や肩こりがある(13.7%)」といった身体症状だけでなく、「不安を感じる(11.1%)」「気分が落ち込む(8.8%)」といった精神的問題も訴えていた。

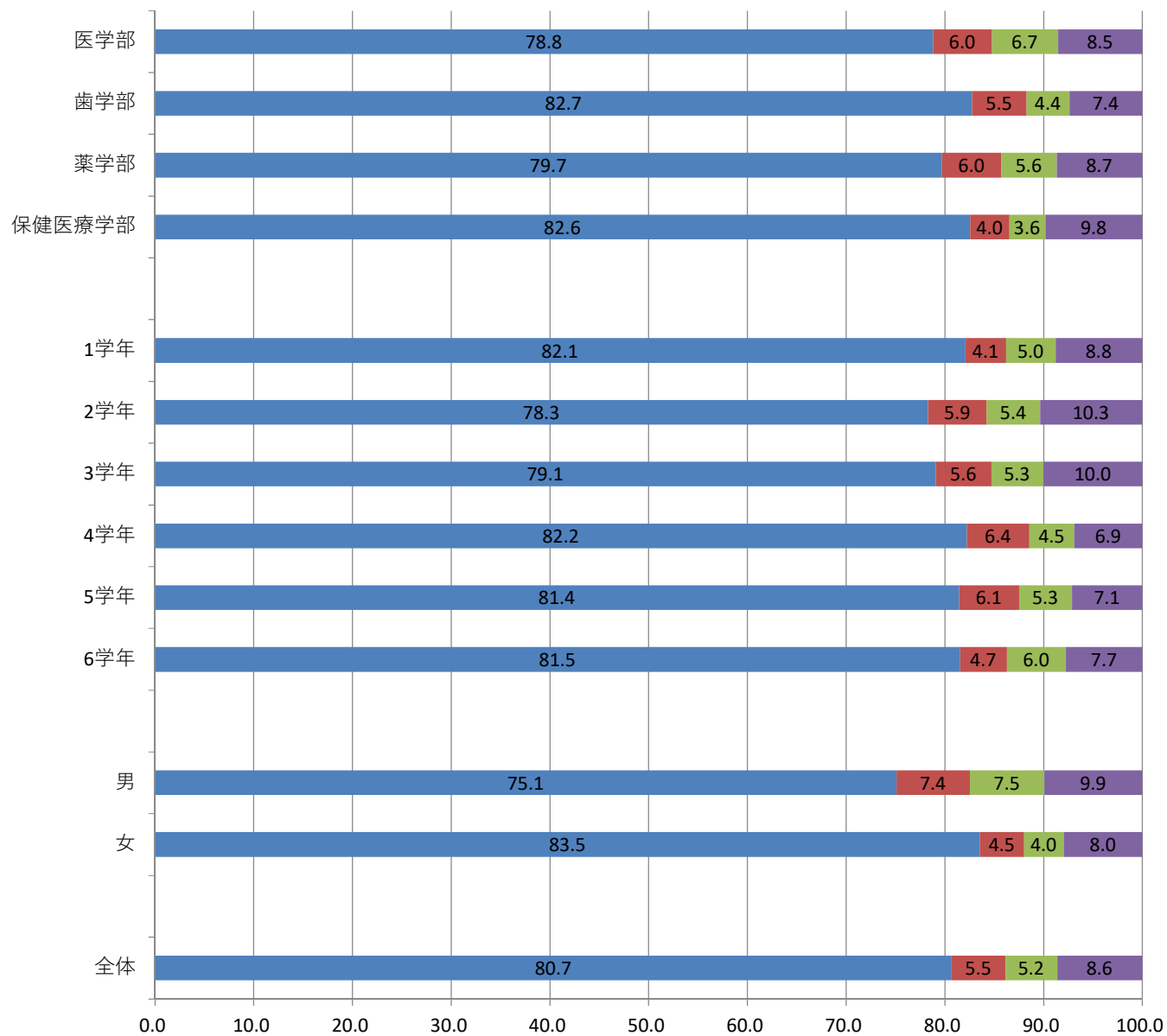
42. 学生生活の中で悩みがありますか *複数回答可



学生生活の中での悩みについて、「悩みはない」と回答したのは13.6%と少なかった。特に「修学のこと(27.0%)」「将来のこと(24.5%)」に関する悩みが多く、「人間関係のこと(8.3%)」「自分の性格など(8.4%)」の悩みもみられた。

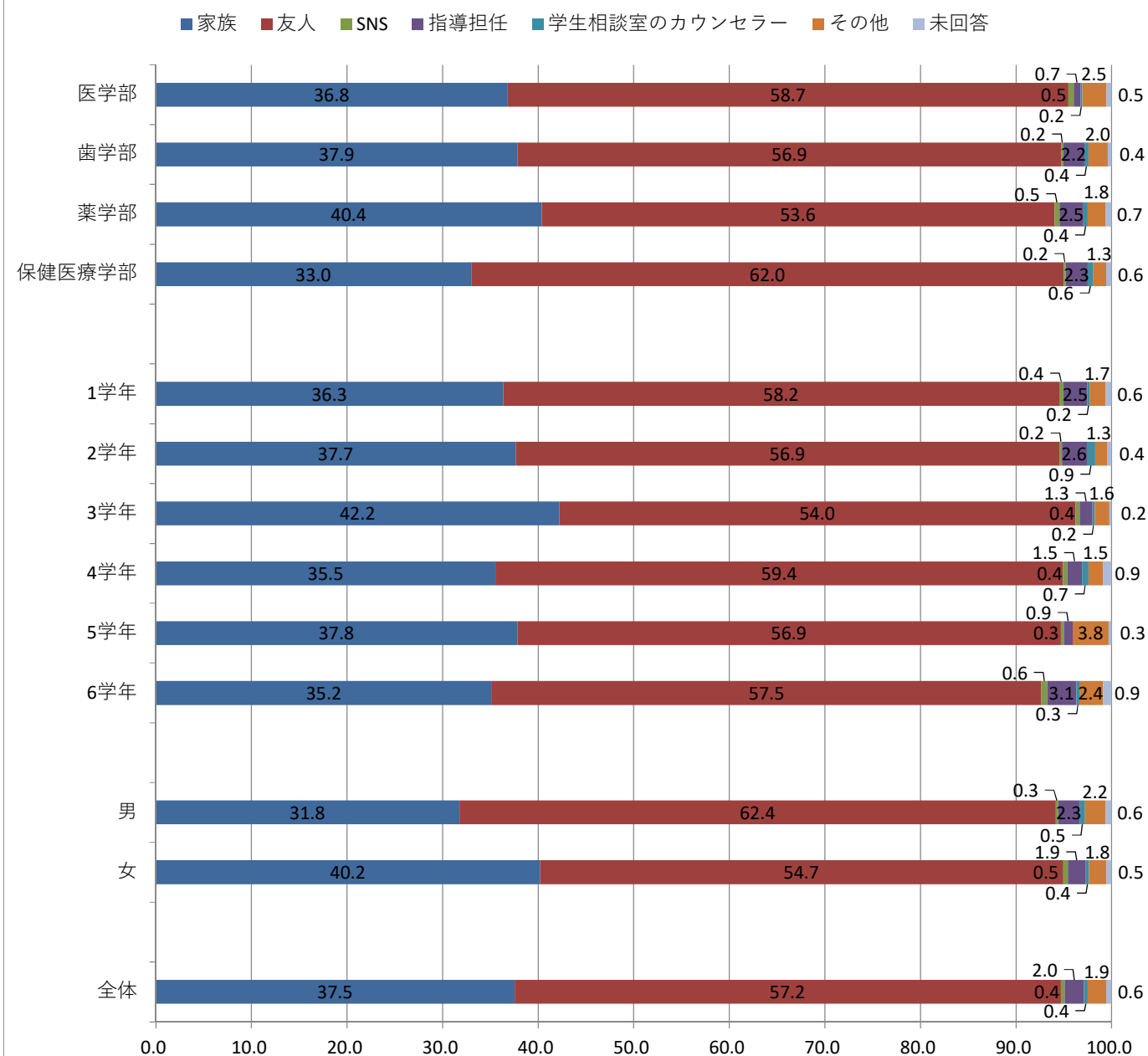
43.悩みごと・困りごとがあった時に相談できる人はいますか

■ いる ■ いないが欲しい ■ いないが欲しいと思わない ■ どちらともいえない



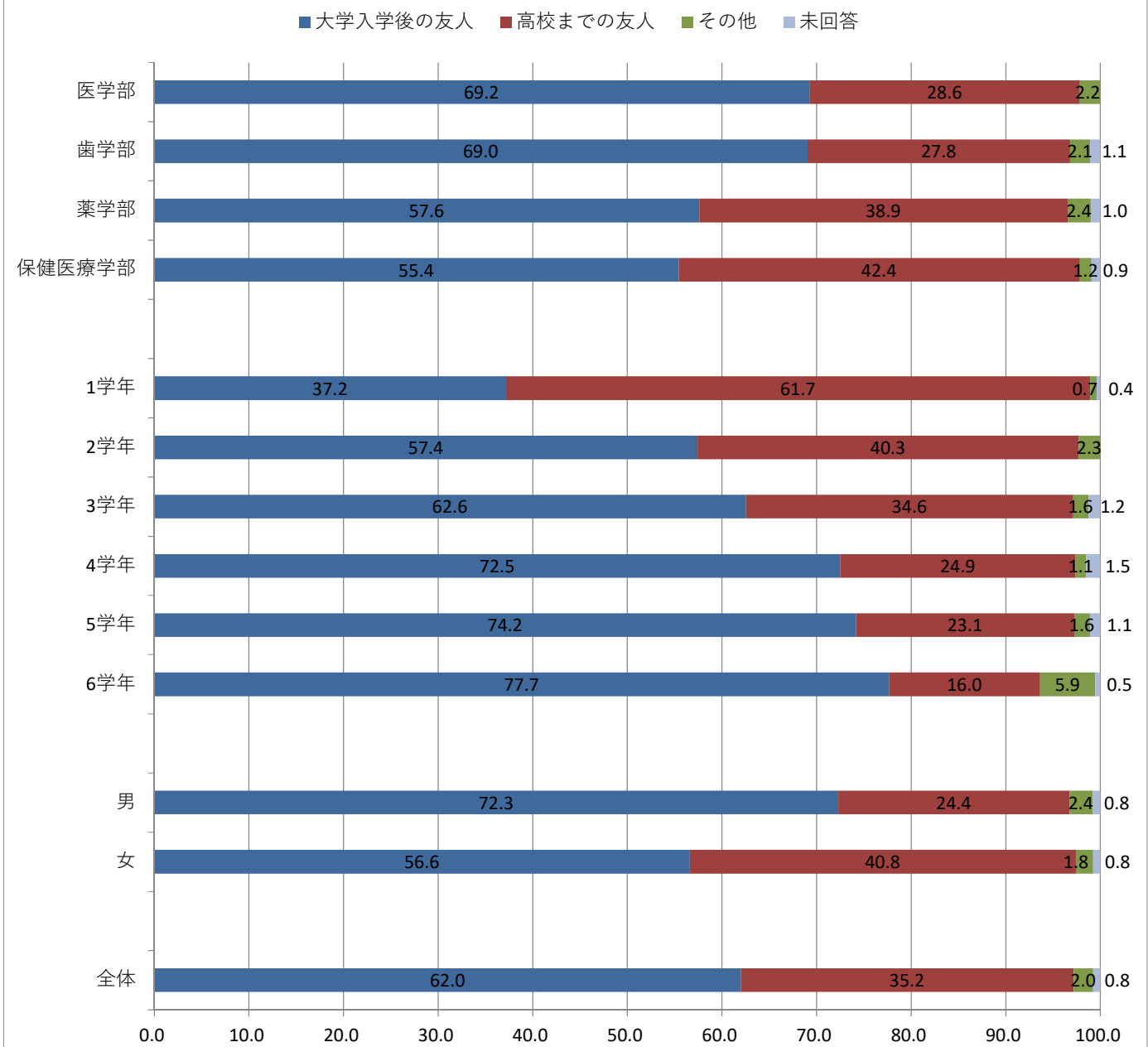
悩みごと・困りごとがあった時に相談できる人がいると回答した学生は80.7%であった。しかし、「いないが欲しい」は5.5%おり、これらの学生の悩みにいち早く気づいてあげられることが重要と思われた。

44. 「43」で「いる」と答えた方に質問します。困りごとを相談できる相手はどんな人ですか



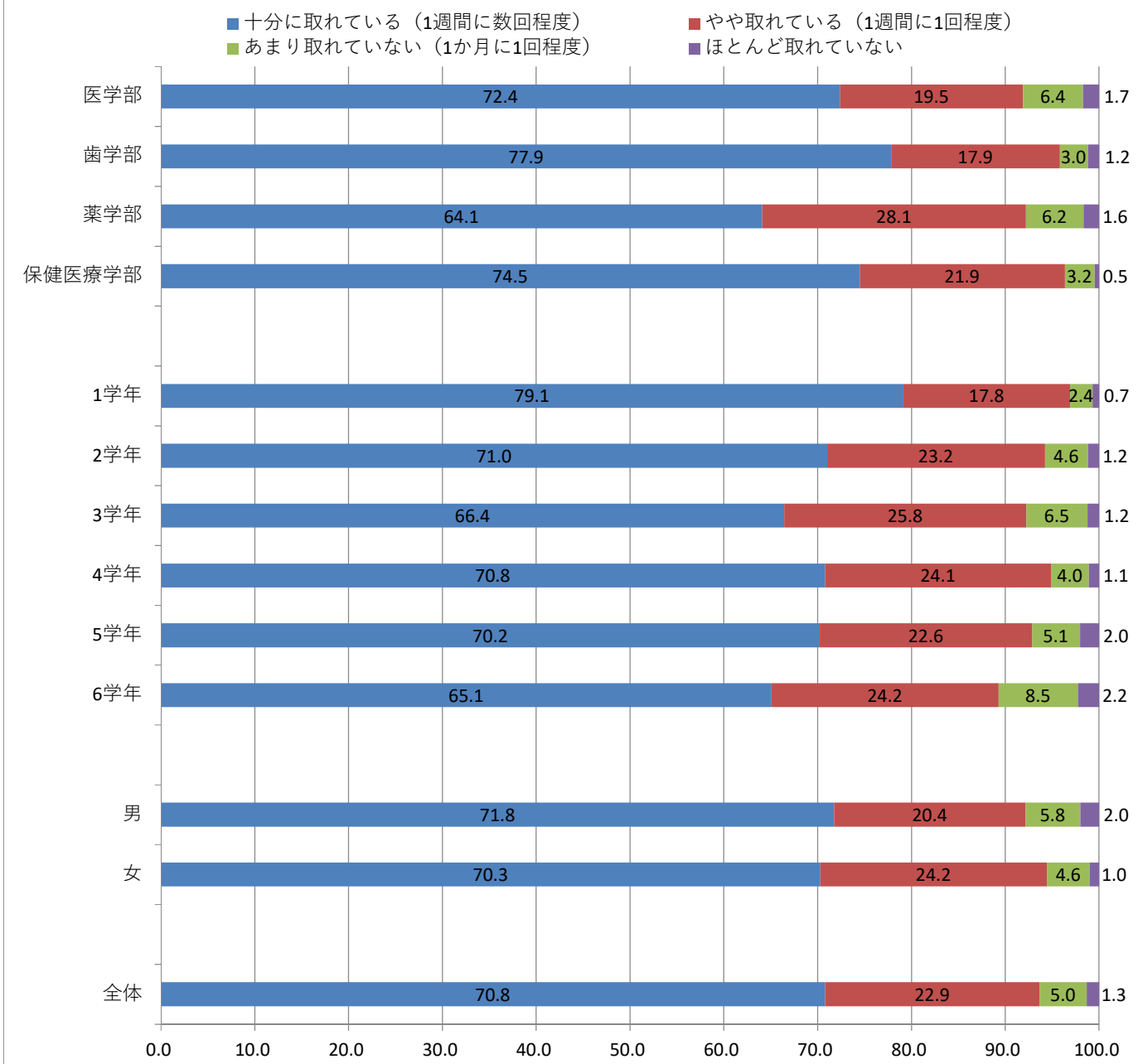
困りごとを相談できる相手は家族と友人を合わせて94.7%で、指導担任は1.6%と非常に少なかった。今後、より一層、指導担任がきめ細かな指導をすることが必要と思われた。

45. 「44」で「友人」と答えた方に質問します。いつの友人が多いですか



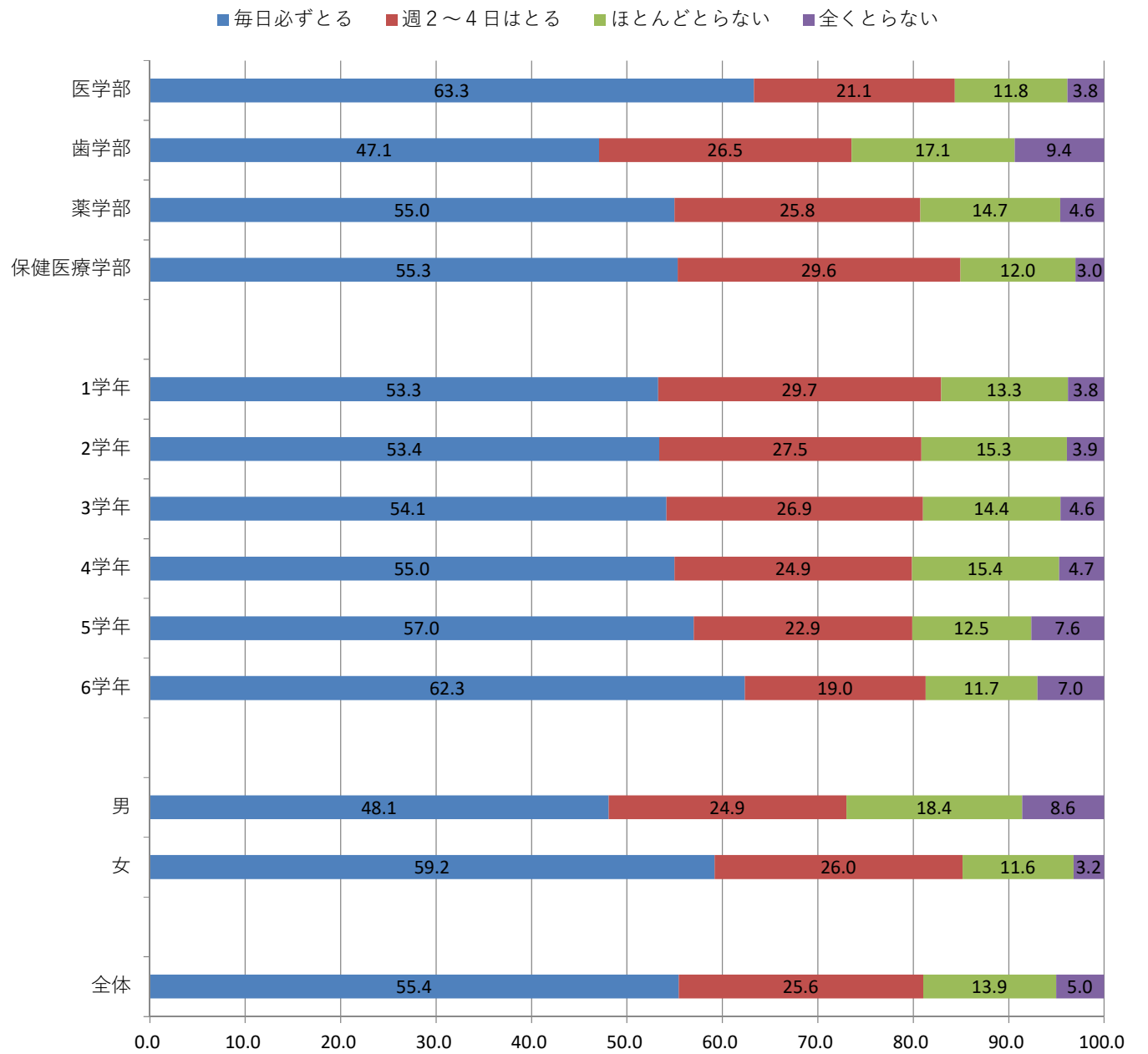
困りごとを相談できる友人は、高校まで友人(35.2%)に比べて大学入学後の友人(62.0%)の方が多かった。大学生活を送っていくうえでよりよい友人関係を築き上げていることがわかった。

46.同級生や友人とコミュニケーションが取れていると感じますか

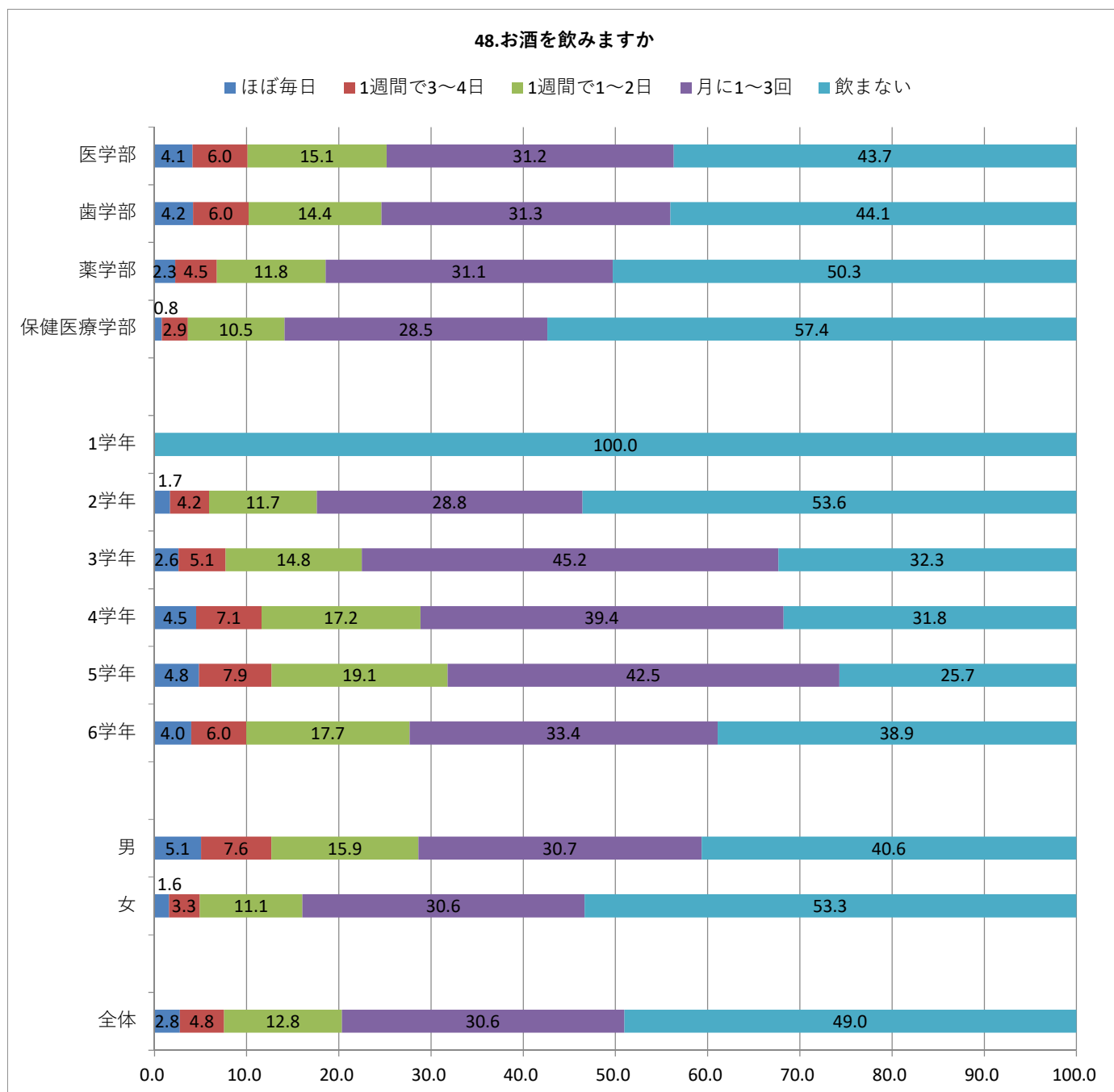


同級生や友人とコミュニケーションについて、「十分に取れている」「やや取れている」を合わせて93.7%と良好であった。しかし、「あまり取れていない」と「ほとんど取れていない」で6.3%おり、設問43との関連性が高いと思われる。

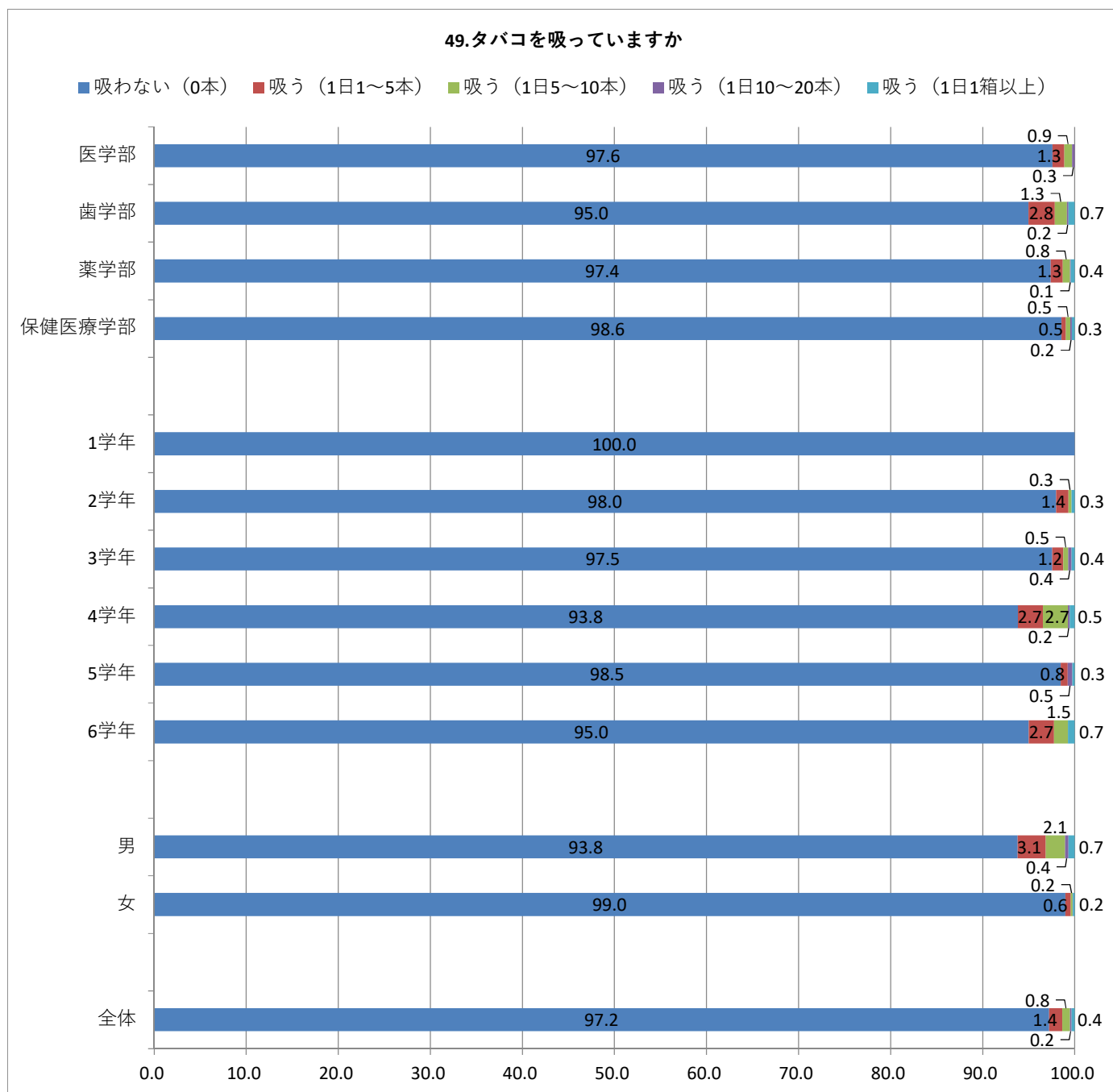
47.朝食をとっていますか



朝食を毎日必ずとっているのは55.4%で、「ほとんどとらない」「全くとらない」を合わせると18.9%であった。男女別でみると朝食をとっているのが女子59.2%、男子48.1%、とっていないのが女子14.8%、男子27.0%と男子の方が朝食をとっていない傾向が強かった。



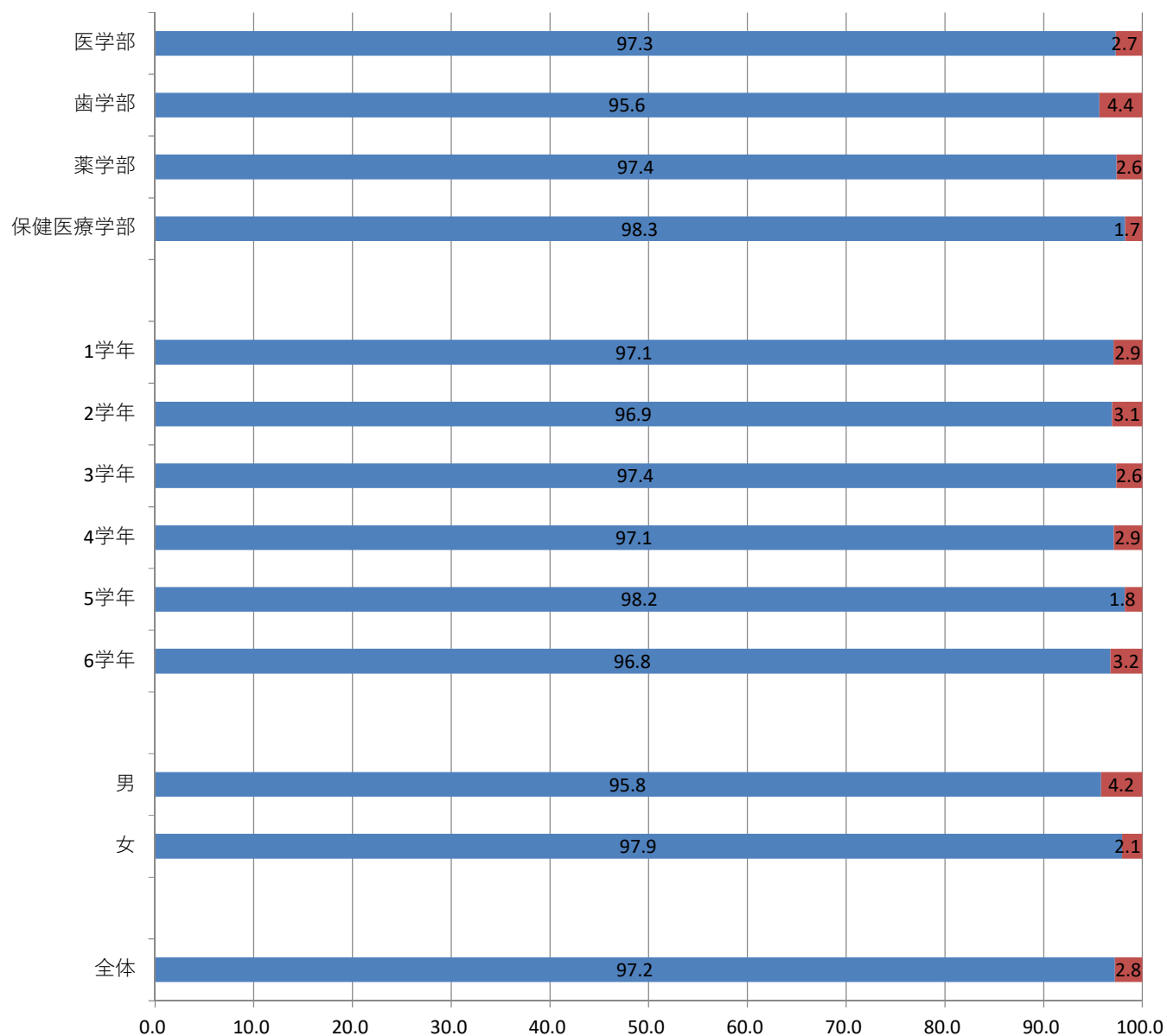
お酒を飲まない学生は49.0%で、女子(53.3%)の方が男子(40.6%)よりも多かった。また、保健医療学部(57.4%)の方がお酒を飲まない学生が多い傾向にあった。



タバコを吸わない学生は97.2%に達し、医療人としての自覚がうかがえた。一方で、2.8%とはいえ喫煙者がいることを考えると喫煙マナーの指導も必要と思われた。

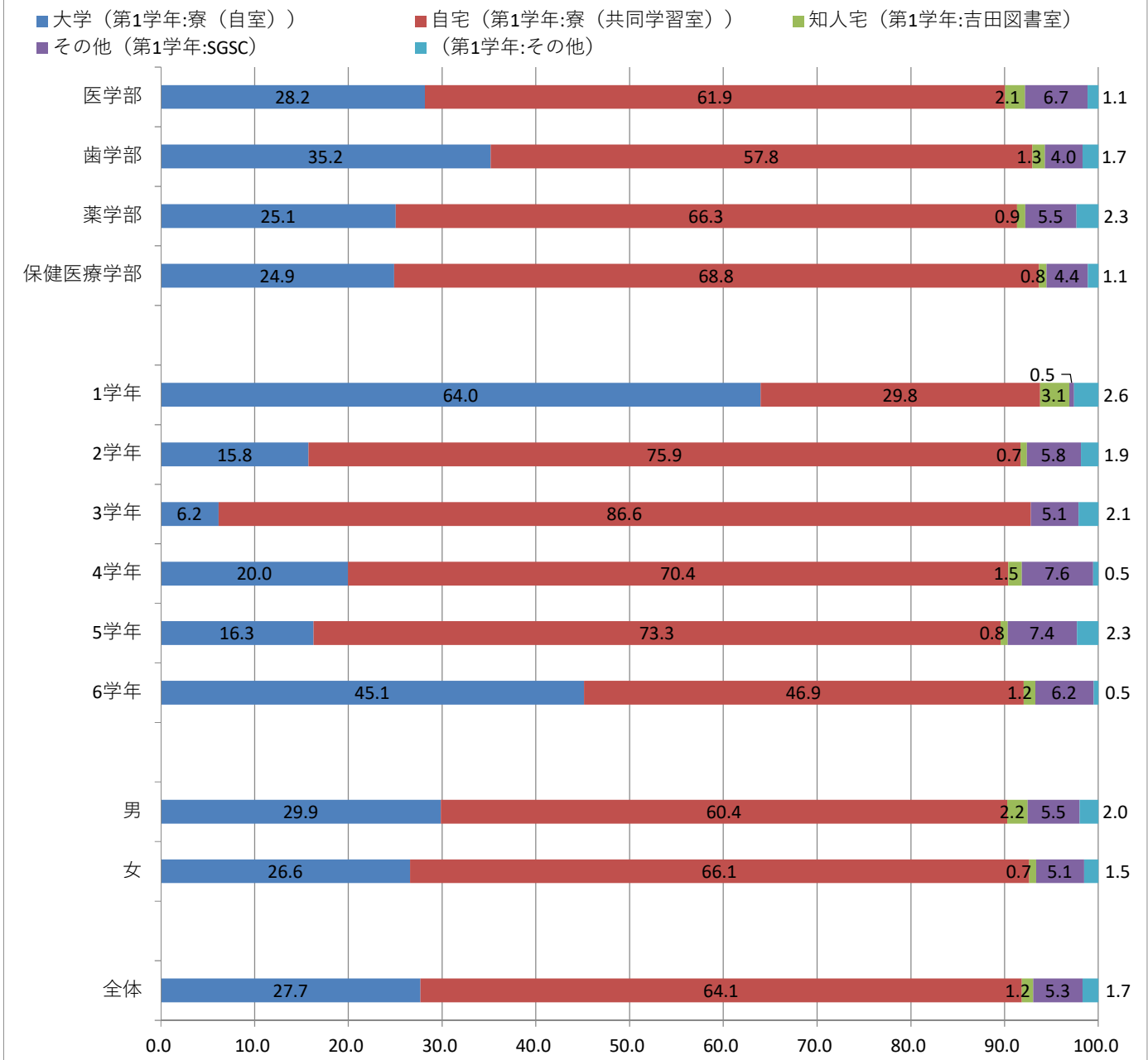
50.違法薬物によって他人に危害を加えることを知っていますか

■知っている ■知らない



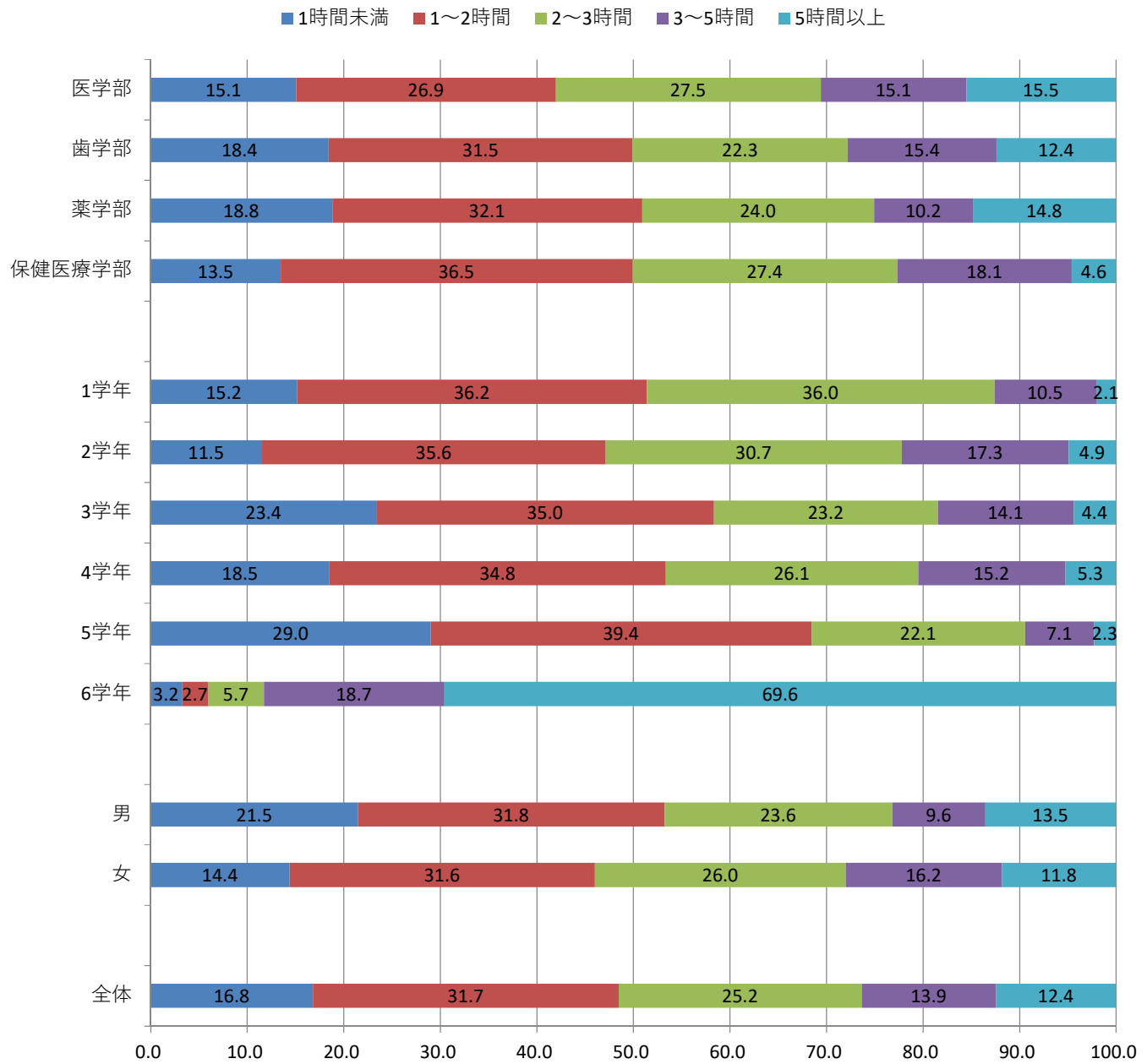
違法薬物によって他人に危害を加えることを知っていた学生は97.2%で、おおむね違法薬物に対する認識があることがうかがえた。

51.最も多く、自習をする場所はどこですか



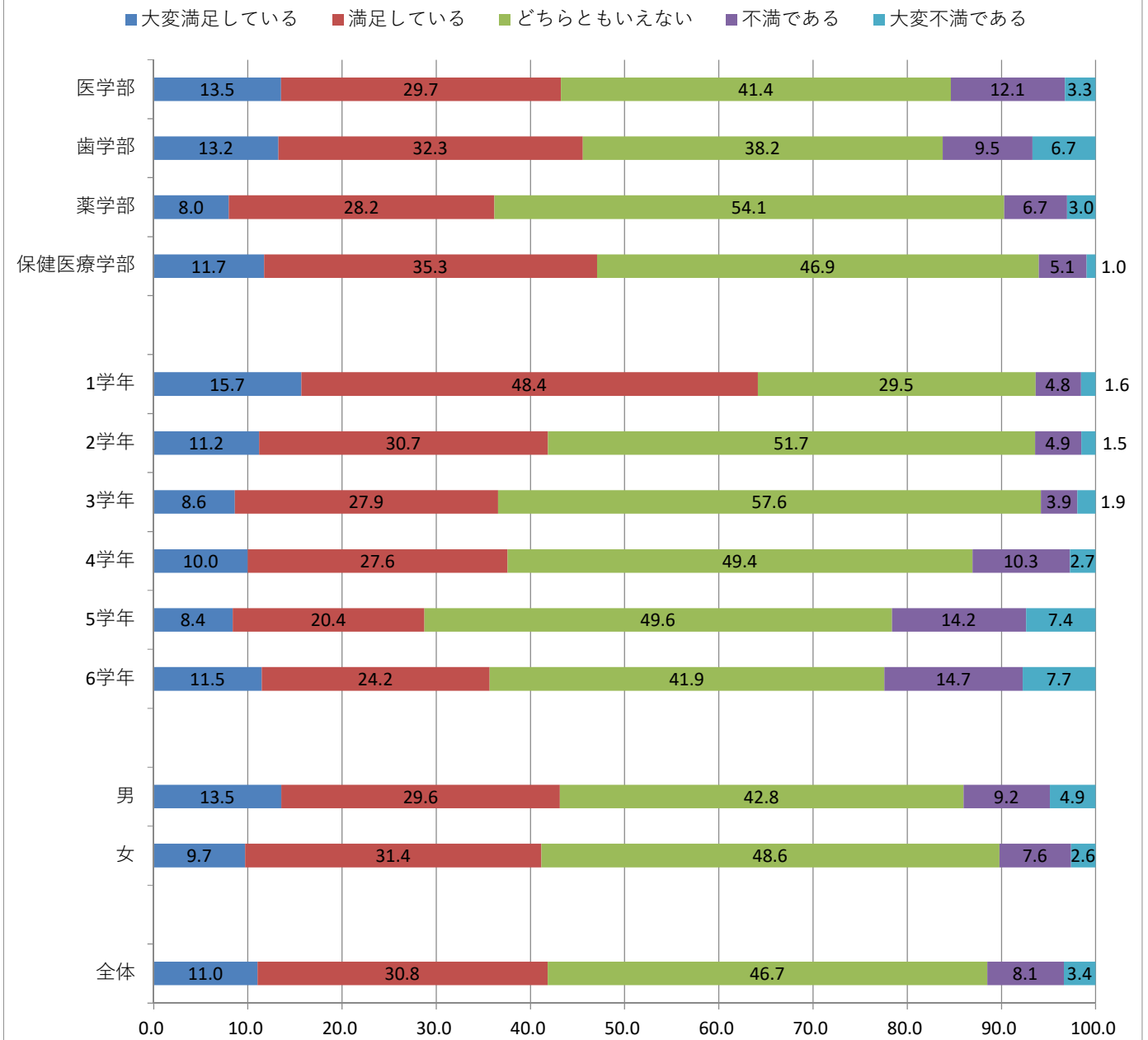
もっとも多く自習をする場所として、平均で自宅が約64%、大学が約28%であったが、6年生になると、大学で学習する学生が増えている（約45%）。卒業試験や国家試験に向け、より集中力を高めたい、あるいは友人との情報交換が行いやすいなどの理由が考えられる。

52.1日の平均自学自習時間(大学内、外)はどの位ですか



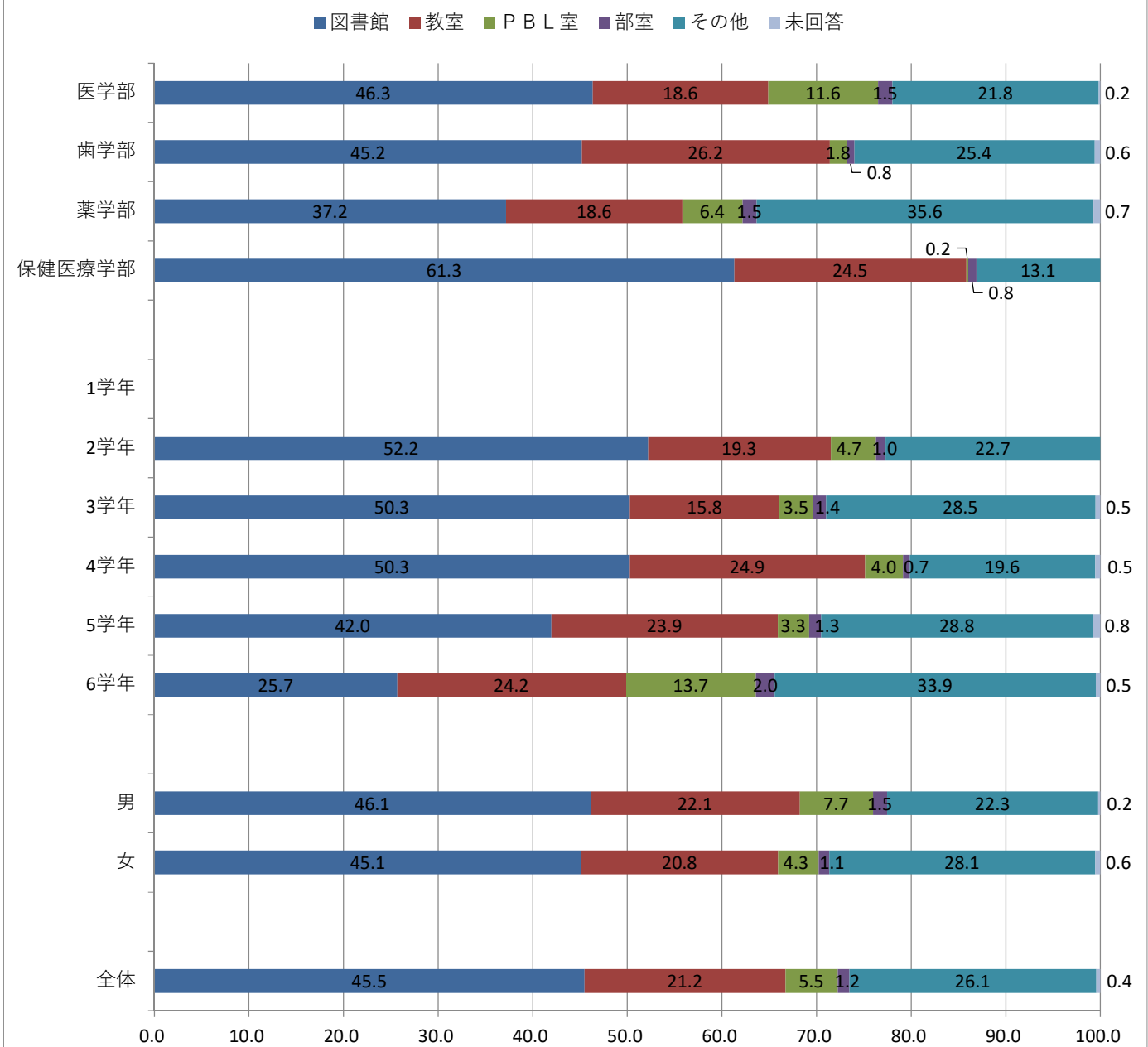
1日の平均自学自習時間は、全学部を合わせて第2学年から第4学年までの平均は、1時間未満が約17%であったが、第5学年は1時間未満が約29%と若干であるが、自学自習時間が減少傾向にある。これは、全学部とも臨床実習の期間であることが理由として考えられる。一方、当然の結果ではあるが、第6学年になると学習時間は大幅に増え、約70%が5時間以上行っている。

53.自習スペースについて



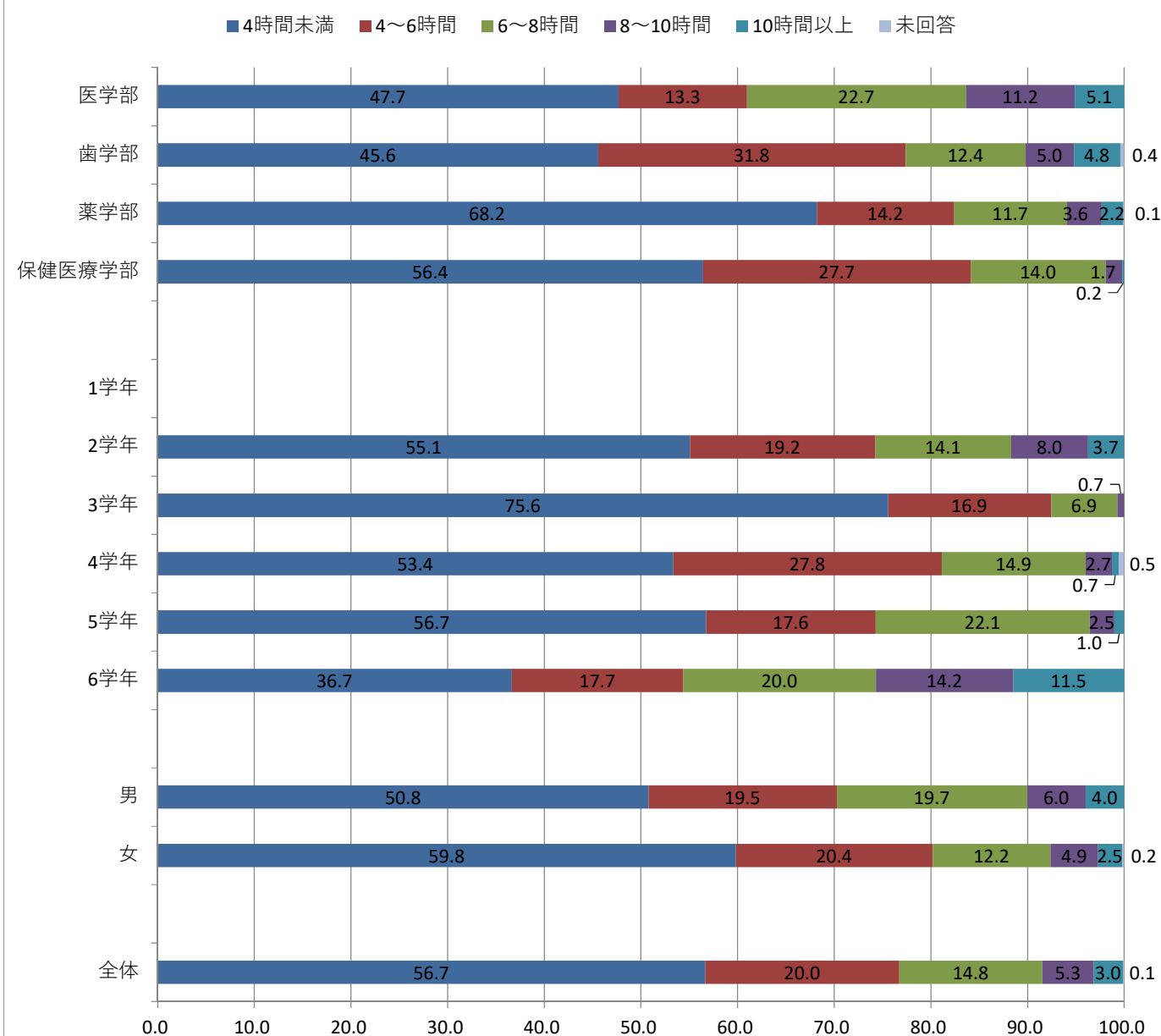
自習スペースは、大変満足していると満足しているを合わせ、第1学年(富士吉田キャンパス)は約64%であったが、第2学年以上では平均約36%であった。施設の物理的な問題もあり数を増やすことは難しいが、可能な限りの改善が望まれる。

54.自習スペースとしてどこを利用していますか（第1学年回答不要）



第2～5学年の平均は、図書館が約49%、教室が約21%、PBL室が約4%であった。第6学年では図書館が約26%、教室が約24%、PBL室が約14%と、PBL室の利用割合が増え、その分、図書館の利用率が低下してる。これは、第6学年に優先的にPBL室を開放しているためと思われる。

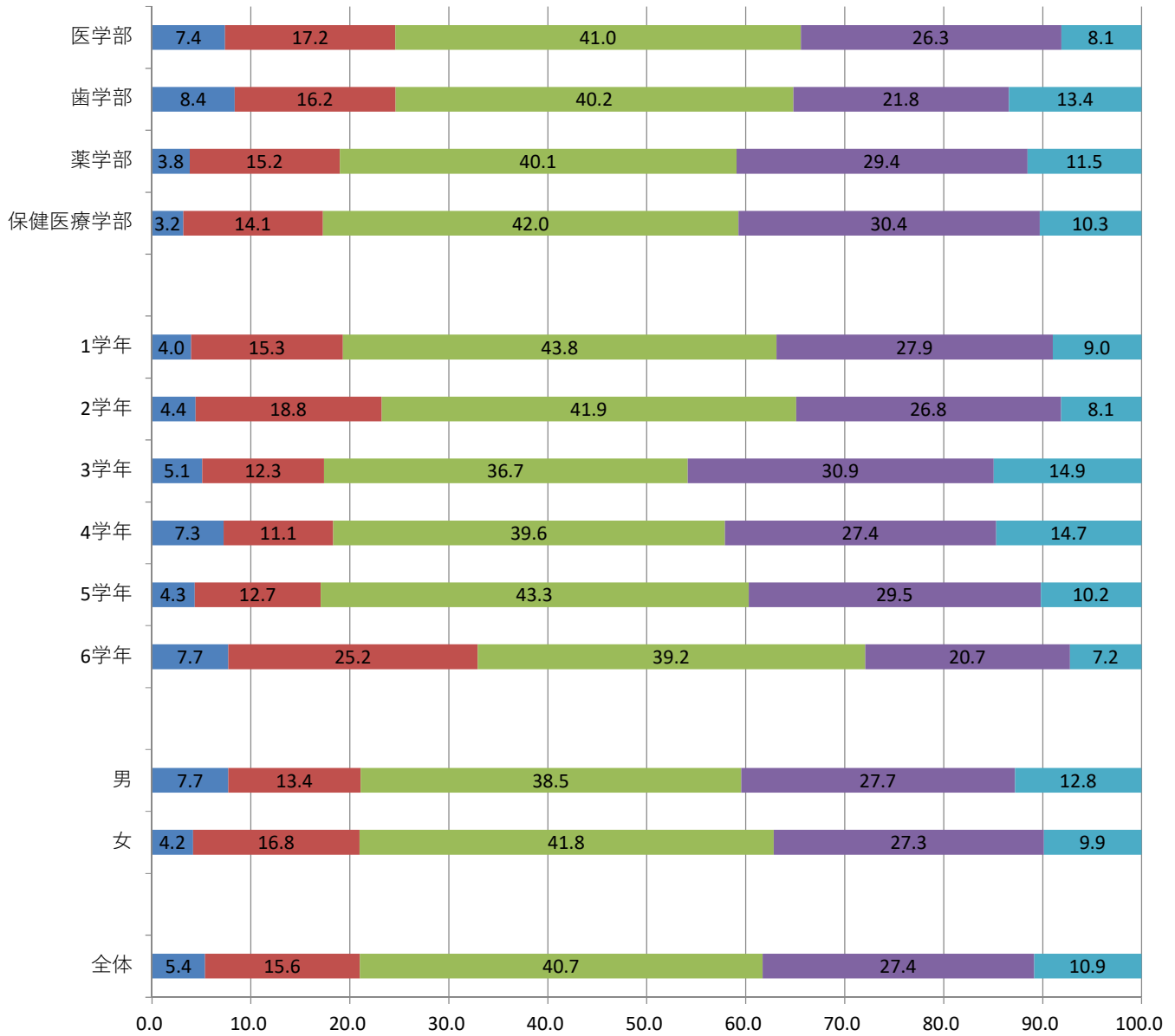
55. 1日のキャンパス内にいる時間(大学にいる時間、課外活動含)は平均どの位ですか (第1学年回答
不要)



学部また学年で異なった結果であった。4時間未満の学生が多かった学部は薬学部で(約68%)、学年では第3学年(約76%)であった。2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンデマンド講義が多い学部や学年は、1日のキャンパス内にいる時間が短かったと思われる。

56. 1日の平均テレビ視聴時間(YouTube等含む)はどの位ですか

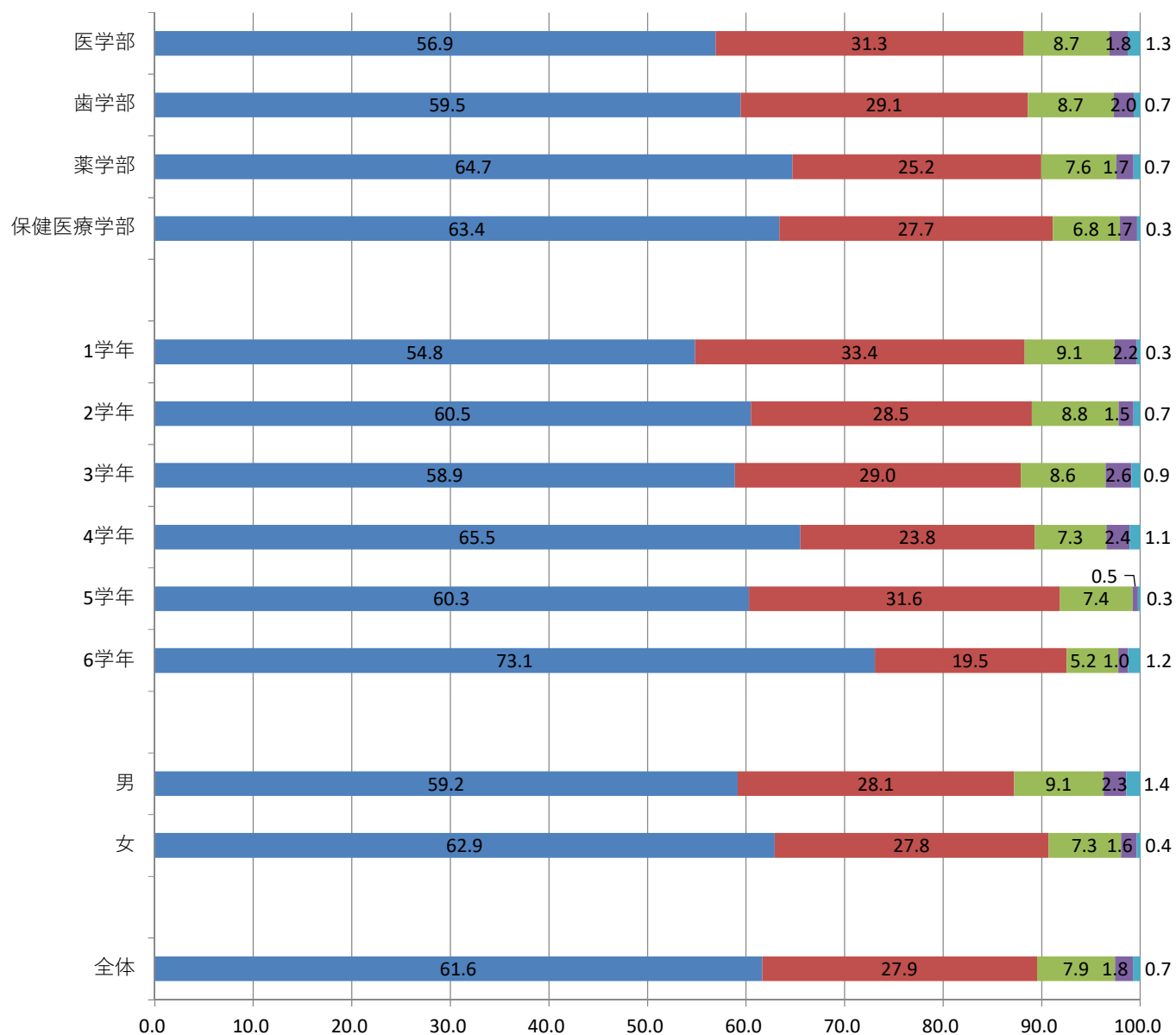
■ 見ない ■ 1時間未満 ■ 1～2時間 ■ 2～4時間 ■ 4時間以上



予想された通り、第6学年とそれ以外の学年とで結果が異なった。1時間未満と見ないを合わせて、第6学年は約33%、第1～5年の平均で約19%であった。第6学年は、卒業試験、国家試験に向けての勉強に時間を費やしている分だけテレビの視聴時間は短くなっていると思われる。

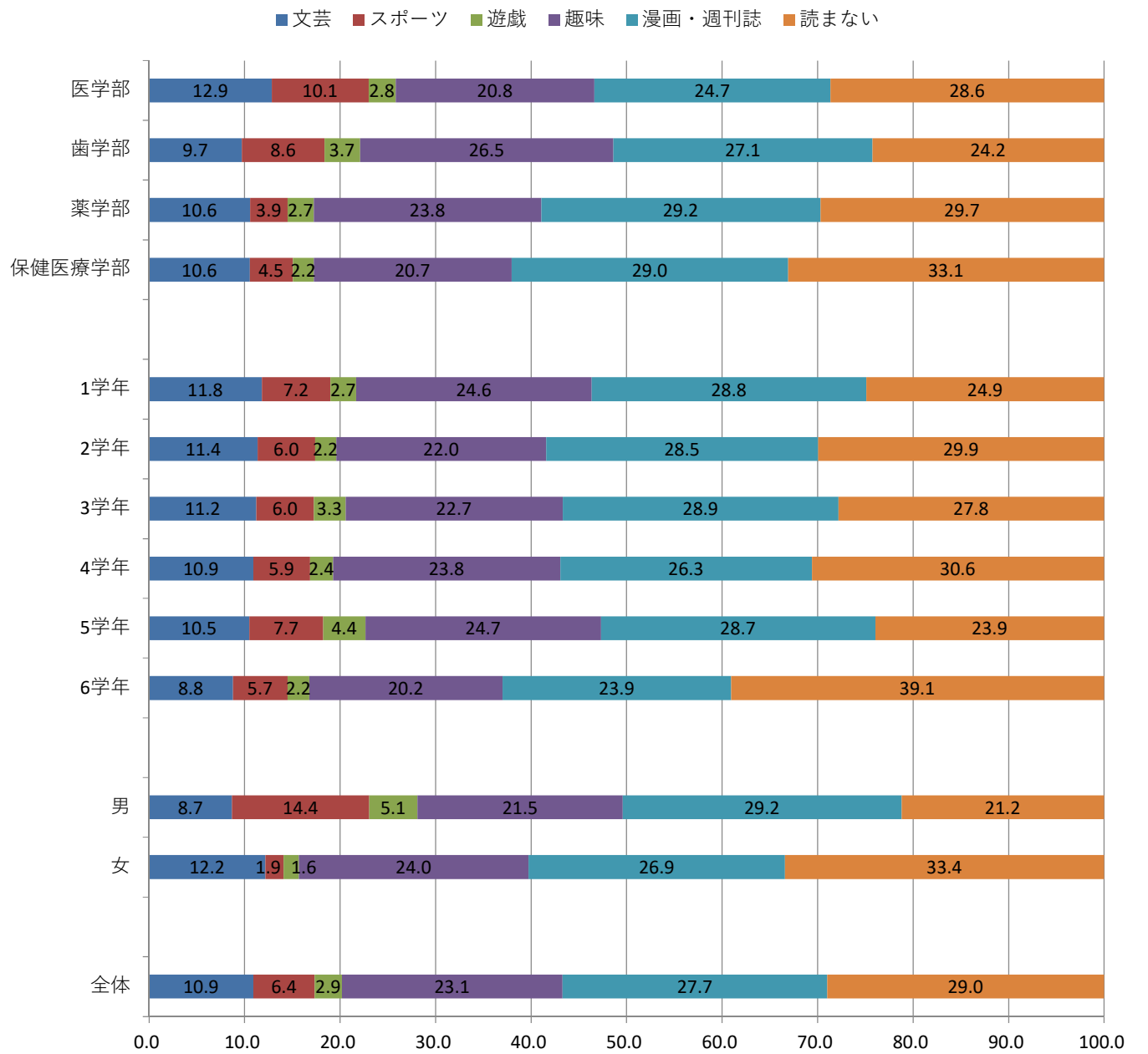
57. 1日の平均読書時間(専門書以外)はどの位ですか

■ 読まない ■ 1時間未満 ■ 1～2時間 ■ 2～4時間 ■ 4時間以上



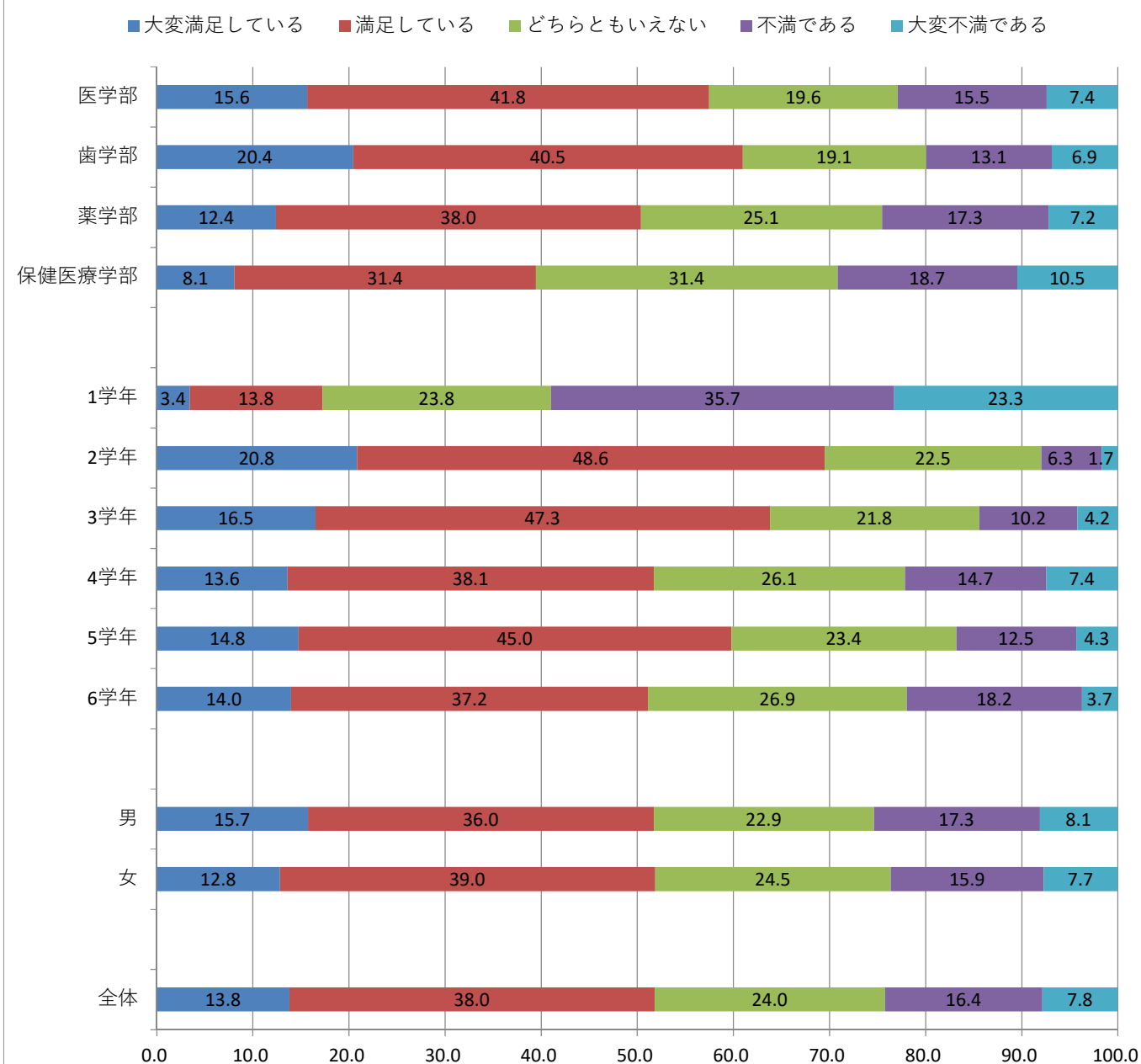
一般的に読書離れは言われているが、驚くべきことに本学においても60%もの学生が「読まない」であった。いろんな手段で簡単に情報が得られる時代になり、これは時代の流れかもしれない。しかし、正しく文章を書けない学生が増えている、その理由の一つに挙げられると考えられる。

58.専門書以外の購読誌は何ですか *複数回答可



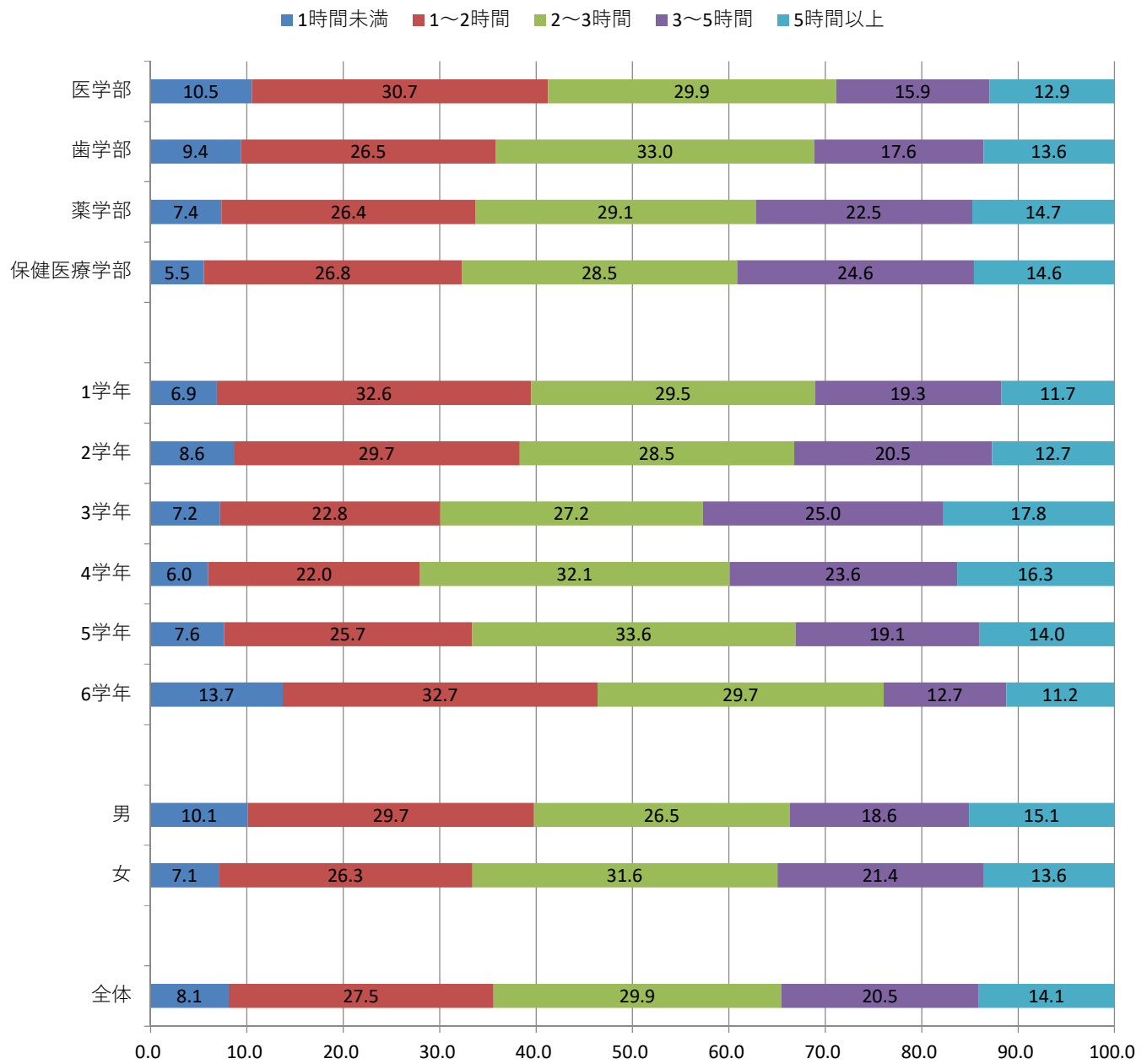
趣味が約23%、漫画・週刊誌が約28%で、これらで半数を占めた。一方で「読まない」も多く約29%であった。PCやスマホで簡単に情報が得られる時代になったためと思われる。

59.インターネット環境について



第1学年と第2学年以上でくっきりと結果が分かれた。不満であると大変不満であるを合わせて、第2学年以上では平均約17%であったが、第1学年(富士吉田キャンパス)は約59%であった。
早急な設備の改善が望まれる。

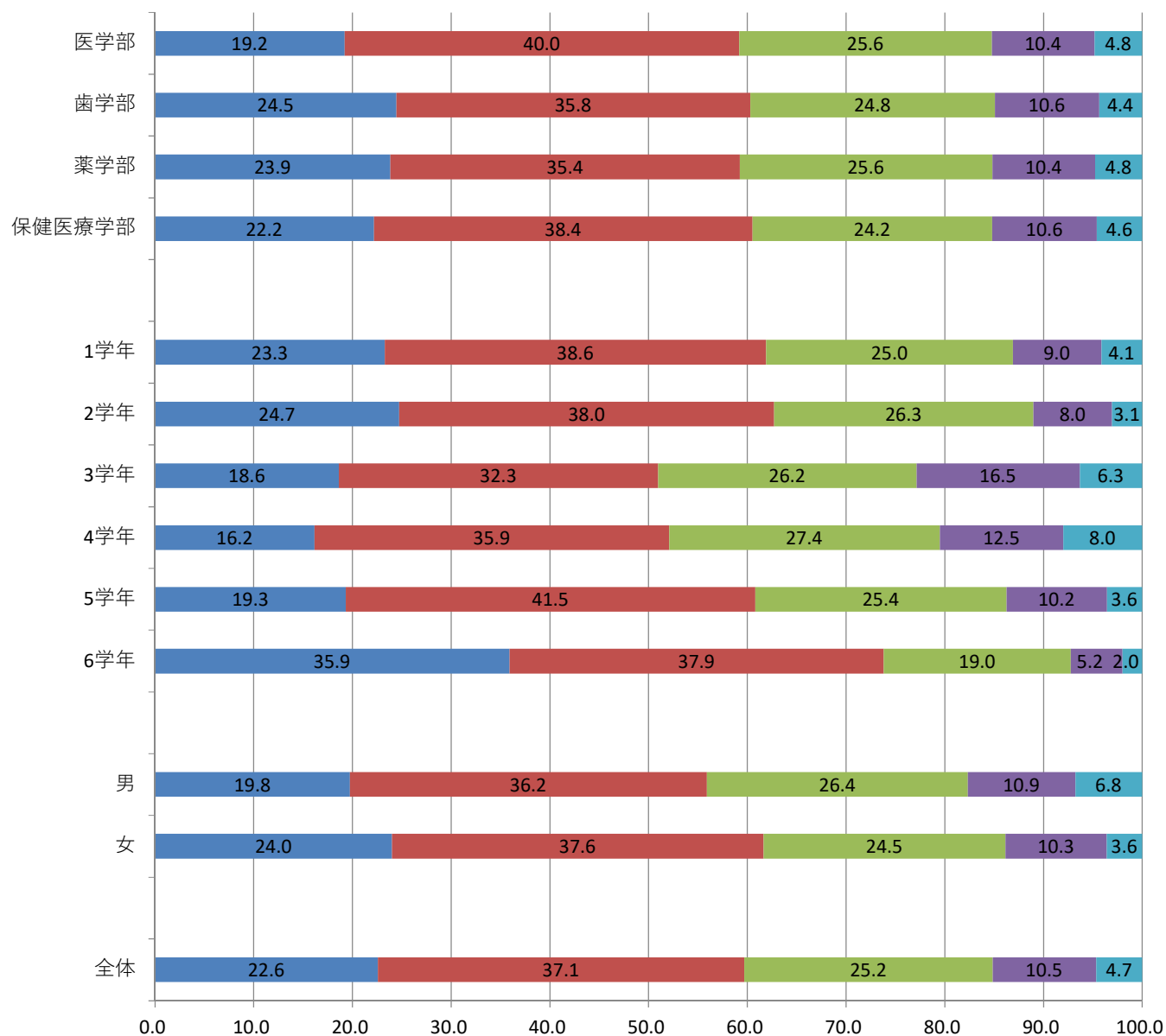
60.インターネット・アプリの1日の平均利用はどれ位ですか



せいぜい1～2時間程度かと予測していたが、約64%の学生が2時間以上利用していた。学習に利用しているのならいいが、この時間を少しでも読書にまわしてもらいたいと思う。

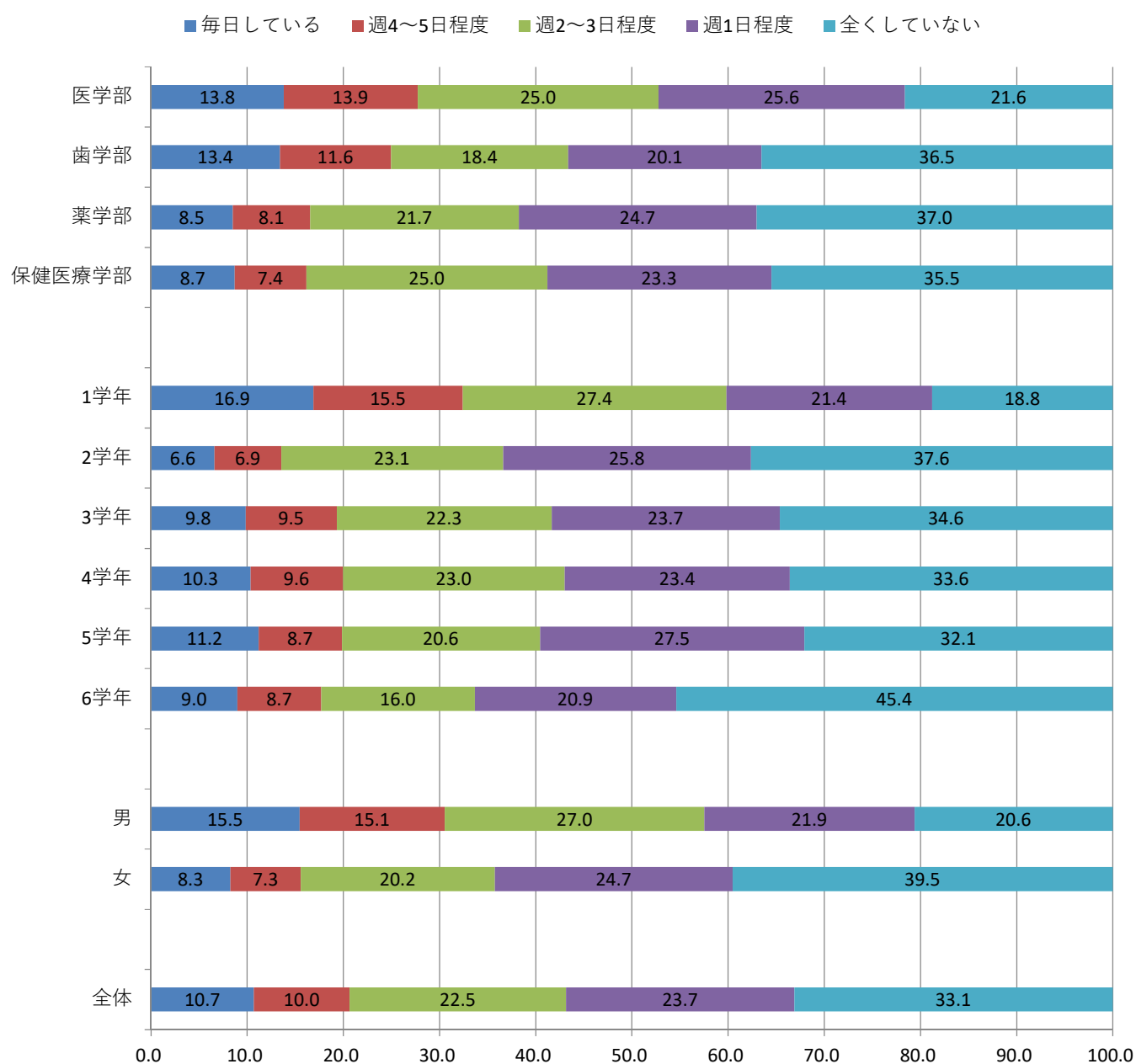
61. 1日の平均レジャー及び遊び時間 (交際・趣味・娯楽等)はどの位ですか

■ 1時間未満 ■ 1～2時間 ■ 2～3時間 ■ 3～5時間 ■ 5時間以上



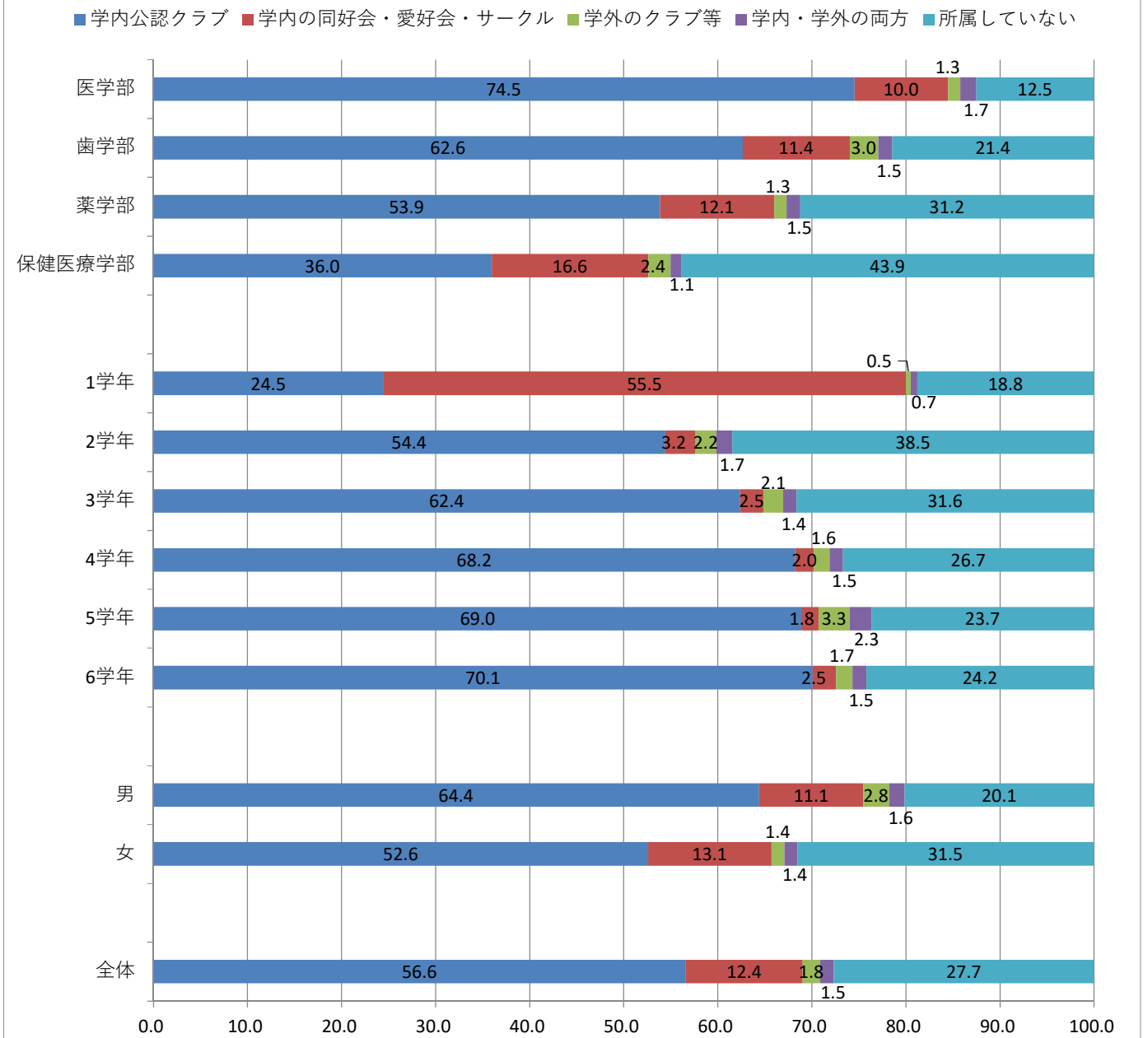
予想通りの結果であるが、1時間未満が、第1～5学年の平均は約20%であったが、第6学年では増え、約36%であった。第6学年もストレスをためないためにも、適度な気分転換は行ってもらいたいと思う。

62.定期的に運動（1回30分程度）をしていますか



第6学年は仕方ないとしても、第2～5学年の約1/3が全く運動を行っていないのは驚きであった。自分の健康の維持のためにも、適度な運動を行うよう指導していきたい。

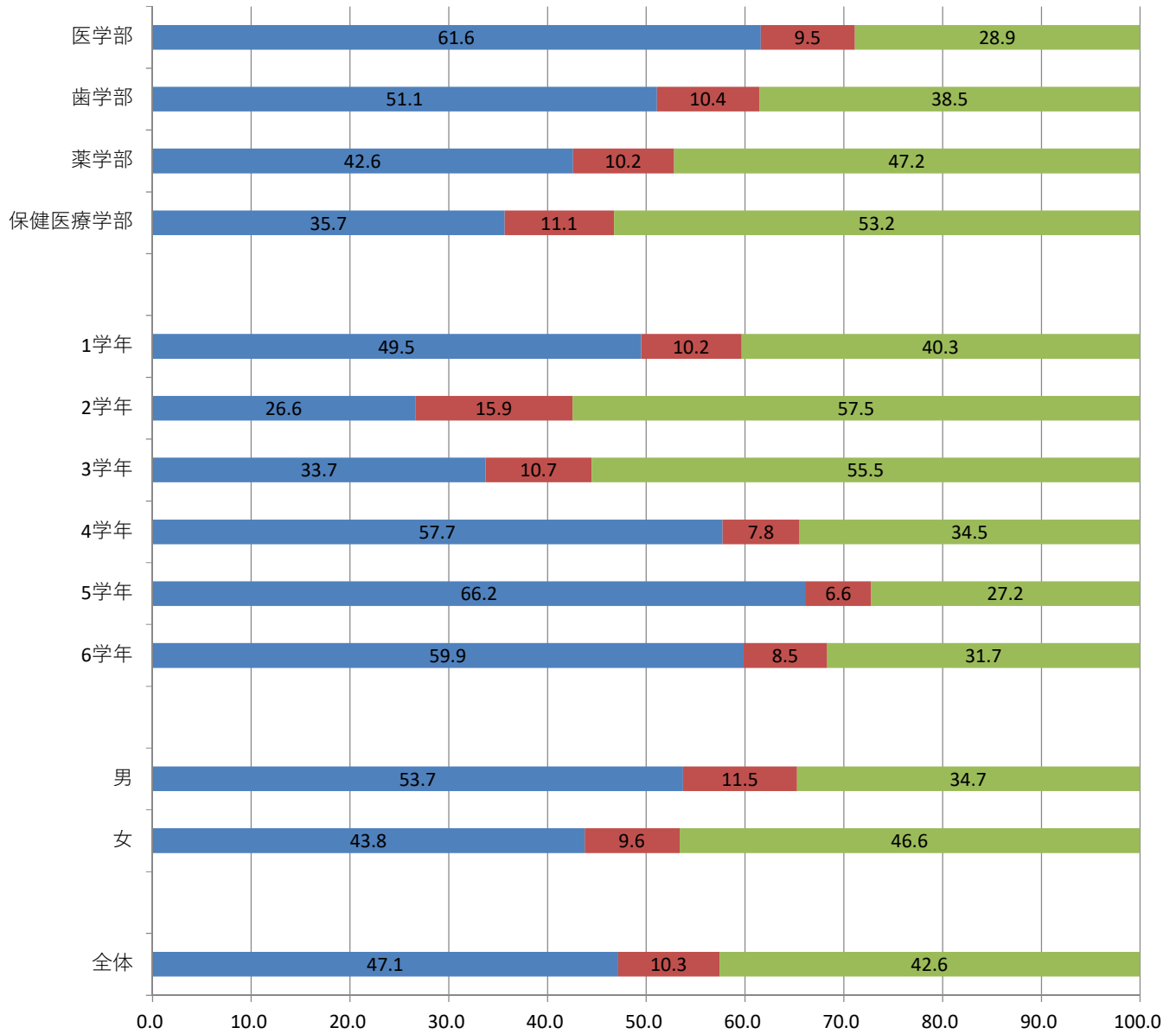
63.加入しているクラブ等について



学部で差が見られた。何らかのクラブに加入している学生は、医学部；約88%、歯学部約79%、薬学部約69%、保健医療学部約56%であった。
保健医療学部の学生がクラブに加入していない、あるいは加入できない理由を明確にして改善すべきと思われる。

64.課外活動と学業の両立について

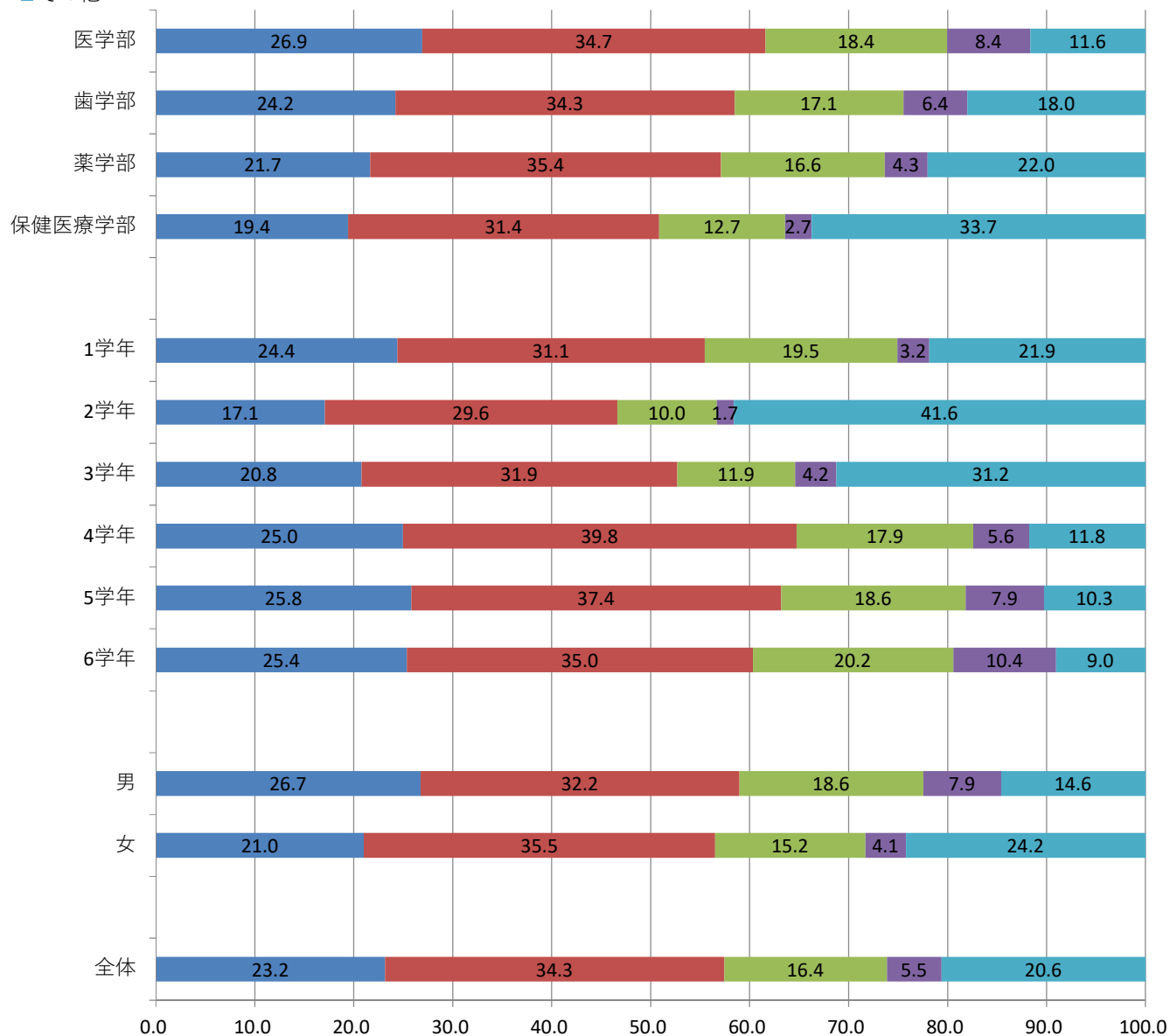
■両立している ■両立していない ■どちらともいえない



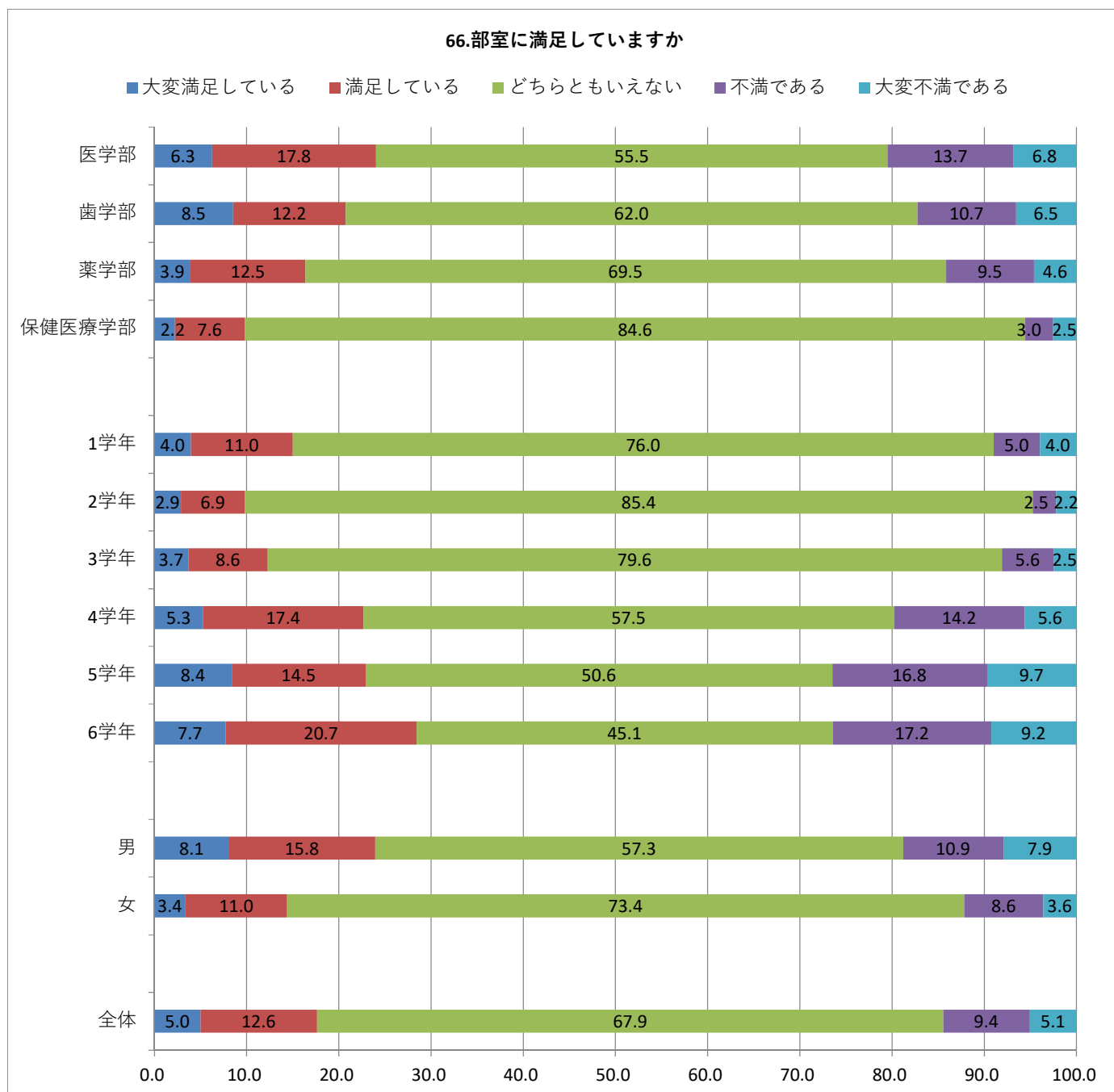
63同様に、学部で差が見られた。「両立している」学生が保健医療学部で少ないのが気になる。保健医療学部で「両立している」学生が少ない理由を、63とともに調査し対応すべきと考える。

65.課外活動で得たもの *複数回答可

- 授業では得られぬ知識・教養・技術を得た
- 先輩・友人との交わり、協調・忍耐・責任感などを養えた
- かけがえのない友人
- リーダーシップ
- その他

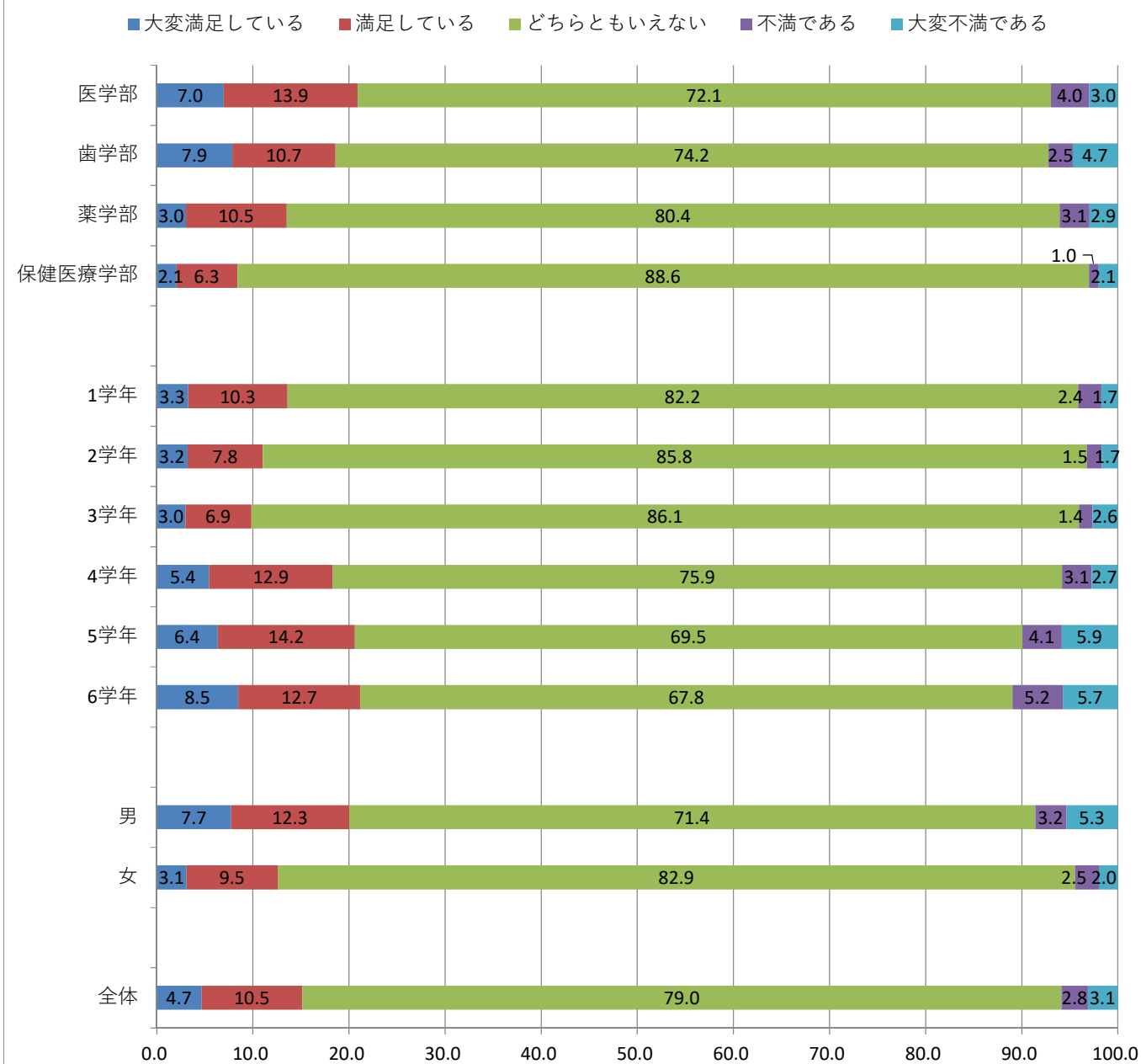


課外活動は人間関係の形成に非常に有用であることが本結果からも明らかとなった。「その他」が多い学部、学年は、課外活動を行っていない、行えていない学生が多いことが反映されていると思われる。



本結果から、決して満足度は高くないと思われる。施設の物理的な問題もあるが、可能な限りの改善が望まれる。

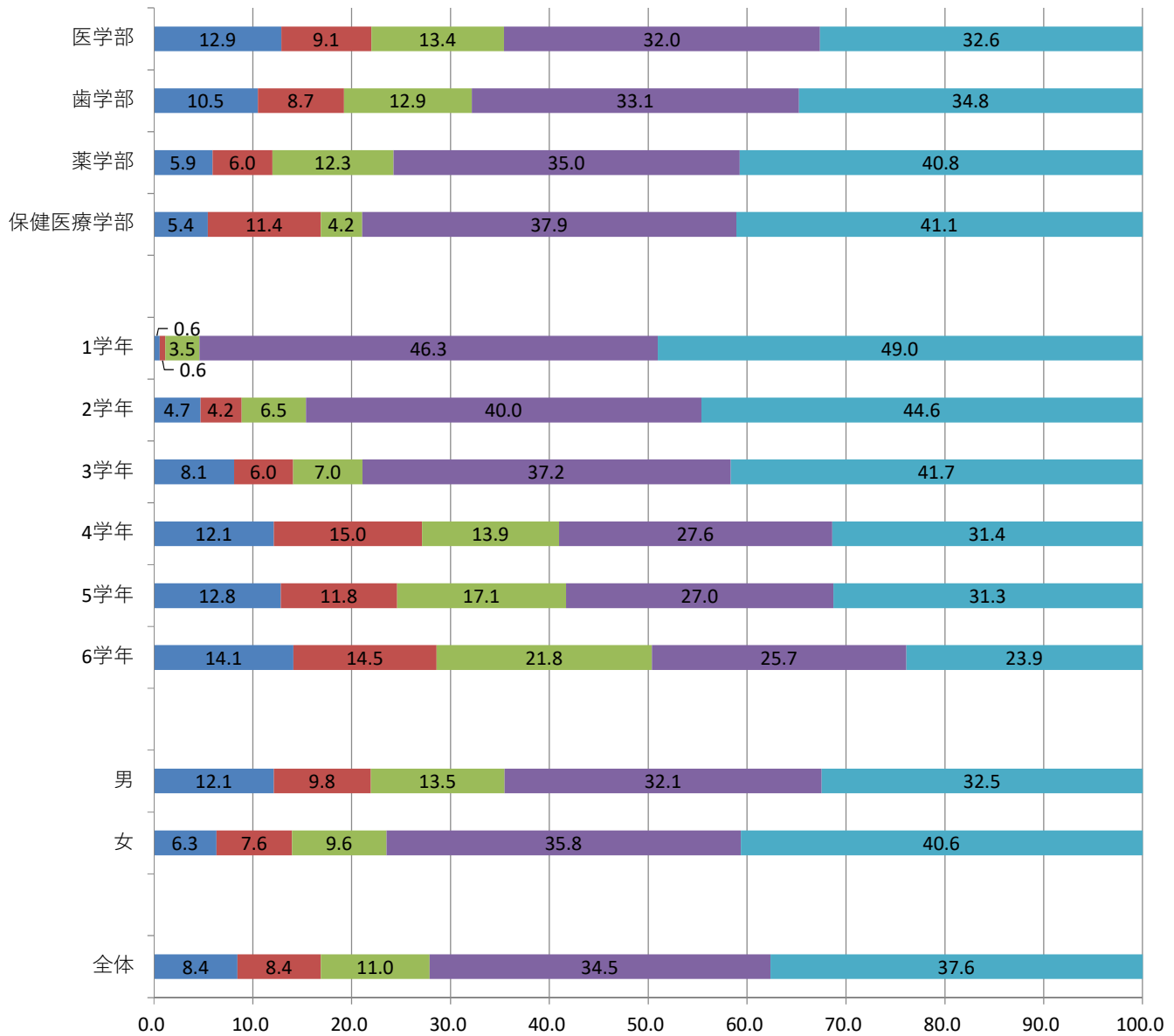
67.文連系クラブで利用できる場所について満足していますか



66同様、決して満足度は高くないと思われる。施設の物理的な問題もあるが、可能な限りの改善が望まれる。

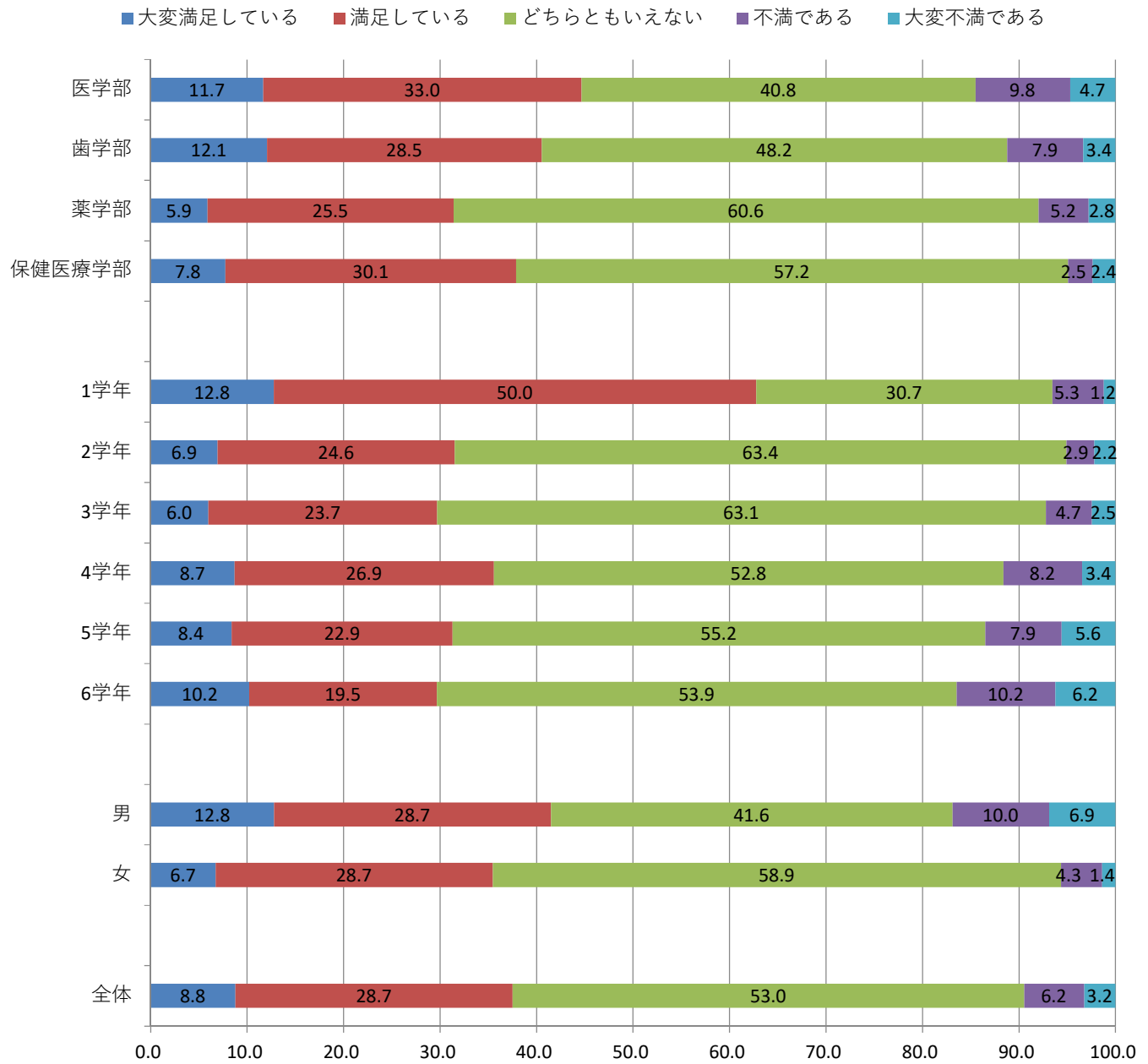
68.利用したことがある本学の運動施設はどこですか *複数回答可

- 長津田（グラウンド・野球場・テニスコート）
- 7号館（体育館・プール）
- 富士吉田体育館・スクエアガーデン
- 長津田（体育館）
- 富士吉田（グラウンド・野球場・テニスコート）



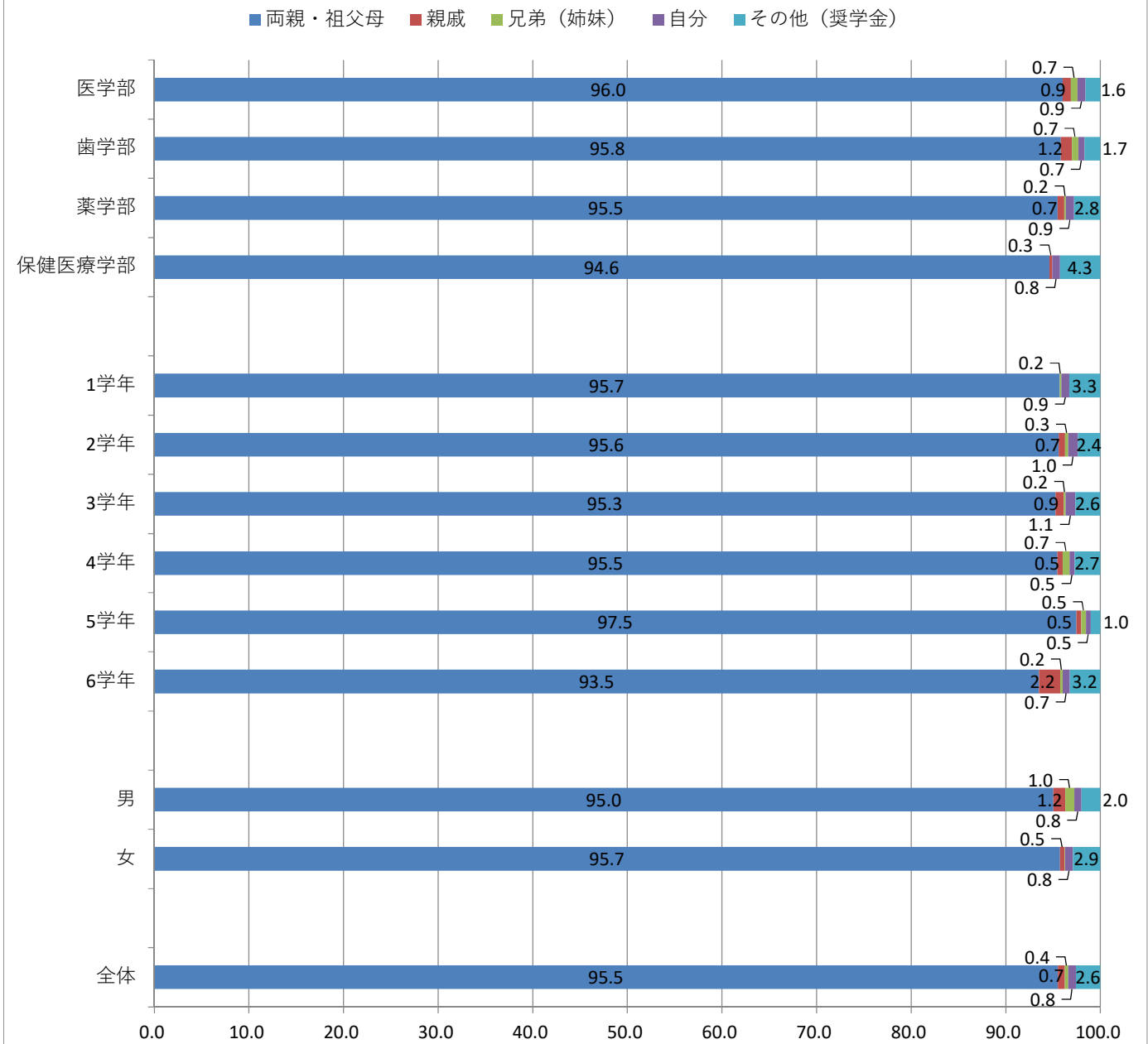
2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特に第2-3学年でクラブ活動ができていない学生もいるため、富士吉田以外で利用したことがある施設が少なかったと思われる。

69.運動施設に満足していますか



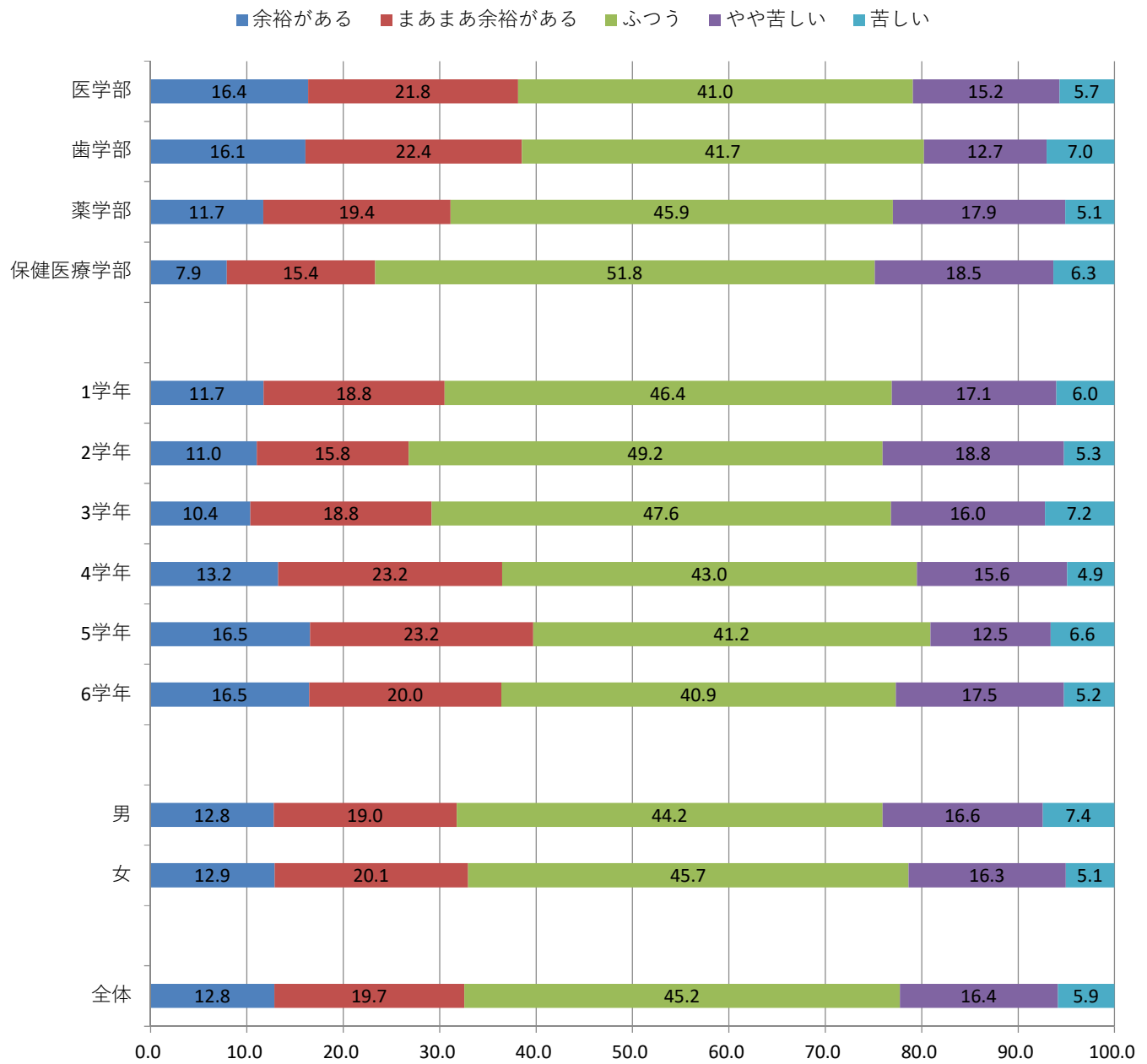
大変満足していると満足しているを合わせて、第1学年(富士吉田キャンパス)は約63%であったのに対して、第2学年以上では約32%であった。物理的な問題から大きくすることは難しいが、可能な範囲での質の改善が望まれる。

70.学費の主たる負担者はどなたですか



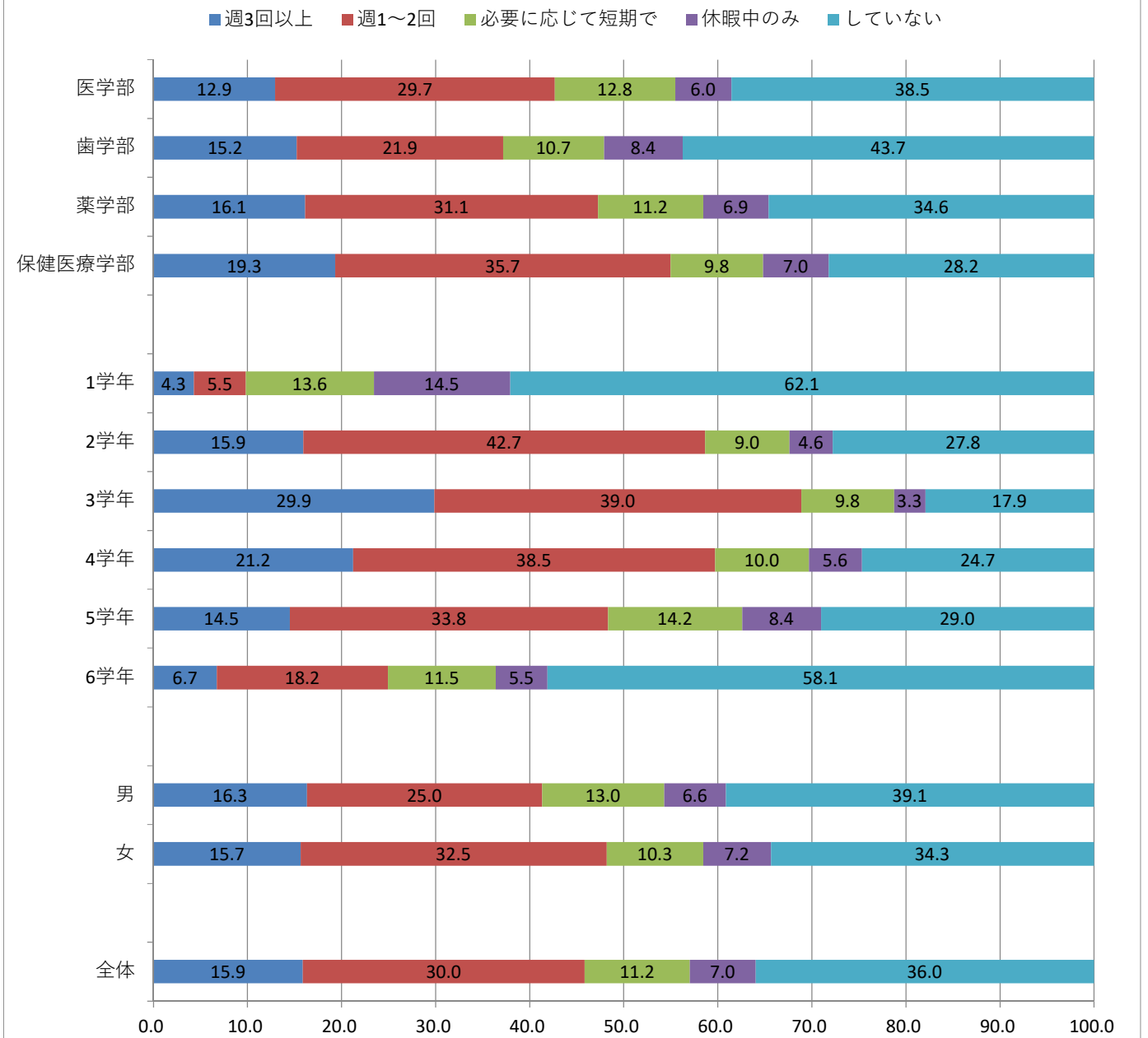
おおよそは両親・祖父母からの支払になっているが、特に低学年2-3年では自分でアルバイトなどで学費を負担している様子がわかる。6年生で親戚からというのは気になる
学費負担がきつい場合は奨学金借りるなどの方法が考えられる。周知を徹底する

71.家庭の経済状況について知っていますか

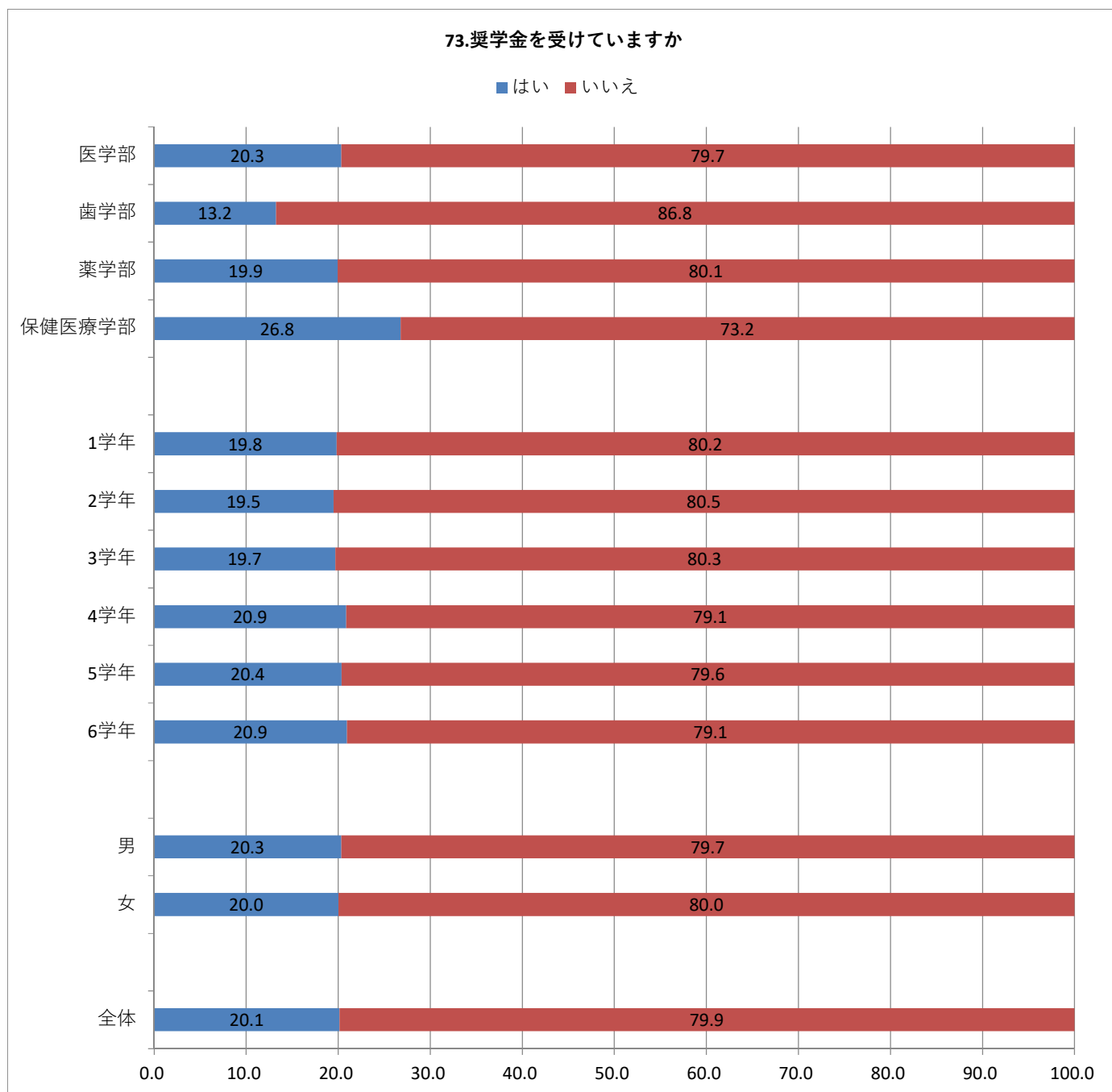


学部間、学年間であまり大きな違いがないが、一定数、苦しいと回答している学生がいることは憂慮すべき
早めに見つけて経済的サポートを提案する必要がある。他の項目との関連性を調べる

72.アルバイトはどの程度していますか



富士吉田でのアルバイト時間が少ないのは理解できる。学年別では3－4年生で倍と時間が増えている。講義の余裕はあまりないにもかかわらずバイト料が増えているのは学修時間の低下に繋がっている可能性がある
 バイト時間と学修時間との相関を見ておく必要がある。また、経済的な理由からバイトを入れている学生も当然いるであろうから、70, 71の設問との関連を解析する

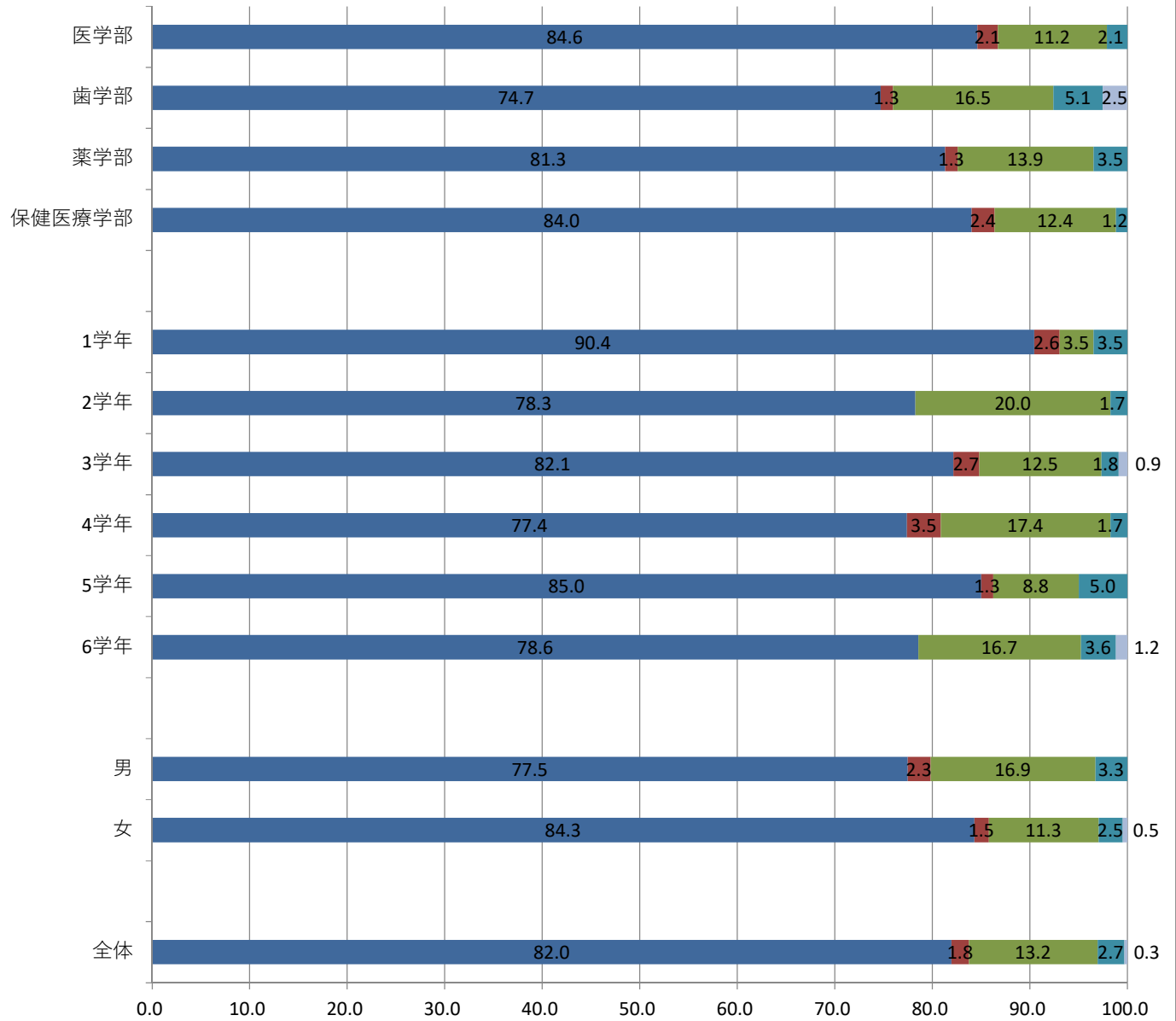


2割程度の学生が奨学金を受けていることがわかる。ただ、受けている学生が経済的に問題がないかどうかはこの結果からはわからない

奨学金を受けている学生について、経済的なサポートがさらに必要な学生がいるかどうかは確認する

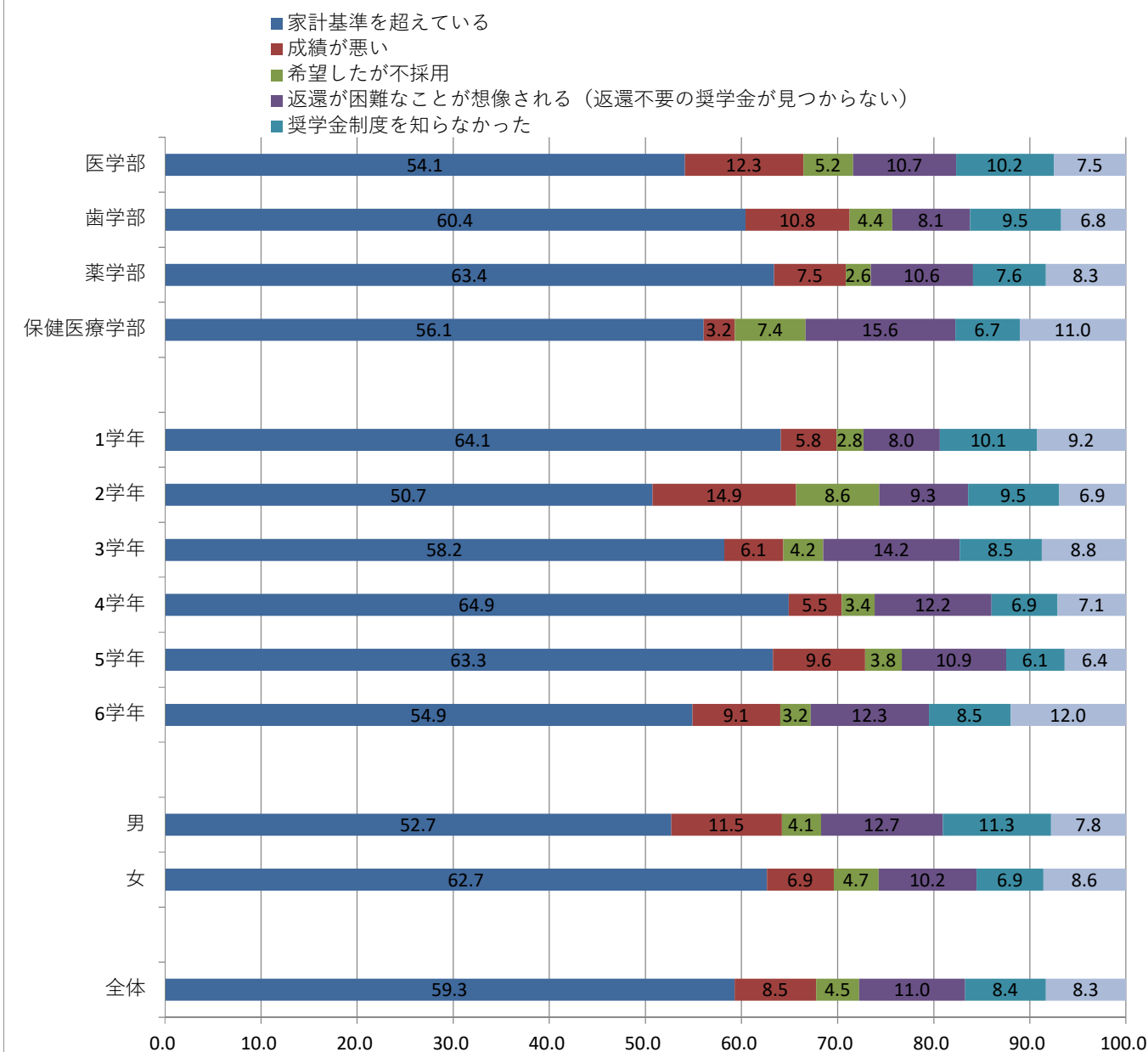
74. 「73」で「はい」と答えた方に質問します。奨学金の主な用途は何ですか

■学費 ■図書・教材費 ■生活費 ■クラブ活動費 ■その他 ■未回答



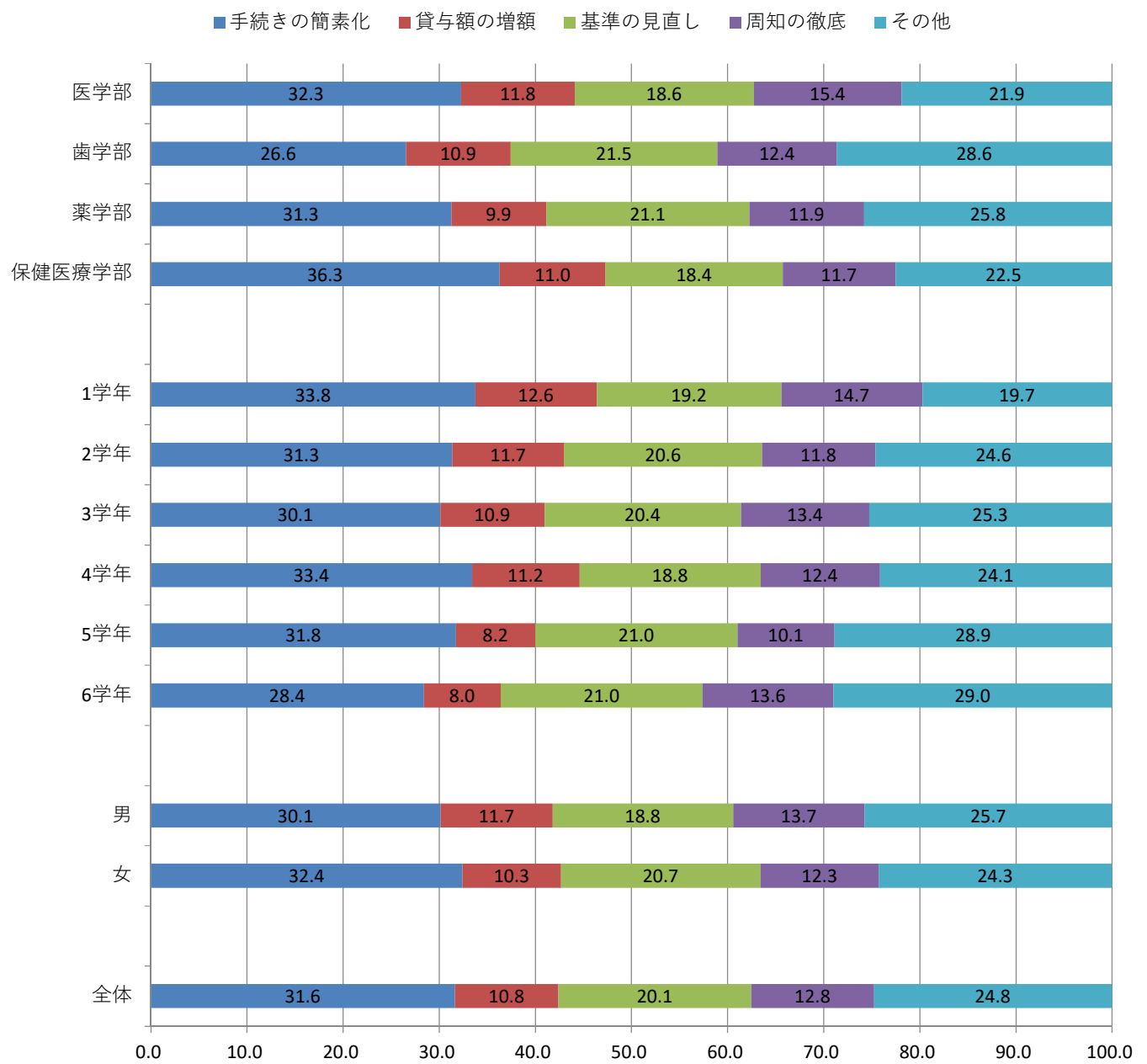
奨学金の用途は学費が多くを占めていた。

75. 「73」で「いいえ」と答えた方に質問します。奨学金を受けていない人は、その理由は何ですか



学年、学部を問わず「奨学金制度を知らなかった」と回答した人が一定数いることは憂慮すべき点である。
奨学金についての案内をさらに効果的にに行う方策を考える

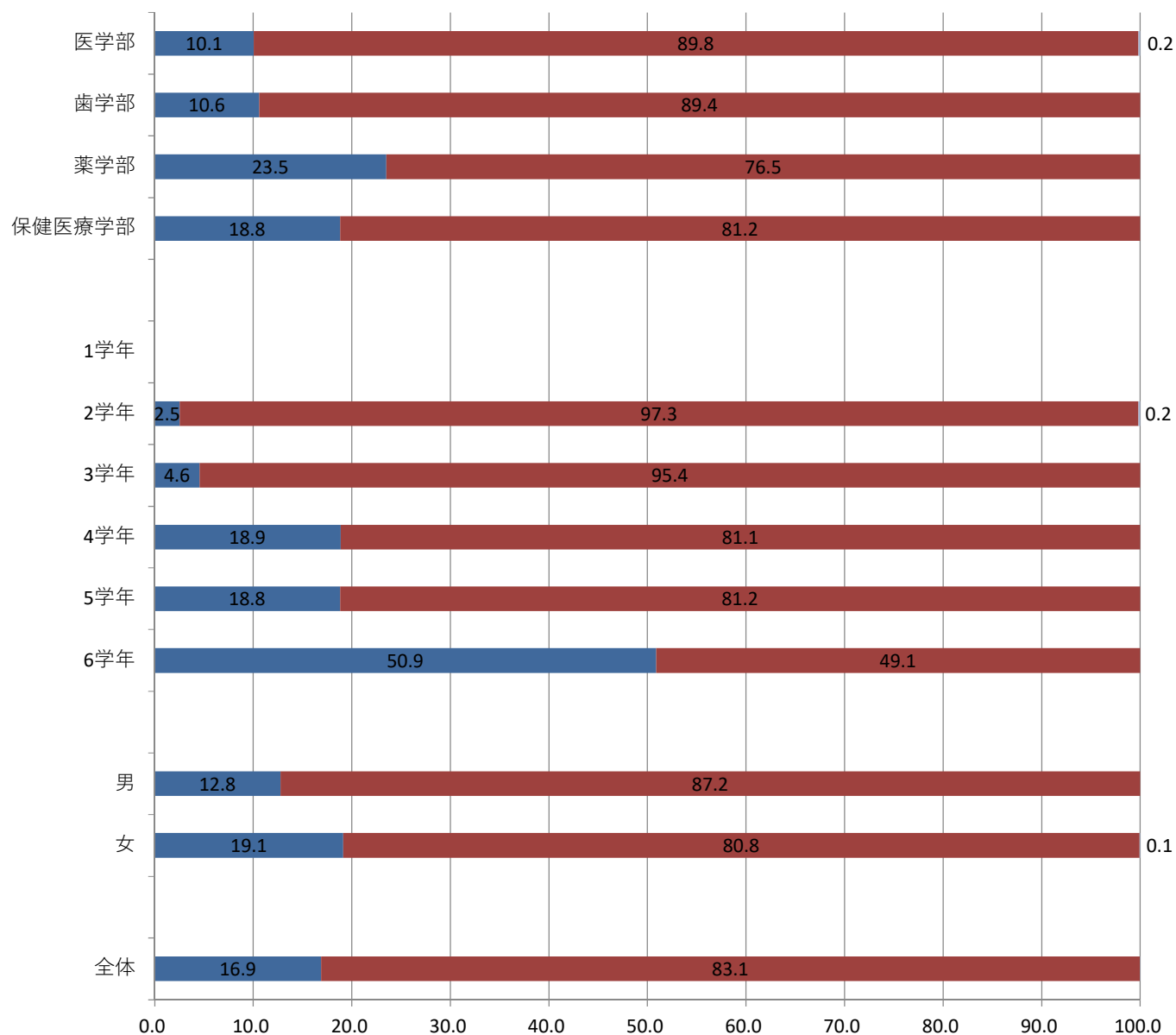
76.奨学金に希望することは何ですか *複数回答可



手続きの簡素化が最も多いのは意外である。書類が多いということか。ここにも「周知の徹底」を上げている学生が13%程度、どの学年、学部にもいることがわかる
奨学金についての案内をさらに効果的にに行う必要がある。周知の方法を再度確認する

77.キャリア支援室を利用したことがありますか（第1学年回答不要）

■ある ■ない ■未回答

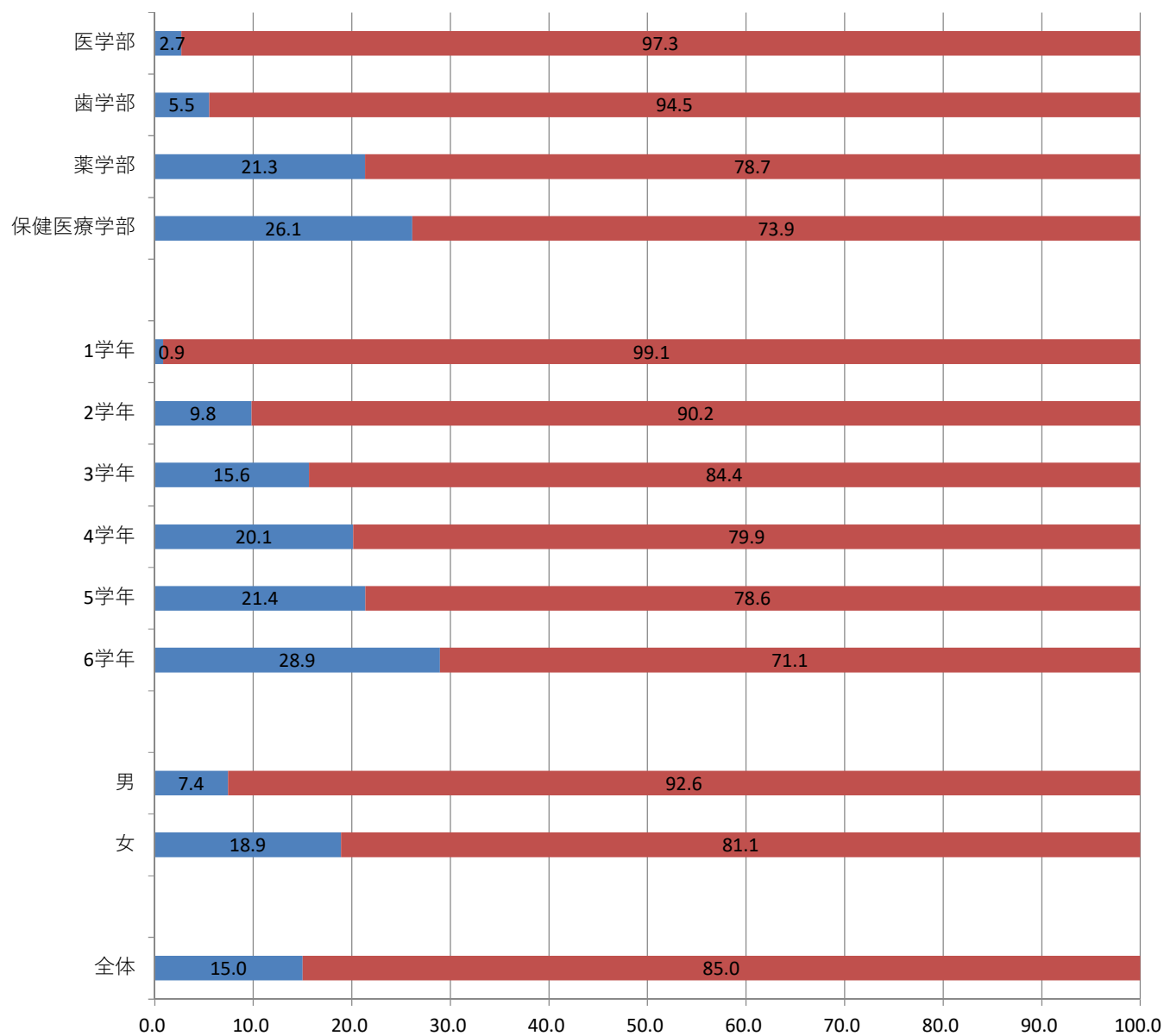


学年が上がるに従い、キャリア支援室の利用が高くなっているのは、就職活動と関係があるためか。ただ、全体として1割強の学生しか利用していないこと、薬学部以外の学部では利用率が1割程度になっていることから、薬学部にとっては重要な部署であることがわかる

薬学部以外の利用が少ないことから、他学部が利用できるようなコンテンツ・業務内容を見直していく

78.キャリア支援室主催の学内ガイダンス・談話会等に参加したことはありますか

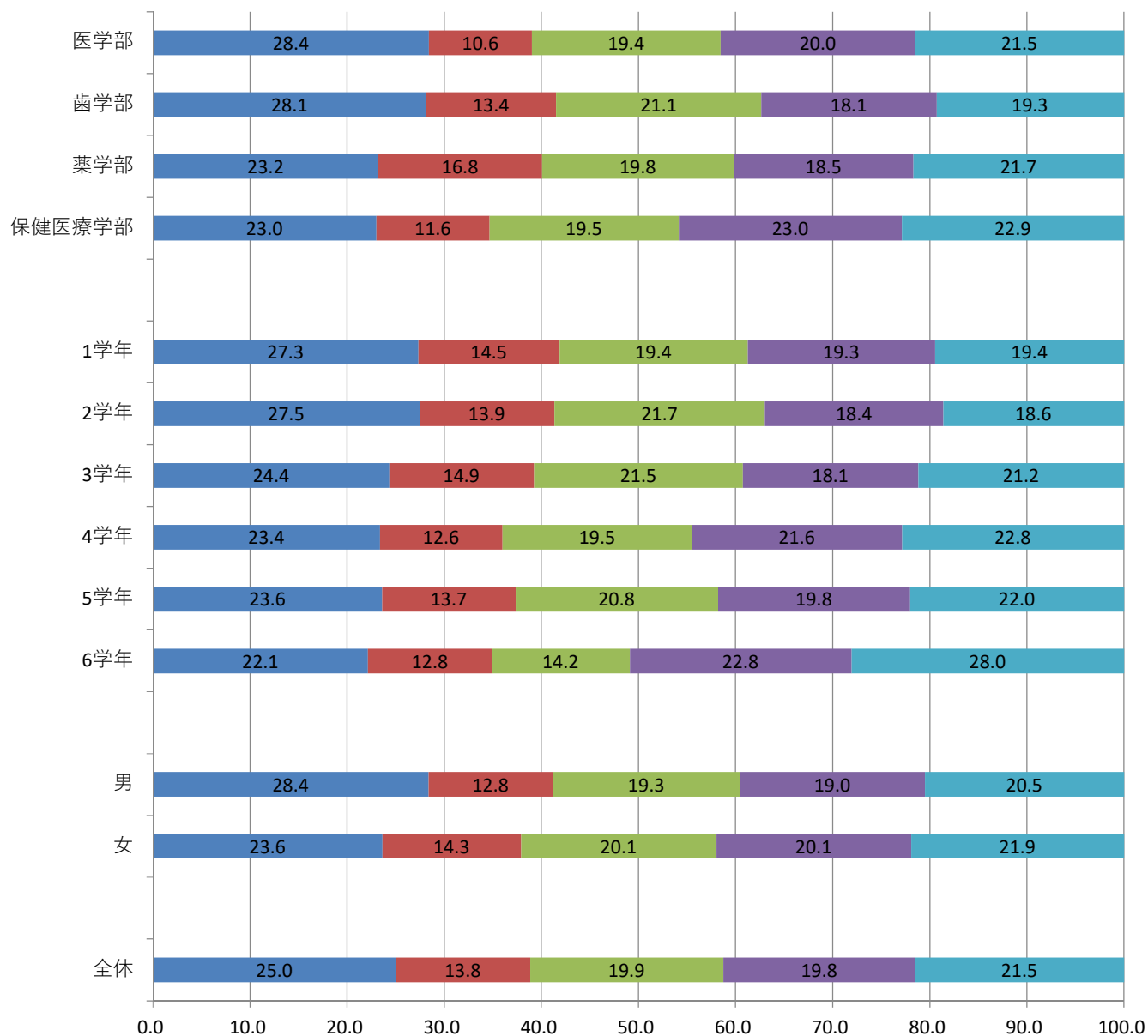
■ある ■ない



これも、問77の傾向と一致しているが、保健医療学部で多くなっているのが特徴。これは保健医療学部に関するガイダンスが多かったのか、談話会が多かったのか
 さまざまな学部が参加できるような談話会を目指すようにする

79.進路・就職選択に当たり、どのような支援を期待しますか *複数回答可

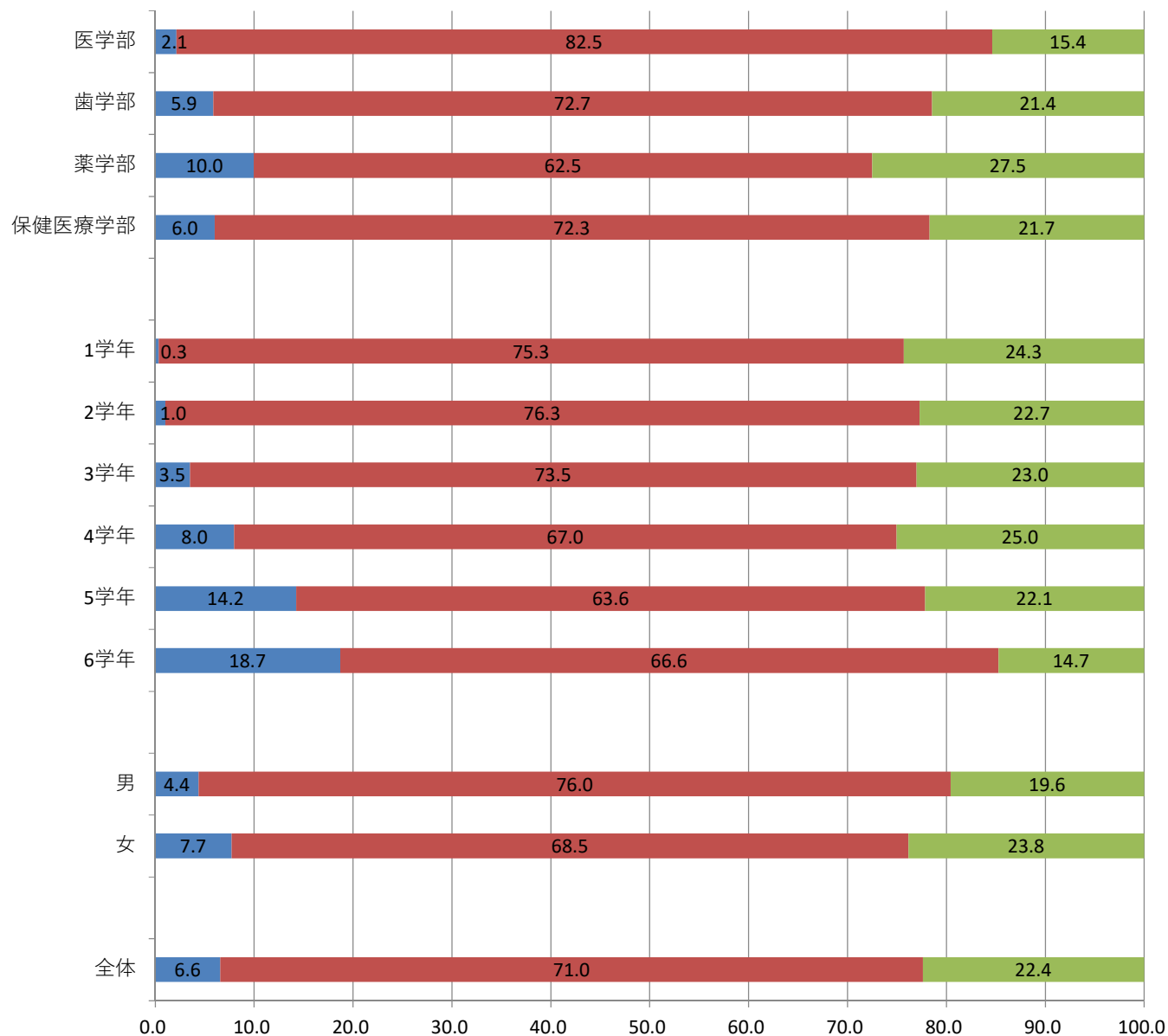
■個別相談 ■企業説明会の開催 ■進路・就職ガイダンスの実施 ■面接対策指導 ■履歴書・エントリーシート等の記載指導



これらの支援はどれも、どの学部においても期待されている者であるため、キャリア支援室での活動を幅広く周知する
質問内容を再検討

80.「昭和大学キャリア・ナビ」を利用したことがありますか

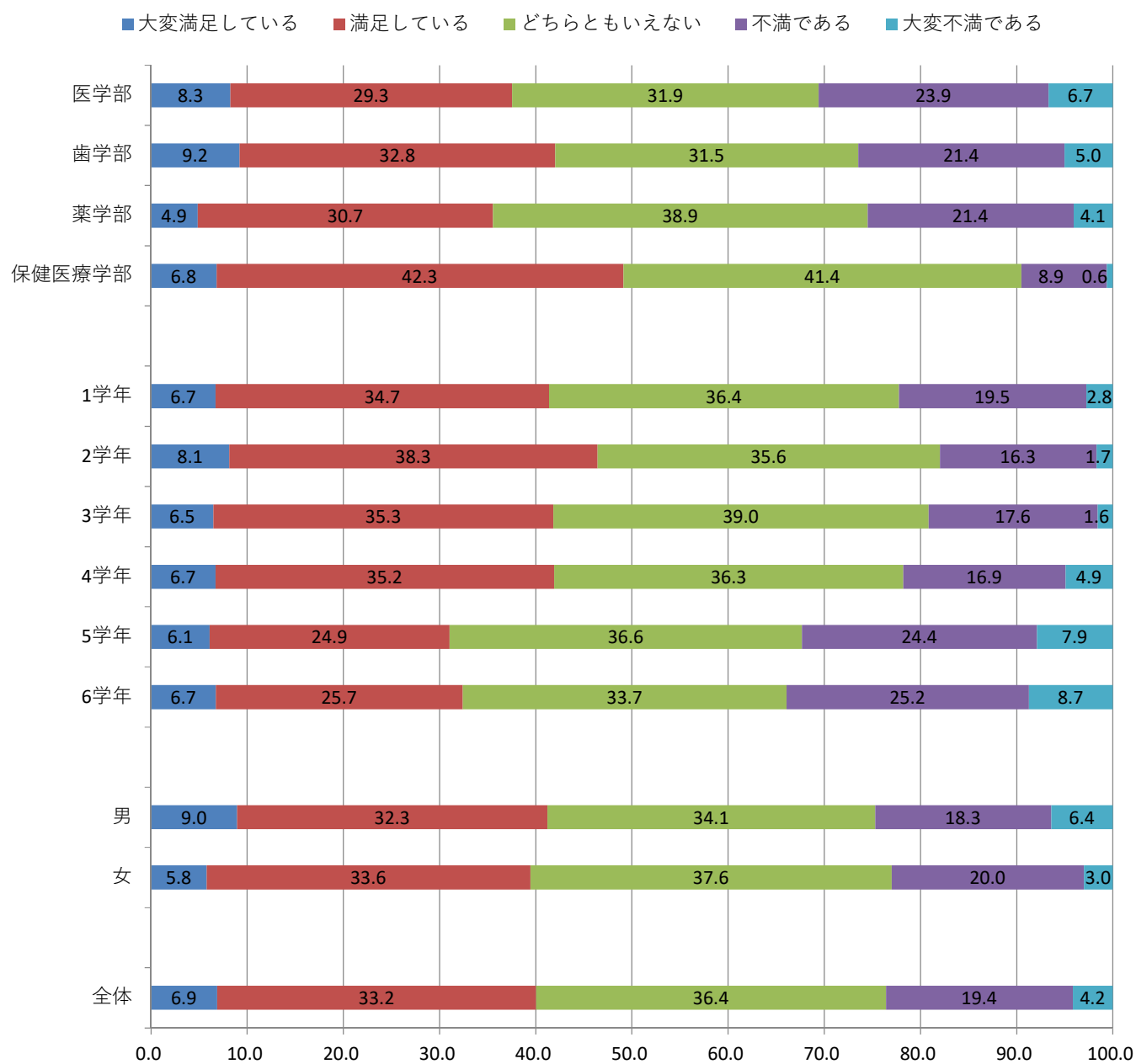
■ 利用している ■ 利用していない ■ 必要な時期が来れば利用する



高学年以外、ほとんど浸透していないことがわかる

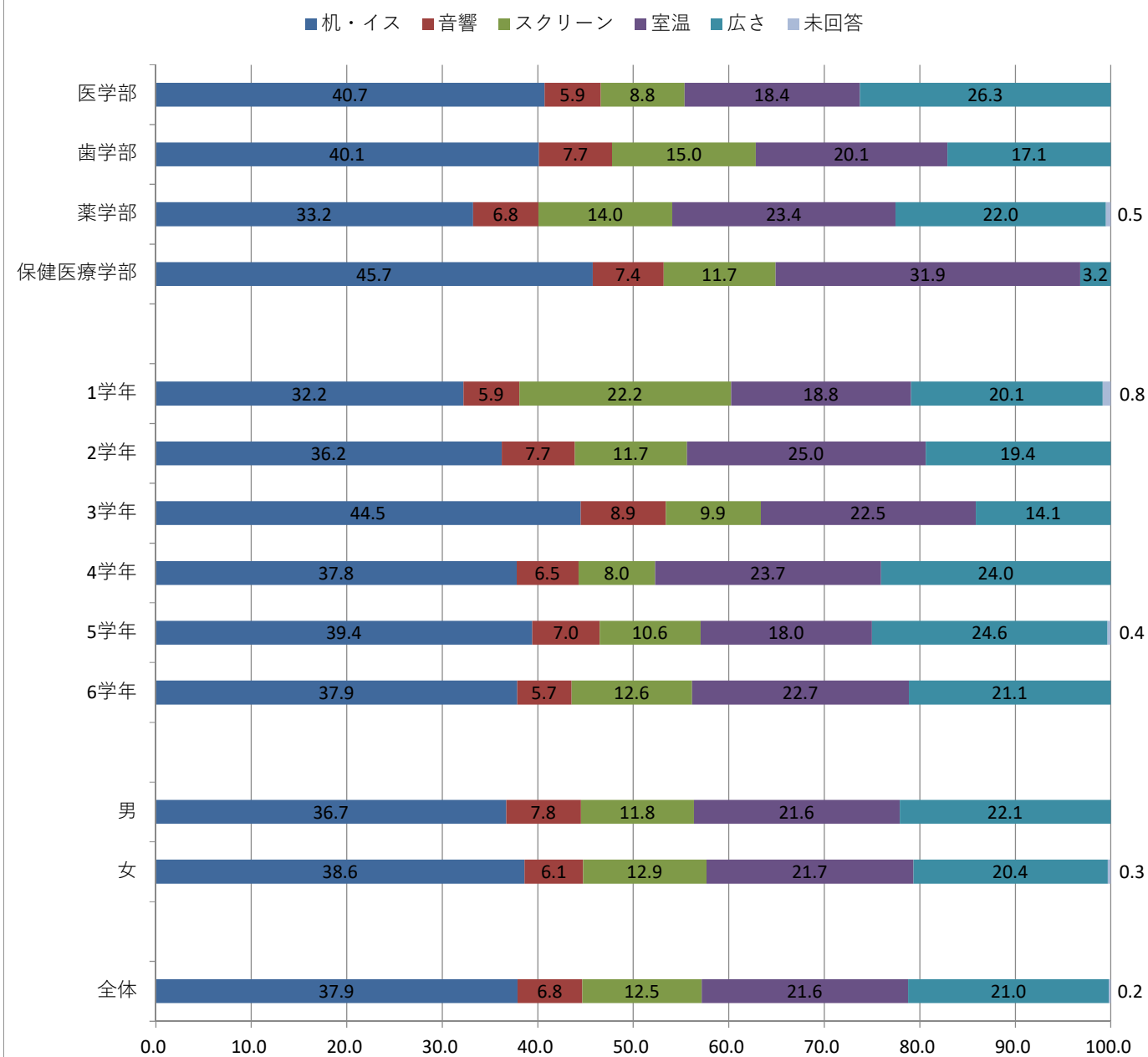
キャリア教育の重要性をしっかりと身につけさせて、さらに使いやすくする必要があるのではないか

81.講義教室に満足していますか



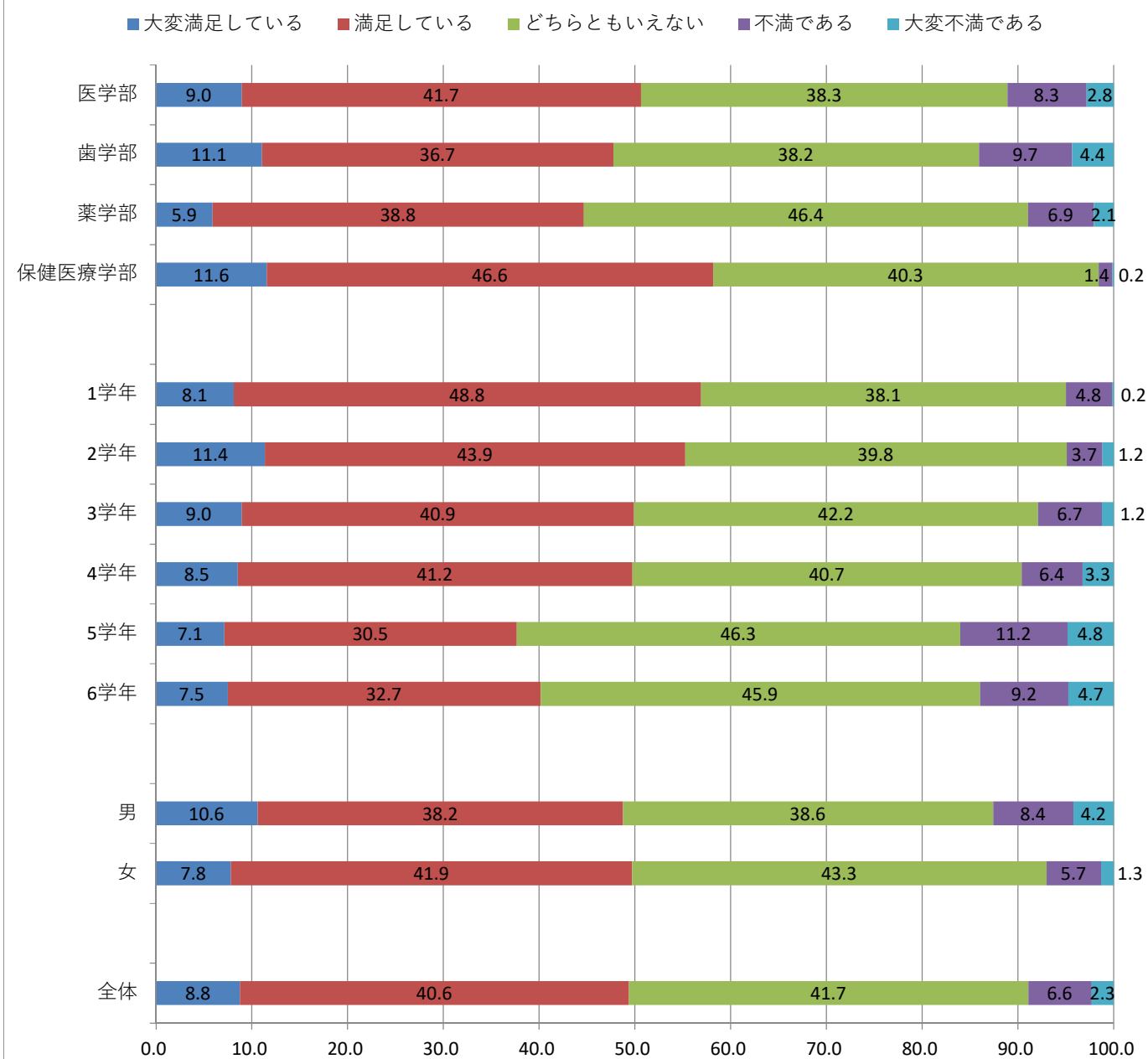
講義室に関しては、満足不満足が拮抗していることがわかる。これは、どの学年、どの学部でもおよそその傾向は一緒である。但し保健医療学部のみ、やや満足度の高い学生が多い。キャンパス間の違いを調査していくことが必要と思われる。

82. 「81」で「不満」と答えた方に質問します。何に不満を感じていますか *複数回答可



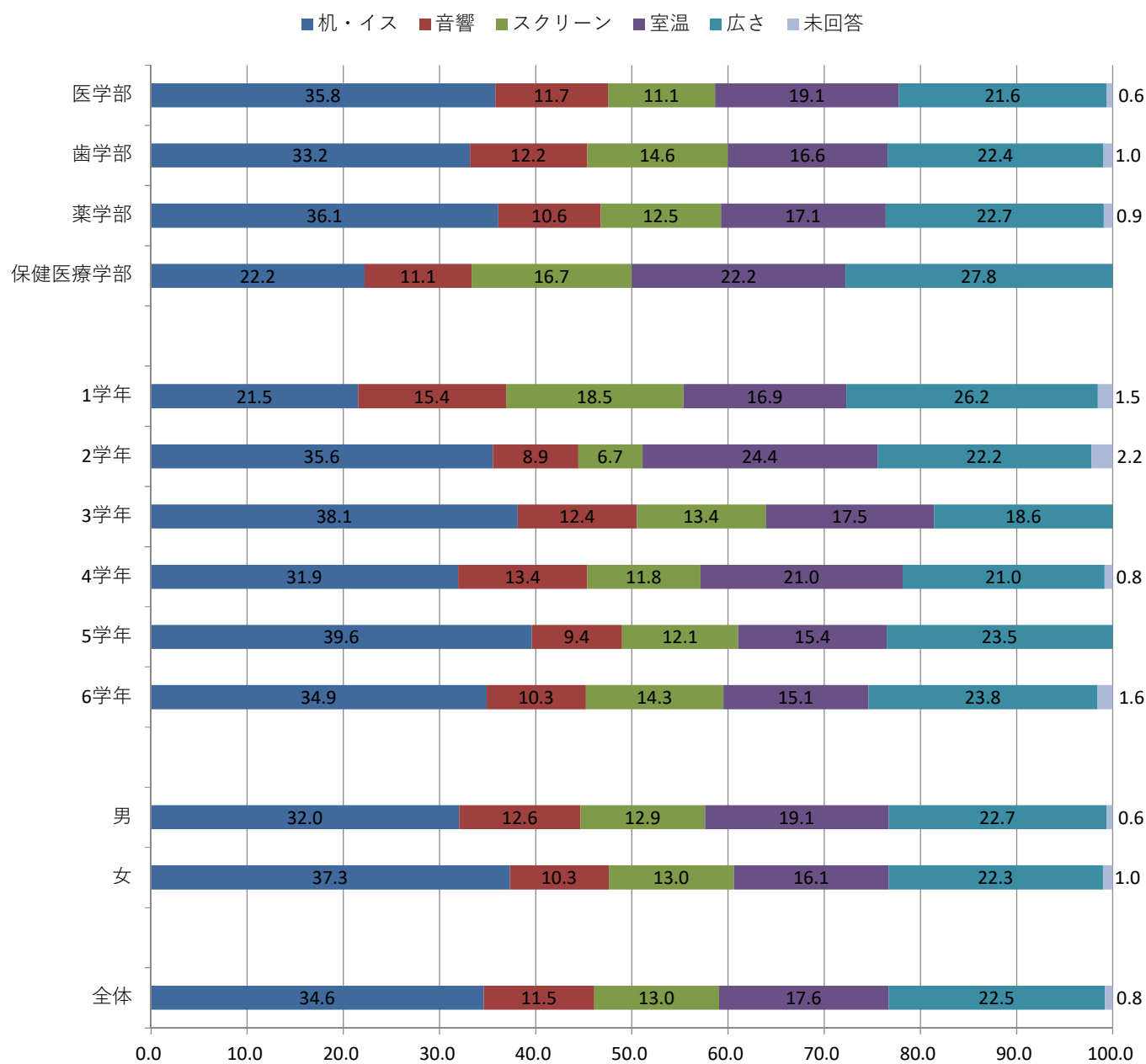
「机・イス」との回答が約40%を占めている。具体的にどのような点が確認し対応していく必要があると思われる。

83.実習室に満足していますか



実習室に関しては概ね不満はないようである

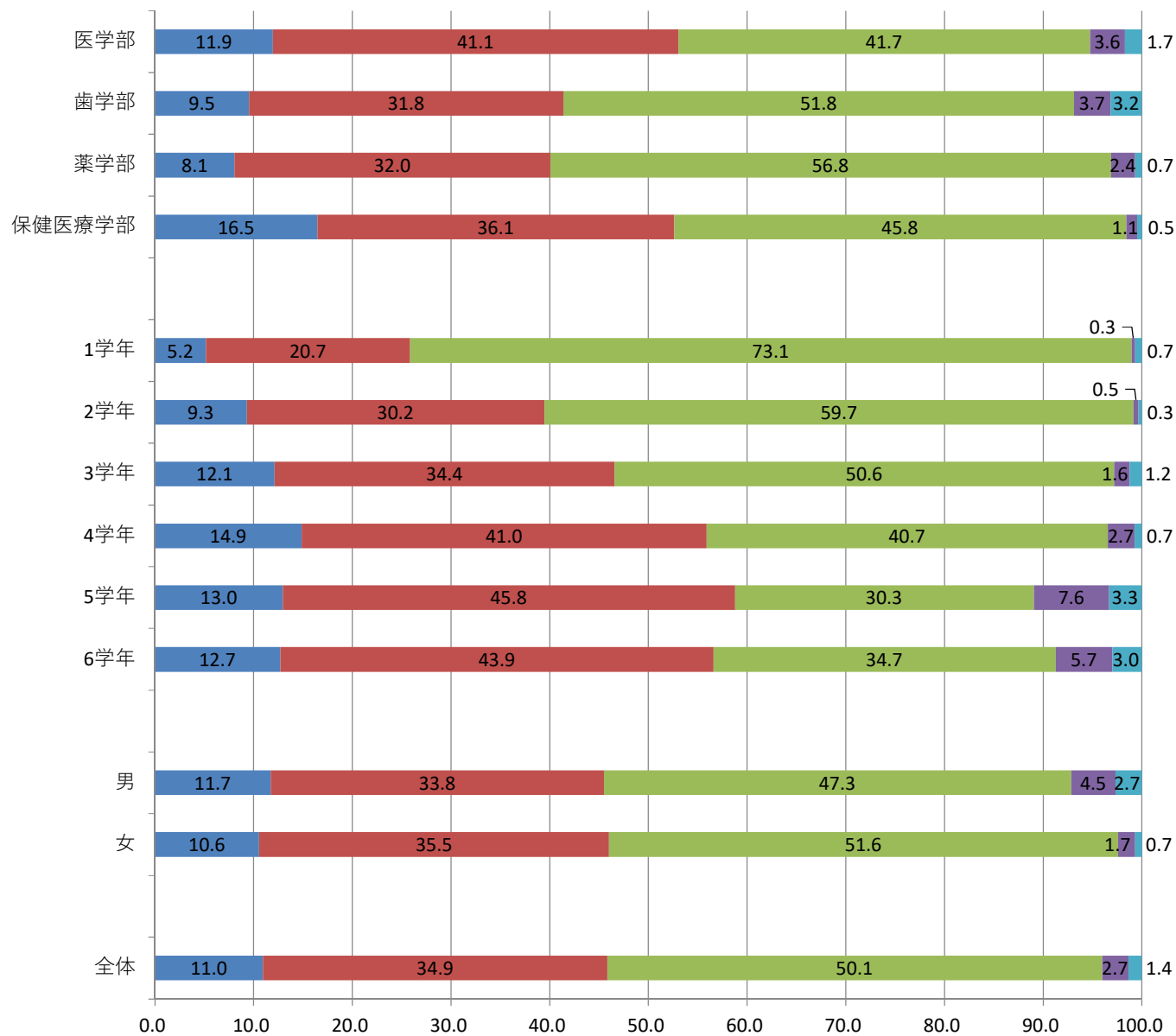
84. 「83」で「不満」と答えた方に質問します。何に不満を感じていますか *複数回答可



目立つのは机や椅子であり、恐らく古いことが原因と思われる。随時交換をするなど検討が必要と思われる。

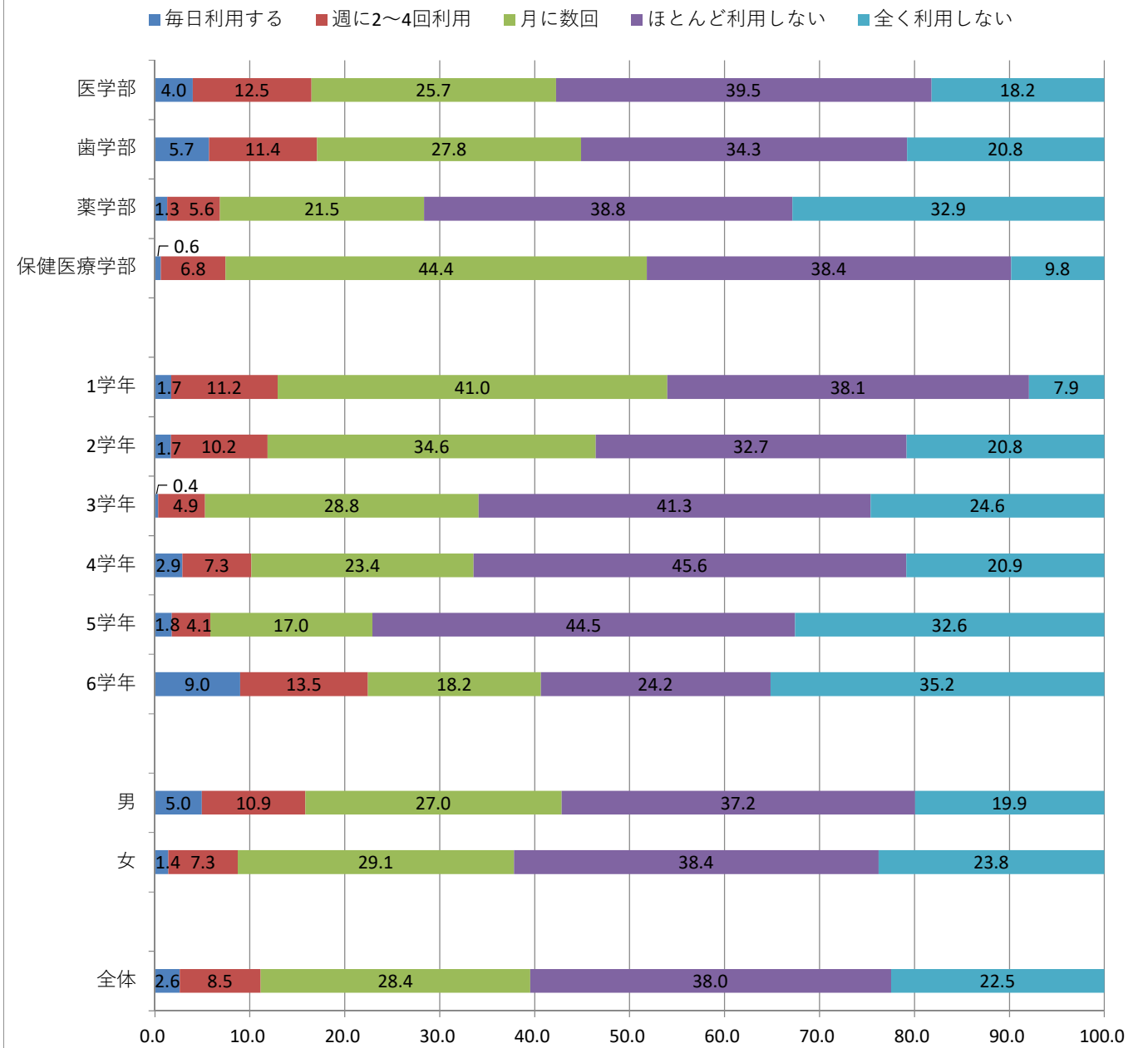
85.実習施設（教育病院）に満足していますか

■大変満足している ■満足している ■どちらともいえない ■不満である ■大変不満である



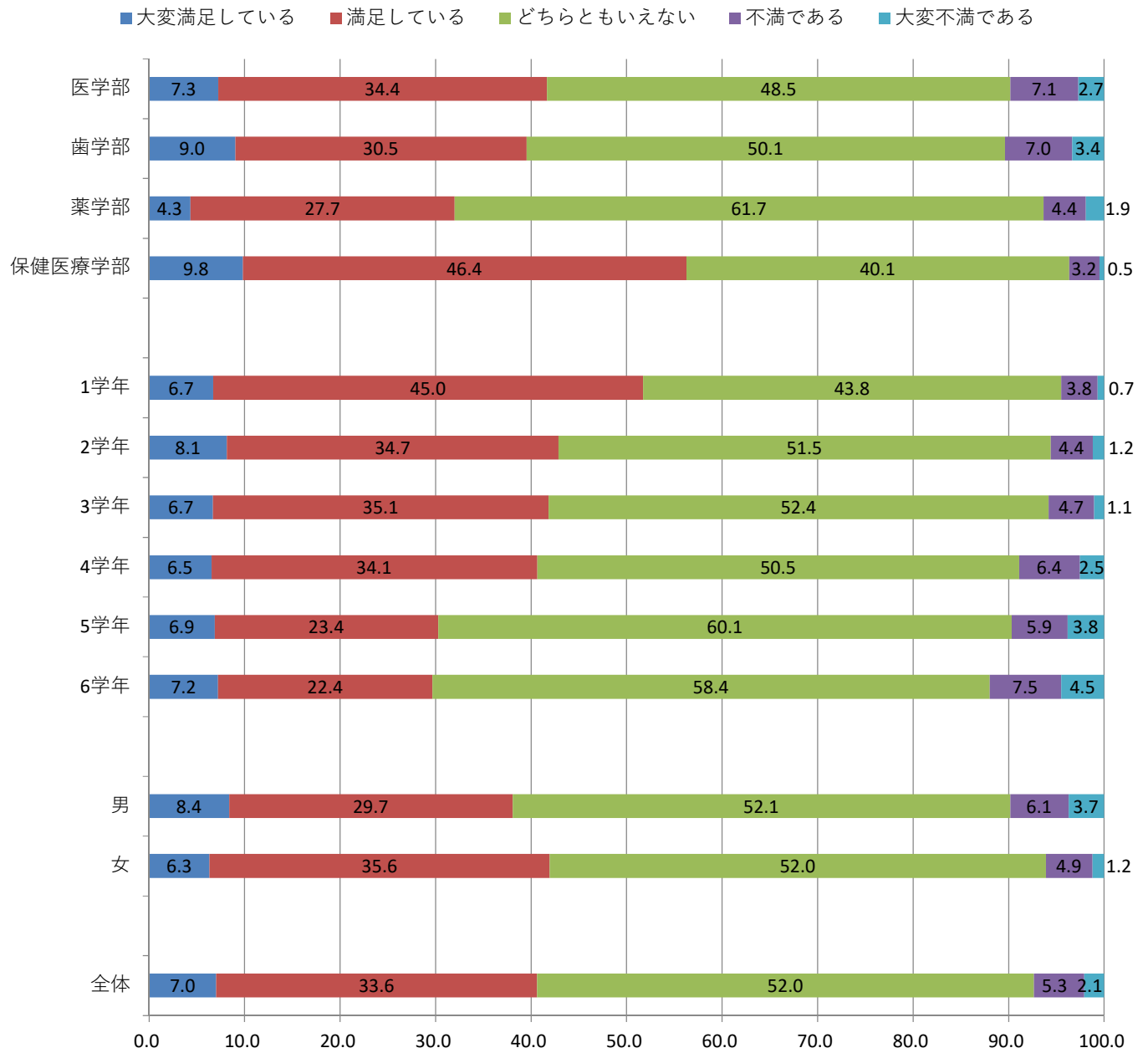
低学年は病院に入ることがほとんどないためこのような結果になっていると考える。全体的に満足度は高いと思われる

86.図書館・図書室をどの程度利用していますか



薬学部学生の図書館利用が低いことがわかる。また、学年が上がるにつれて利用数は少なくなり、最終学年でやや利用度が上がっている。利用が、主に卒業試験、国家試験の勉強のためと思われる。

87.図書館・図書室に満足していますか

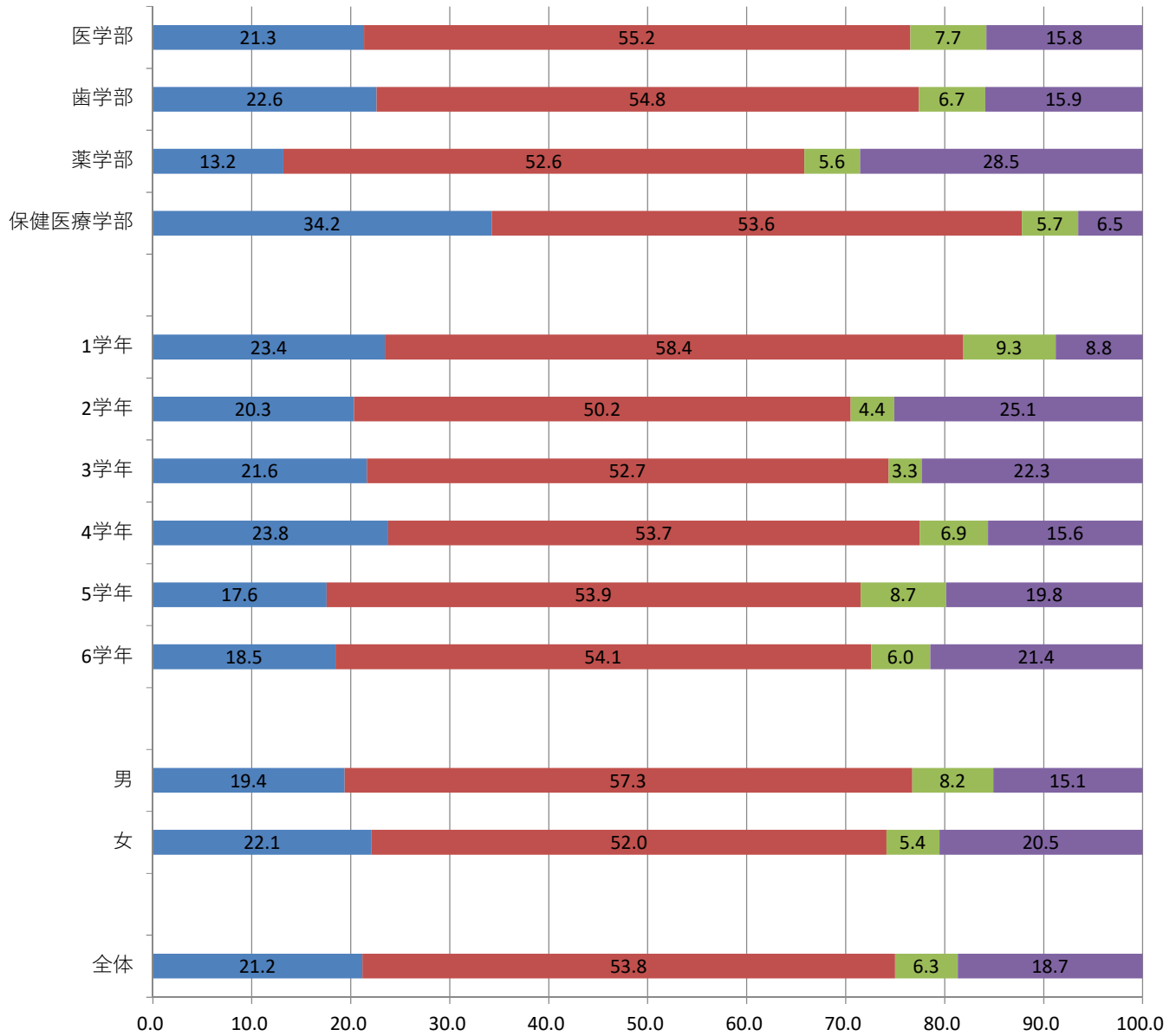


図書館の満足度は学年が上がるほど下がる傾向にある。一方、不満である、大変不満であるという回答は学年が上がるにしたがい増えている。

原因について解析し、不満である点を改善する

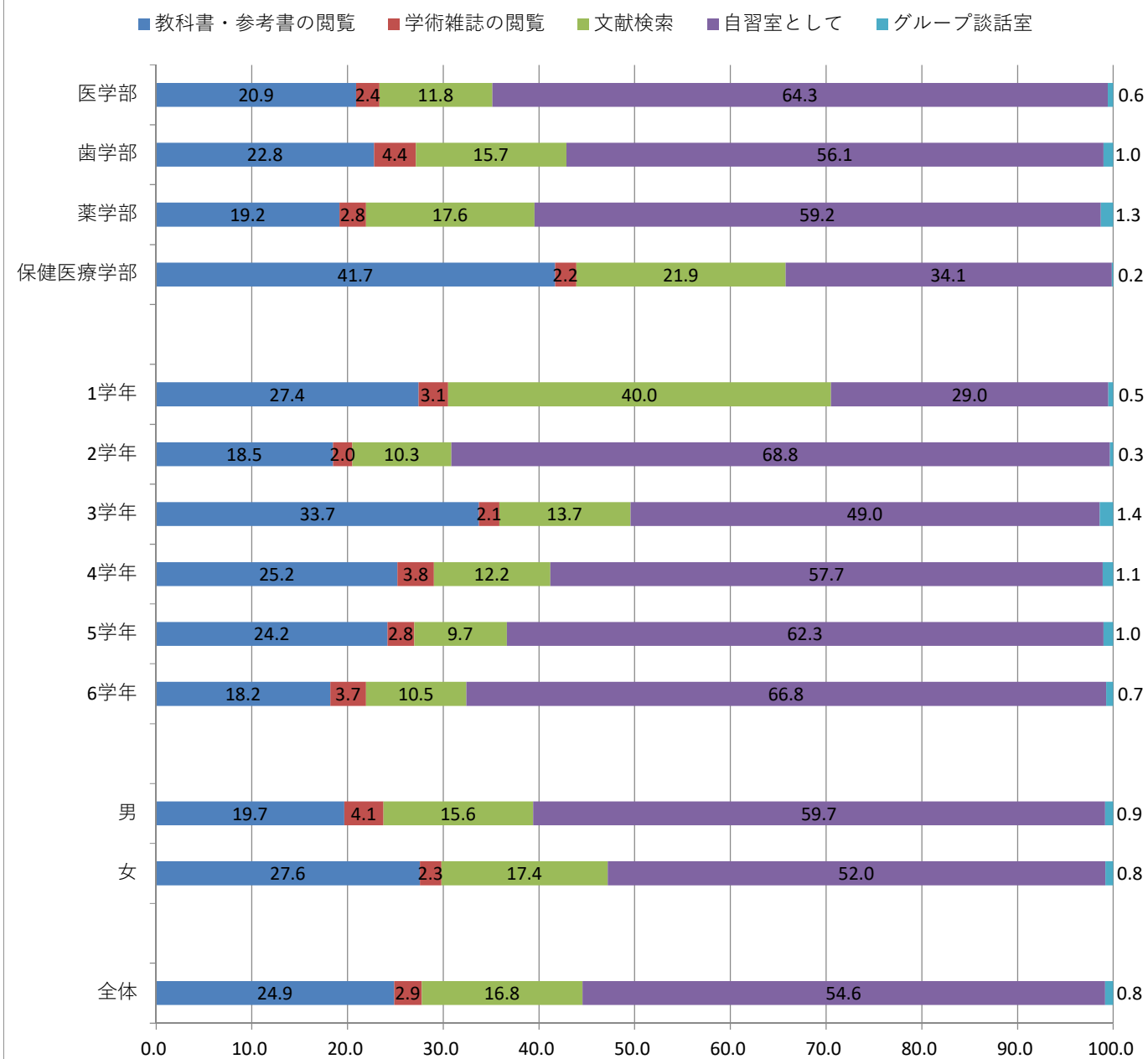
88.図書館・図書室の図書の充実度について

■ 目的の図書がほとんど揃っている ■ どちらともいえない ■ 不十分 ■ 利用したことがないので分からない



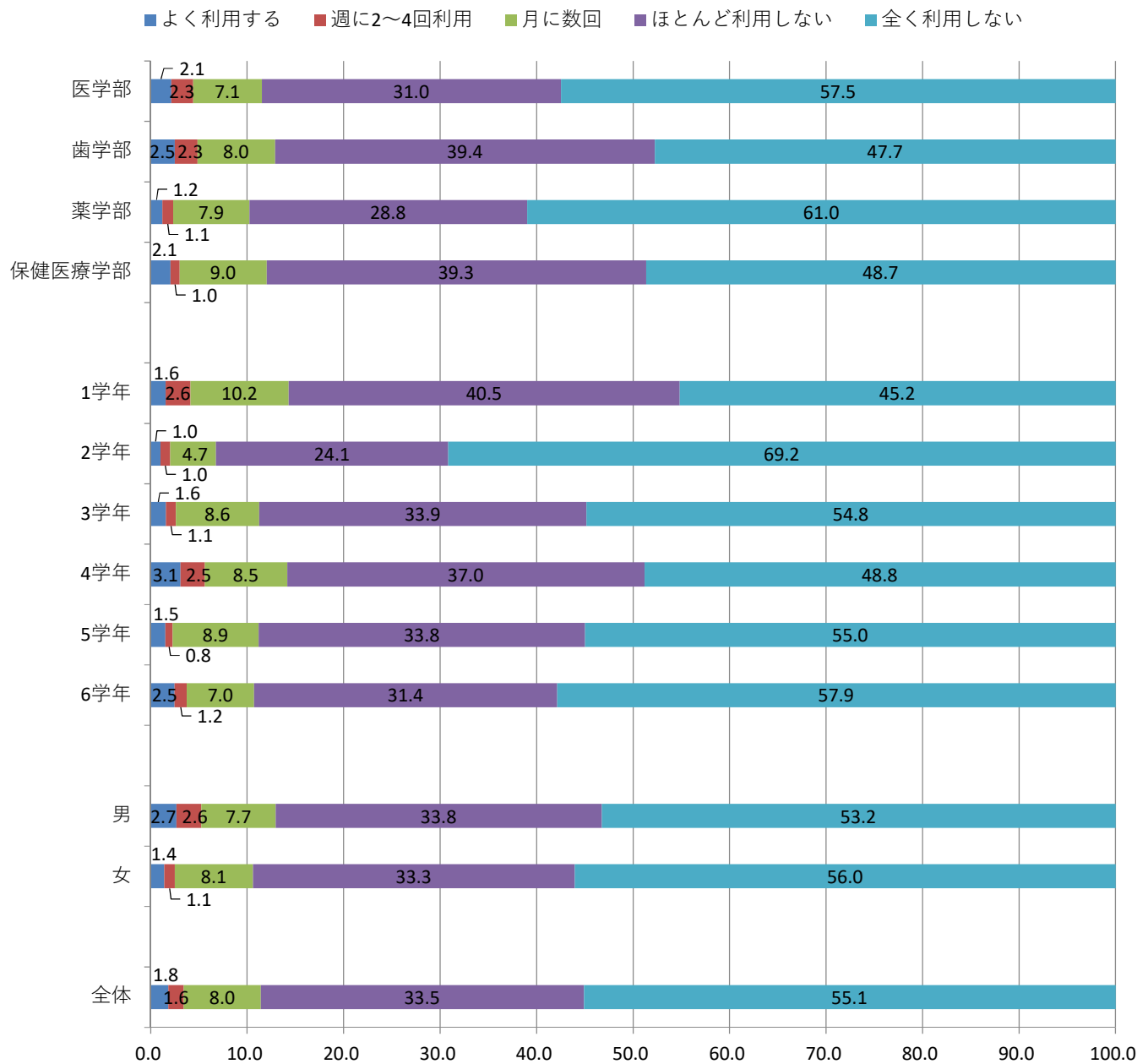
この設問は利用していない人も加えているため、わかりにくい結果になっている。学年間での違いはほとんどないが、学部間では違いがあるように思える。

89.図書館を利用する主な目的は何ですか



図書館の利用目的の半分以上が自習での利用である。一方、保健医療学部で図書閲覧の割合が高い傾向にある

90.図書館の電子ジャーナルの利用について



電子ジャーナルは1割強の学生しか利用していない
電子ジャーナルの利用方法について、学生に説明する機会をさらに増やす